

第4章

大学病院群

第4章 大学病院群

1 名古屋市立大学病院

1 新型コロナウイルス感染症対応のあゆみ

新型コロナウイルス感染症の陽性患者が令和2年2月に初めて名古屋市で確認された。その後も新型コロナウイルス感染症患者は増加の一途をたどっていった。

急速な感染拡大の中、診療の提供が急務となったため、当院でも令和2年2月より、重症患者を中心とした患者受け入れの決定を行い、患者受け入れ態勢を整えていった。また、国を挙げて感染症対策を進めている中で、この地域の医療を担う医療従事者として感染リスクを低減させ、継続して医療を提供する責務があるという観点から、従事者の健康観察や来院者への対応等の院内の安全確保や医療従事者派遣等の地域への支援にも努めていった。

その後、新型コロナウイルス感染症患者数は増減を繰り返し、現在に至るまで刻々と状況は変化を続けている。当院は状況に応じて病床の拡大等の措置を取りながら、約3年にわたり診療の重点医療機関としての医療を継続して行っている。

日付	主な出来事（★は当院の対応）
令和2年1月28日	新型コロナウイルスによる感染症法「指定感染症」、検疫法「検疫感染症」に指定。政令施行は2月1日。
令和2年2月11日	★クルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号へDMAT医師1名派遣（～2/12）
令和2年2月12日	「新型コロナウイルス感染症患者等の入院病床の確保について（依頼）」（厚生労働省 健感発0212第4号医政地発0212第1号）
令和2年2月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・内閣官房新型コロナウイルス感染症対策本部より「新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策」発出 ・「感染症指定医療機関における新型コロナウイルス感染症患者等の入院病床の確保について（依頼）」（厚生労働省 健感発0213第1号、医政地発0213第1号）
令和2年2月14日	名古屋市で陽性患者第1号が発生
令和2年2月18日	新型コロナウイルス感染症患者等の入院病床の更なる確保について（依頼）（厚生労働省 健感発0218第1号医政地発0218第1号）
令和2年2月21日	「新型コロナウイルス感染症患者（無症状病原体保有者を含む）受け入れ協力依頼について（依頼）」（各救命救急センター長あて愛知県保健医療局長31医務第2650号、31健対第2624号）
令和2年2月25日	内閣官房新型コロナウイルス感染症対策本部より「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」発出 ★重症1名の患者受け入れ体制を決定（ICU㊟） ★院内での講演会の開催等制限開始
令和2年2月27日	面会の制限を開始

1 名古屋市立大学病院

日付	主な出来事（★は当院の対応）
令和2年2月28日	「新型コロナウイルス感染症患者（無症状病原体保有者を含む）受け入れ協力依頼について（依頼）」（各関係病院長あて愛知県保健医療局長31医務第2673号、31健対第2659号）
令和2年3月1日	★実習・研修受け入れ中止（～4/7）
令和2年3月2日	小・中・高等学校が臨時休校
令和2年3月3日	★院内の従事者へ催事の開催制限や健康観察等を指示
令和2年3月6日	★重症2名の患者受け入れ体制を決定（ICU⑧・⑨）
令和2年3月9日	新型コロナウイルス感染症の患者（無症状病原体保有者を含む）受け入れの協力について（依頼） （各関係病院長あて名古屋市健康福祉局長、名古屋市消防長31健保医第329号） ★初の陽性患者受け入れ
令和2年3月10日	名古屋市「新型コロナウイルス感染症の感染拡大を全市一丸となって防止するための条例」公布
令和2年4月7日	「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」閣議決定 国・緊急事態宣言 （区域：埼玉、千葉、東京、神奈川、大阪、兵庫及び福岡、～5/25）
令和2年4月10日	愛知県・緊急事態宣言（～5/26）
令和2年4月13日	★実習・研修受け入れ中止（学内：～6/7、学外：～6/30）
令和2年4月15日	★電話診療による処方箋交付（6/19受付まで）
令和2年4月16日	国・緊急事態宣言の全国拡大（5/14で愛知は除外）
令和2年4月24日	★外来玄関トリアージ開始
令和2年4月28日	★患者受け入れ枠を4名（重症2・中等症2）に拡大
令和2年5月1日	★手術・治療前患者への一部PCR検査運用開始
令和2年5月14日	国・緊急事態宣言の愛知への適用終了
令和2年5月25日	国・緊急事態宣言が終了
令和2年5月26日	愛知県・緊急事態宣言が終了
令和2年7月27日	★令和2年度新型コロナウイルス感染症重点医療機関に指定 （指定期間：4/1～3/31、指定病床数：32床）
令和2年7月31日	★（学生のみ）実習受け入れ中止（～9/30）
//	市保健所長・フェーズ4「準備病床」を「即応病床」へ最大限切り替え要請
令和2年8月3日	★電話診療による院外処方箋の発行再開
令和2年8月6日	愛知県・緊急事態宣言（～8/24）
令和2年8月24日	愛知県・緊急事態宣言が終了

1 名古屋市立大学病院

日付	主な出来事（★は当院の対応）
令和2年9月14日	★病棟内への入室制限、病棟入口にインターホン設置、入管管理表による来院者管理
令和2年10月12日	★愛知県立愛知病院への医師派遣開始（10/15愛知病院開院）
令和2年11月15日	★新型コロナウイルス感染症に関する県内4大学と愛知県との連携と協力に関する協定締結
令和2年12月1日	★東横INN名古屋名駅南（宿泊療養施設）へ看護職員派遣（～R3/2/28）
令和2年12月7日	★豊川市民病院へ感染制御室メンバー4人を新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーとして派遣（1日）
令和2年12月10日	★(市) 新型コロナウイルス感染症夜間休日輪番制対応運用開始 (市大病院の役割：三次医療機関)
令和2年12月21日	愛知県立愛知病院への医師の派遣について（依頼） (愛知県保健医療局長 2医計第695号)
令和2年12月23日	★迅速遺伝子検査室設置（西棟1階）
令和3年1月7日	国・緊急事態宣言（区域：埼玉、千葉、東京及び神奈川）
令和3年1月13日	国・緊急事態宣言の区域変更 (栃木、岐阜、愛知、京都、大阪、兵庫及び福岡の7府県を追加)
令和3年1月14日	愛知県・緊急事態措置（～2/28）
令和3年1月18日	★(学生のみ) 実習受け入れ中止（～2/7）
令和3年1月20日	★愛知県から重症病床の拡充（2床→10床）要請（2/8～院内運用変更）
令和3年1月25日	「医療従事者等への新型コロナウイルス感染症に係る予防接種における接種施設について（通知）」（愛知県保健医療局長 2感対第1398号） ★(県) 医療従事者等への新型コロナウイルス感染症に係る予防接種における基本型接種施設（ファイザー社製）に指定
令和3年2月8日	★抗原定量検査検体採取室設置（西棟1階）（迅速遺伝子検査室の運用変更）
//	★(市) 新型コロナウイルス感染症夜間休日輪番制対応運用開始 (市大病院の役割変更：三次医療機関→重症バックアップ医療機関)
令和3年2月19日	★病棟・中央診療棟5階ICU感染対策工事（～3/9）
令和3年3月1日	国・緊急事態宣言の愛知への適用終了
//	愛知県・厳重警戒措置（～3/21）
令和3年3月8日	「非稼働病棟を有する医療機関への対応について（通知）」 (愛知県保健医療局長 2医計第931号)
令和3年3月9日	「新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ体制の維持について（依頼）」 (愛知県知事 2感対第1687号)
令和3年3月15日	★(県) 新型コロナワクチン接種後の副反応等への対応への協力医療機関に指定 (4月以降地域連携室に窓口設置)

1 名古屋市立大学病院

日付	主な出来事（★は当院の対応）
令和3年3月17日	★医療従事者（市大病院職員）向け新型コロナワクチン接種（～8/31）
令和3年3月21日	国・緊急事態宣言が終了
令和3年4月1日	東部医療センター高次ウイルス感染症センター設置 （★医師・看護師・薬剤師を派遣）
//	国・まん延防止等重点措置（宮城、大阪及び兵庫）
令和3年4月12日	「令和3年度「新型コロナウイルス感染症重点医療機関」及び「新型コロナウイルス感染症疑い患者受け入れ協力医療機関」の指定に係る意向調査について（依頼）」 （愛知県感染症対策局長 3感対第1048号）
令和3年4月16日	国・まん延防止等重点措置の区域変更 （埼玉、千葉、神奈川及び愛知を追加。10都府県に）
令和3年4月20日	愛知県・まん延防止等重点措置（～5/11）
令和3年4月23日	国・緊急事態宣言（区域：東京、京都、大阪及び兵庫）
令和3年4月28日	★大阪府へ医師1名派遣（～5/3）
令和3年4月30日	★名古屋市からの要請により中等症以下患者の受け入れ拡大
令和3年5月7日	★令和3年度新型コロナウイルス感染症重点医療機関に指定 （指定期間：4/1～4/22、指定病床数：32床） （指定期間：4/23～9/30、指定病床数：33床）
令和3年5月12日	国・緊急事態宣言の区域変更（愛知及び福岡を追加）
//	愛知県・緊急事態措置（～6/20）
//	★名古屋市高齢者ワクチン接種会場（港区）へ医師・看護師派遣（～6/30）
//	★オンライン面会開始（ICU、1階南、10階南）
令和3年5月19日	★医療従事者（瑞穂区・昭和区内の優先接種対象者）向け新型コロナワクチン接種（～6/15）
令和3年6月21日	国・緊急事態宣言の区域変更 （北海道、東京、愛知、京都、大阪、兵庫及び福岡はまん延防止等重点措置に移行）
令和3年7月1日	★名古屋市ワクチン集団接種会場（パロマ瑞穂スタジアム）へ医師・看護師・薬剤師派遣（～10/20）
令和3年7月12日	国・まん延防止等重点措置の愛知県への適用解除
//	愛知県・厳重警戒措置（～8/11）
令和3年8月5日	国・まん延防止等重点措置の区域変更（愛知県への適用）
令和3年8月8日	愛知県・まん延防止等重点措置（～9/12）
令和3年8月25日	国・緊急事態宣言の区域変更（愛知などを追加）
//	「新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ促進及び、医師が延期可能と判断した入院・手術の一時延期について（依頼）」（愛知県知事 3感対第1622号）

1 名古屋市立大学病院

日付	主な出来事（★は当院の対応）
令和3年9月1日	★新型コロナウイルス感染症患者受入病床の緊急確保に係る重点医療機関等の指定（重症者用病床の2床増床（愛知県へ届出）） （指定期間：9/1～10/16）
令和3年9月2日	「新型コロナウイルス感染症患者受入病床の緊急確保について（要請）」 （愛知県知事 3感対1665号）
令和3年9月3日	「愛知県入院待機ステーションへの医療従事者の派遣について（依頼）」 （愛知県感染症対策局長 3感対第1669号）
令和3年9月6日	愛知県入院待機ステーション開設（～10/31）
令和3年9月30日	国・緊急事態宣言が終了
令和3年10月1日	愛知県・厳重警戒措置（～10/17）
令和3年10月15日	「新型コロナウイルス感染症患者受入病床に係る緊急確保の終了について（通知）」（愛知県知事 3感対第1889号）
令和3年10月17日	★新型コロナウイルス感染症患者受入病床の緊急確保に係る重点医療機関等の指定の変更（通常の指定内容へ回帰し33床 重点医療機関として指定）
令和3年10月18日	愛知県・警戒領域（～1/20）
令和3年11月11日	「今夏の感染拡大を踏まえた新型コロナウイルス感染症患者等の病床確保について（依頼）」（愛知県感染症対策局長 3感対第1993号）
令和3年11月26日	「病床確保料（空床確保）の取扱いの改正について（依頼）」 （愛知県感染対策局長 3感対号外）
令和3年12月1日	愛知県・フェーズ1（～1/27）
令和3年12月15日	★医療従事者（市大病院職員）向け新型コロナワクチン接種 3回目追加接種（～3/22）
令和3年12月21日	「新型コロナウイルス感染症患者に係る確保病床の更なる緊急確保と医療人材の派遣について（依頼）」（3感対第2162号 愛知県感染対策局長）
令和4年1月7日	「沖縄県への看護師の派遣について（依頼）」 （文部科学省高等教育局医学教育課長 事務連絡）
令和4年1月21日	愛知県・まん延防止等重点措置（～3/6）
令和4年1月28日	愛知県・フェーズ2（～2/13）
令和4年1月30日	★沖縄県（宿泊療養施設）へ看護職員2名派遣（～2/13） 依頼元：愛知県看護協会
令和4年1月31日	★沖縄県（宿泊療養施設・重点医療機関等）へ看護職員1名派遣（～2/13） 依頼元：文科省
令和4年2月9日	★名古屋市ワクチン大規模集団接種会場（名古屋国際会議場）へ医師・看護師・歯科医師・薬剤師派遣（～3/13）3回目追加接種前倒し
令和4年2月14日	★医療従事者（1・2回目接種を受け入れた瑞穂区・昭和区内の医療従事者等向け（クリニック等除く））向け新型コロナワクチン接種（～3/16）

1 名古屋市立大学病院

日付	主な出来事（★は当院の対応）
令和4年2月14日	愛知県・緊急フェーズⅠ（～3/31）
令和4年4月1日	愛知県・フェーズ2（～6/13）
//	愛知県HP・新型コロナウイルス感染症患者受け入れ医療機関名及び確保病床数公表
令和4年4月15日	★名古屋市ワクチン大規模集団接種会場（日本ガイシフォーラム）へ医師・看護師・歯科医師・薬剤師派遣（～5/31） ※6月中止/3回目追加接種
令和4年4月18日	★10階南病棟改修工事（Ⅰ期：4/18～4/28、Ⅱ期：4/29～5/20）
令和4年6月14日	愛知県・フェーズ1（～7/14）
令和4年7月8日	★名古屋市ワクチン大規模集団接種会場（日本ガイシフォーラム）へ医師・看護師・歯科医師・薬剤師派遣（～7/17）4回目追加接種（3回目接種と同時実施）
//	★60歳以上及び基礎疾患のある職員（市大病院職員）向け新型コロナワクチン接種/4回目追加接種（3日間実施：7/8、7/12、8/5）
令和4年7月15日	愛知県・フェーズ2（～10/11）
令和4年7月19日	愛知県・入院基準「原則、中等症Ⅱ以上」
令和4年7月20日	★名古屋市ワクチン大規模集団接種会場（イオンタウン有松）へ医師・看護師・歯科医師・薬剤師派遣（～8/31）4回目追加接種（3回目接種と同時実施）
令和4年7月27日	★(市)追加接種にかかる臨時配送を受ける接種施設に指定（武田モデルナ社製）
令和4年8月1日 （届出日：8月16日）	★新型コロナウイルス感染症患者受入病床の緊急確保に係る重点医療機関等の指定 （NICU病床2床、10S病床：6床増床（愛知県へ届出）） （指定期間：8/1～R5/1/15）
令和4年8月12日	★医療従事者（市大病院職員）向け新型コロナワクチン接種 4回目接種（～9/30） ※7/22～：60歳未満の医療従事者へ国が対象を拡大
令和4年9月26日	新型コロナウイルス感染症患者の全数届出見直し（全国一律）
令和4年10月12日	愛知県・フェーズ1（～11/20）
令和4年11月10日	★医療従事者（市大病院職員）向けコロナワクチン接種 5回目接種（～R5/1/20） ※オミクロン対応2価ワクチン
令和4年11月11日	★名古屋市ワクチン大規模集団接種会場（イオンタウン有松）へ医師・看護師・歯科医師・薬剤師派遣（～R5/1/31） ※オミクロン対応2価ワクチン接種
令和4年11月21日	愛知県・フェーズ2（～R5/2/26）

1 名古屋市立大学病院

日付	主な出来事（★は当院の対応）
令和5年1月16日 (届出日:1月27日)	★新型コロナウイルス感染症患者受入病床の緊急確保に係る重点医療機関等の指定（指定期間：1/16～） ※確保病床数に変更なし。休止病床数のみ変更の届出（休止病床：18床減）
令和5年2月27日	愛知県・フェーズ1（～R5/5/8以降継続）
令和5年3月31日	★愛知県立愛知病院の休止に伴い、医師派遣終了
令和5年5月2日	★医療従事者（市大病院職員）向けコロナワクチン接種 令和5年春開始接種（～R5/6/23） ※オミクロン対応2価ワクチン
令和5年5月8日	5類感染症へ感染法上の位置づけ変更
//	★面会の一部緩和

2 患者受け入れ

(1) 受け入れ体制の変遷と実績

新型コロナウイルス感染症については、令和2年1月の国内症例1例目確認より新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき、様々な対策が講じられてきた。

最初期は渡航制限等の水際対策が取られてきたが、一部地域にて感染経路不明の患者クラスターが確認されるようになると、重症者対策を中心とした医療提供体制の早急な整備が課題となった。

令和2年2月25日に内閣官房新型コロナウイルス感染症対策本部により「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」が策定され、一般の医療機関の新型コロナウイルス感染症患者受け入れ開始や重症者を受け入れる医療機関との役割分担等の必要が述べられると同時に、総務省より「新型コロナウイルス感染症に係る入院医療の提供体制の整備に関する大臣書簡」にて、公立病院において重症者を優先的に受け入れる医療機関となる等の役割を果たすよう、各都道府県に要請がされた。

そのような流れを受け、当院ではICUや救急を中心に、重症者を受け入れることを主眼として、令和2年2月より現在まで、感染状況に応じた医療の体制整備を行ってきた。令和2年7月に愛知県より新型コロナウイルス感染症重点医療機関に指定されてからも、高度医療の提供を維持しつつ、流行期は速やかに都道府県等と調整しながら病床の充実と重症患者受け入れを継続した。

令和5年5月の現在まで、流行期と非流行期で適宜体制変更を行いながら、地域に対し、継続的に新型コロナウイルス感染症への医療を提供し続けている。

① 受け入れ体制の変遷

日付	主な出来事（★は当院の対応）
令和2年2月25日	★重症1名の患者受け入れ体制を決定（ICU⑨） ※愛知県からの要請に回答
令和2年3月6日	★重症2名の患者受け入れ体制を決定（ICU⑧・⑨）

1 名古屋市立大学病院

日付	主な出来事（★は当院の対応）
令和2年3月9日	★初の陽性患者受け入れ
令和2年3月12日	★陽性患者の1Sへの集約（重症はICU⑨）を決定
令和2年4月7日	国・緊急事態宣言 （区域：埼玉、千葉、東京、神奈川、大阪、兵庫及び福岡、～5/25） ★診療業務の見直しに関する病院長通知→不要不急の手術制限等
令和2年4月10日	愛知県・緊急事態宣言（～5/26） ★4/20からの手術制限を決定
令和2年4月14日	★14S病棟の運用変更（＝陽性患者の1S集約化）
令和2年4月16日	国・緊急事態宣言の全国拡大（5/14で愛知は除外） ★救急搬送（三次・かかりつけ患者へ限定）の制限実施（～5/25）
令和2年4月20日	★10S病棟の運用変更（＝疑似症患者の受け入れ）
//	★手術制限を開始（麻酔科管理2列削減、良性疾患の延期）
令和2年4月24日	★来院者の発熱トリアージを開始（～6/30）
令和2年4月28日	★患者受け入れ枠を4名（重症2・中等症2）に拡大 ★13S病棟の閉鎖（＝1Sへの応援体制の構築）
令和2年4月30日	★ICU・CCU（全14床）の上限9床運用を開始
令和2年5月1日	★新型コロナウイルス感染症に対する手術・治療前対応指針を通知
令和2年5月14日	国・緊急事態宣言の愛知への適用終了
令和2年5月19日	★再稼働（三段階）に関する病院長通知
令和2年5月25日	国・緊急事態宣言が終了 ★第一段階（局麻手術再開・救急受け入れ対象回復）を開始
令和2年5月26日	愛知県・緊急事態宣言が終了
令和2年6月2日	★第二段階（6/8～10S再開、6/15～麻酔科管理+1列）を通知
令和2年6月11日	★第三段階の一部（6/15～13S再開）前倒し実施を通知
令和2年6月25日	★第三段階の全面実施（7/1～1S・14S再開・麻酔科管理+1列）を追加
令和2年7月21日	★新型コロナウイルス感染症治療薬「レムデシビル」投与開始
令和2年7月27日	★令和2年度新型コロナウイルス感染症重点医療機関に指定 （指定期間：4/1～3/31、指定病床数：32床） 【病床数内訳（32床）】 重症・集中治療室：2床（ICU個室） 軽症～中等症（個室）：16床（1南：8室、10南：8室） 軽症（個室以外）：14床（32－（2+16））
令和2年7月30日	★来院者の発熱トリアージを再開

1 名古屋市立大学病院

日付	主な出来事（★は当院の対応）
令和2年7月31日	★新型コロナウイルス感染症患者の入院に伴うICUの運用を通知 <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症患者0名⇒ICUCCU 14床運用 新型コロナウイルス感染症患者1名⇒ICUCCU 10床運用 (陽性・疑似症患者1+その他9) 新型コロナウイルス感染症患者2名⇒ICUCCU 8床運用 (陽性・疑似症患者2+その他6)
//	市保健所長・フェーズ4「準備病床」を「即応病床」へ最大限切り替え要請
令和2年8月6日	愛知県・緊急事態宣言（～8/24）
令和2年8月7日	★流行期における新型コロナウイルス感染症に対する手術・治療前対応指針を通知→手術・治療前スクリーニング検査開始（8/14～）
令和2年8月11日	★救急搬送の応需制限（～8/17）
令和2年8月12日	★9N閉鎖
令和2年8月17日	★10S 新型コロナウイルス感染症・疑似症病床の22床運用開始 (7/31市保健所長要請を受けて)
令和2年8月24日	愛知県・緊急事態宣言が終了
令和2年9月3日	★LAMP法検査稼働開始
令和2年11月30日	★1S・ER改修工事（～12/11）
令和2年12月1日	★LAMP法検査増設（80件/日）
令和2年12月10日	★(市) 新型コロナウイルス感染症夜間休日輪番制対応運用開始 (市大病院の役割：三次医療機関)
令和2年12月23日	★迅速遺伝子検査室設置（西棟1階）
令和3年1月7日	国・緊急事態宣言（区域：埼玉、千葉、東京及び神奈川）
令和3年1月13日	国・緊急事態宣言の区域変更 (栃木、岐阜、愛知、京都、大阪、兵庫及び福岡の7府県を追加)
令和3年1月14日	愛知県・緊急事態措置（～2/28）
令和3年1月20日	★愛知県から重症病床の拡充（2床→10床）要請（2/8～院内運用変更） 【病床数内訳（32床）】 重症・集中治療室：10床（ICU個室：2室、1南：8室（個室）） 軽症～中等症（個室）：8床（10南：8室） 軽症（個室以外）：14床（32－（10+8））
令和3年2月2日	★重症病床の拡充依頼通知（2/8～運用開始） (重症10名受け入れ、専門チームの結成、派遣麻酔の運用開始等)
令和3年2月8日	★抗原定量検査検体採取室設置（西棟1階）（迅速遺伝子検査室の運用変更） ★時間外診療の制限（救急車、紹介患者、かかりつけ以外）

1 名古屋市立大学病院

日付	主な出来事（★は当院の対応）
令和3年2月8日	★市・新型コロナウイルス感染症夜間休日輪番制対応運用開始 (市大の役割変更：三次医療機関→重症バックアップ医療機関)
令和3年2月19日	★病棟・中央診療棟5階ICU感染対策工事（～3/9）
令和3年3月1日	国・緊急事態宣言の愛知への適用終了
//	愛知県・厳重警戒措置（～3/21）
令和3年3月21日	国・緊急事態宣言が終了
令和3年4月1日	東部医療センター高次ウイルス感染症センター設置 (★医師・看護師・薬剤師を派遣)
//	国・まん延防止等重点措置（宮城、大阪及び兵庫）
令和3年4月16日	国・まん延防止等重点措置の区域変更 (埼玉、千葉、神奈川及び愛知を追加。10都府県に)
令和3年4月20日	愛知県・まん延防止等重点措置（～5/11）
令和3年4月23日	国・緊急事態宣言（区域：東京、京都、大阪及び兵庫）
令和3年4月30日	★名古屋市からの要請により中等症以下患者の受け入れ拡大
令和3年5月7日	★令和3年度新型コロナウイルス感染症重点医療機関に指定 (指定期間：4/1～4/22、指定病床数：32床) (指定期間：4/23～9/30、指定病床数：33床) 【病床数内訳（33床）】 重症・集中治療室：10床（ICU個室：2室、1南：8室（個室）） 軽症～中等症（個室）：9床（10南：8室、NICU：1室） 軽症（個室以外）：14床（33－（10+9））
令和3年5月12日	国・緊急事態宣言の区域変更（愛知及び福岡を追加）
//	愛知県・緊急事態措置（～6/20）
令和3年6月21日	国・緊急事態宣言の区域変更（北海道、東京、愛知、京都、大阪、兵庫及び福岡はまん延防止等重点措置に移行）
令和3年7月1日	★派遣麻酔運用（7/1～当面休止）
令和3年7月12日	国・まん延防止等重点措置の愛知県への適用解除
//	愛知県・厳重警戒措置（～8/11）
令和3年8月2日	★重症病床の再編を院内通知（8/3～） 【変更前】1S：新型コロナウイルス感染症 8床、 14S：救急病床 14床・一般病床 2床 【変更後】1S：新型コロナウイルス感染症 3床・救急病床 5床、 14S：救急病床 8床・一般病床 18床 ※ICU（2床）、10S（22床）の新型コロナウイルス感染症病床は変更なし

1 名古屋市立大学病院

日付	主な出来事（★は当院の対応）
令和3年8月5日	国・まん延防止等重点措置の区域変更（愛知県への適用）
令和3年8月8日	愛知県・まん延防止等重点措置（～9/12）
令和3年8月25日	国・緊急事態宣言の区域変更（愛知などを追加）
令和3年9月1日	<p>★新型コロナウイルス感染症受入病床の緊急確保に係る重点医療機関等の指定（重症者用病床の2床増床（愛知県へ届出）） （指定期間：9/1～10/16）</p> <p>【病床数内訳（35床）】</p> <p>重症・集中治療室：12床（ICU個室：2室、1南：10室（個室）） ※上記の内、緊急確保病床：1南2室（個室）</p> <p>軽症～中等症（個室）：9床（10南：8室、NICU：1室）</p> <p>軽症（個室以外）：14床（33－（10+9））</p>
令和3年9月30日	国・緊急事態宣言が終了
令和3年10月1日	愛知県・厳重警戒措置（～10/17）
令和3年10月17日	<p>★新型コロナウイルス感染症受入病床の緊急確保に係る重点医療機関等の指定の解除（9/1増床分：重症者用病床の2床の解除）</p> <p>【病床数内訳（33床）】</p> <p>重症・集中治療室：10床（ICU個室：2室、1南：8室（個室））</p> <p>軽症～中等症（個室）：9床（10南：8室、NICU：1室）</p> <p>軽症（個室以外）：14床（33－（10+9））</p>
令和3年10月18日	愛知県・警戒領域（～1/20）
令和3年12月1日	愛知県・フェーズ1（～1/27）【病床数内訳（33床）】
令和4年1月21日	愛知県・まん延防止等重点措置（～3/6）
令和4年1月28日	愛知県・フェーズ2（～2/13）【病床数内訳（33床）】
令和4年2月10日	<p>★病床運用変更</p> <p>10南22床→28床運用に変更（1室2床→3床運用）、重症10床→12床運用に変更。</p>
令和4年2月14日	愛知県・緊急フェーズⅠ（～3/31）【病床数内訳（35床）】
令和4年4月1日	愛知県・フェーズ2（～6/13）【病床数内訳（33床）】
令和4年4月15日	<p>重症病床の再編を院内通知（6/1～）</p> <p>【変更前】1S：新型コロナウイルス感染症3床・救急病床5床、 14S：救急病床8床・一般病床18床</p> <p>【変更後】1S：新型コロナウイルス感染症3床・救急病床5床、 14S：救急病床8床・一般病床（心外8床、共通19床）</p> <p>※ICU（2床）、10S（22床）の新型コロナウイルス感染症病床は変更なし</p>

1 名古屋市立大学病院

日付	主な出来事（★は当院の対応）
令和4年4月18日	★10階南病棟改修工事（Ⅰ期：4/18～4/28、Ⅱ期：4/29～5/20） 【工事期間中の病床運用】 工事前：22床 Ⅰ期：9床（最大12床）、Ⅱ期：20床（最大26床）
令和4年6月14日	愛知県・フェーズ1（～7/14）【病床数内訳（33床）】
令和4年7月15日	愛知県・フェーズ2（～10/11） ～7/31【病床数内訳（33床）】 8/1～【病床数内訳（41床）】
令和4年7月19日	愛知県・入院基準「原則、中等症Ⅱ以上」
令和4年8月3日	患者数増加に伴い病床運用変更（愛知県への届出に変更なし） 10南22床→28床運用に変更（1室2床→3床運用）に変更。 ※（現場の判断で）状況により1南を8床→10床にする場合もある。
令和4年8月1日 （届出日：8月16日）	★新型コロナウイルス感染症受入病床の緊急確保に係る重点医療機関等の指定 （NICU病床2床、10S病床：6床増床（愛知県へ届出） （指定期間：8/1～R5/1/15） 〈フェーズ1〉【病床数内訳（33床）】 重症・集中治療室：10床（ICU個室：2室、1南：8室（個室）） 軽症～中等症（個室）：9床（10南：8室、NICU：1室） 軽症（個室以外）：14床（33－（10+9）） 〈フェーズ2〉【病床数内訳（41床）】 重症・集中治療室：10床（ICU個室：2室、1南：8室（個室）） 軽症～中等症（個室）：11床（10南：8室、NICU：3室） 軽症（個室以外）10南：20床（41－（10+11）） 〈緊急フェーズⅠ〉【病床数内訳（43床）】 重症・集中治療室：12床（ICU個室：2室、1南：10室（個室）） ※上記の内、緊急確保病床：1南2室（個室） 軽症～中等症（個室）：11床（10南：8室、NICU：3室） 軽症（個室以外）10南：20床（41－（10+11））
令和4年8月3日	患者数増加に伴い病床運用変更（愛知県への届出に変更なし） 10南22床→28床運用に変更（1室2床→3床運用）に変更。 ※（現場の判断で）状況により1南を8床→10床にする場合もある。
令和4年8月12日	新型コロナウイルス感染症療養解除後の移行期間の受入病床として16北病棟 総室（1615・1616）を使用する。（～9/8）
令和4年9月26日	新型コロナウイルス感染症患者の全数届出見直し（全国一律）
令和4年10月12日	愛知県・フェーズ1（～11/20）【病床数内訳（33床）】
令和4年11月21日	愛知県・フェーズ2（～R5/2/26）【病床数内訳（41床）】

1 名古屋市立大学病院

日付	主な出来事（★は当院の対応）
令和5年1月16日 (届出日:1月27日)	<p>★新型コロナウイルス感染症受入病床の緊急確保に係る重点医療機関等の指定 (指定期間:1/16~5/7) ※確保病床数に変更なし ※休止病床数のみ変更の届出(休止病床:18床減)</p> <p>〈フェーズ1〉【病床数内訳(33床)】 重症・集中治療室 : 10床 (ICU個室:2室、1南:8室(個室)) 軽症~中等症(個室):9床(10南:8室、NICU:1室) 軽症(個室以外) : 14床 (33-(10+9))</p> <p>〈フェーズ2〉【病床数内訳(41床)】 重症・集中治療室 : 10床 (ICU個室:2室、1南:8室(個室)) 軽症~中等症(個室) : 11(10南:8室、NICU:3室) 軽症(個室以外) 10南:20床 (41-(10+11))</p> <p>〈緊急フェーズI〉【病床数内訳(43床)】 重症・集中治療室 : 12床 (ICU個室:2室、1南:10室(個室)) ※上記の内、緊急確保病床:1南2室(個室) 軽症~中等症(個室) : 11床(10南:8室、NICU:3室) 軽症(個室以外) 10南:20床 (41-(10+11))</p>
令和5年2月8日	<p>10階南の病床運用変更(愛知県への届出に変更なし) 変更後:新型コロナウイルス感染症病床17床 (個室8床、総室9床(3室×3人))、一般病床12床(総室4室×3人)</p>
令和5年2月27日	愛知県・フェーズ1 (~R5/5/8以降継続)【病床数内訳(33床)】
令和5年3月31日	★東部医療センター高次ウイルス感染症センター 看護師派遣終了
令和5年5月7日	★新型コロナウイルス感染症に対する手術・治療前対応方針に基づくスクリーニング検査終了

② 受け入れ実績

令和2年3月から新型コロナウイルス感染症陽性患者を受け入れて以降、発熱や肺炎の症状のある感染疑い患者についても受け入れを開始し、令和5年5月7日時点で陽性患者(入院)は803人を受け入れた。各年度の受け入れ患者数(入院患者数、重症患者数)は次表のとおり。

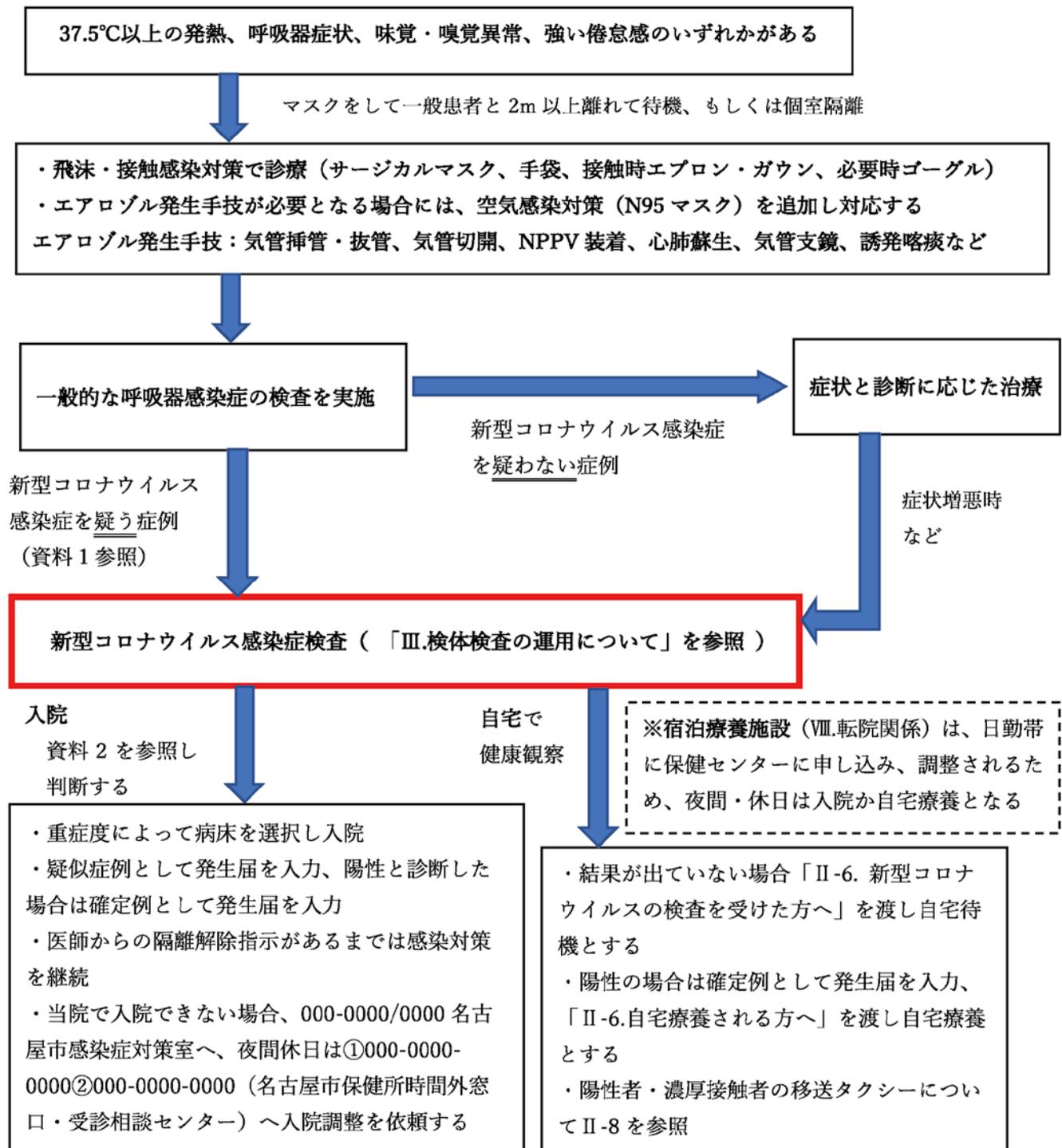
1 名古屋市立大学病院

	区分	入院患者数 (実人数)	うち、重症者	受け入れ患者数 (外来)
令和元年度	2月	0	0	0
	3月	2	1	0
	合計	2	1	0
令和2年度	4月	2	1	0
	5月	0	0	0
	6月	0	0	0
	7月	4	1	0
	8月	15	0	1
	9月	3	0	0
	10月	7	0	1
	11月	26	2	3
	12月	36	1	3
	1月	37	7	3
	2月	17	8	1
	3月	2	1	0
	合計	149	21	12
	令和3年度	4月	17	11
5月		39	26	2
6月		10	8	0
7月		5	2	3
8月		36	20	7
9月		25	19	0
10月		3	2	0
11月		0	0	0
12月		2	0	0
1月		25	4	26
2月		64	18	33
3月		22	4	15
合計		248	114	88
令和4年度		4月	12	1
	5月	5	0	17
	6月	6	0	7
	7月	42	4	106
	8月	100	12	145
	9月	20	2	44
	10月	11	1	13
	11月	39	5	49
	12月	78	5	98
	1月	66	10	77
	2月	11	1	16
	3月	6	1	10
	合計	396	42	599
	令和5年度 (5月は1日から7日まで)	4月	7	2
5月		1	0	3
合計		8	2	12

1 名古屋市立大学病院

(2) 診療体制の構築

① 新型コロナウイルス感染症疑い患者の対応フロー



1 名古屋市立大学病院

② 新型コロナウイルス感染症診療のチーム体制

新型コロナウイルス対策本部会議（医療部門）、感染制御部を司令塔として実施

コロナ感染症対応病床 (ゾーニング、陰圧化、人員配置)	10南、ICU、救命救急センター（9北、14南の一部閉鎖）
重症呼吸管理チーム	救急科、呼吸器内科、麻酔科、看護部、薬剤部、 診療技術部等
重症患者担当主治医	外科系診療科
中等症患者担当主治医	内科系診療科
派遣麻酔（外科系診療科）（※）	ER当直
外来・入院・手術・検査など	院内全部門での感染対応
患者・職員の心理サポート、ケア	こころの医療センター
新型コロナウイルス感染症関連投薬治療	呼吸器内科、薬剤部等
PCR検査等検査体制	中央臨床検査部

（※）外科系診療科による派遣麻酔は令和3年2月8日～令和3年6月30日まで実施

③ 検査体制

○運用

疑似症（外来・入院）	抗原定量→確認検査が必要な事例は、2回目はRT-PCR
緊急手術・緊急治療救急外来からの 緊急入院	抗原定量
定例手術・治療前スクリーニング	LAMP法（手術・治療前対応指針を参照） 令和4年3月以降、抗原定量に移行
一般外来からの緊急入院定期入院	症状や問診から疑いがあれば、疑似症例に準じて対応する

1 名古屋市立大学病院

○検査について

検査名称	対象	オーダ	検査材料	検体容器	検体 締め切り	所要時間 報告時間
抗原定量	疑似症	緊急検査 →SARS-CoV-2抗原定量	鼻咽頭ぬぐい液	新型コロナウイルス感染症抗原処理液(専用容器)と専用スポンジスワブ (時間内:検体検査室 時間外:緊急検査室)	24時間	30~40分
RT-PCR	疑似症 確認検査	検体検査 →免疫(内) →SARS-CoV-2(PCR法) →個別材料変更で材料 を選択	【原則】 鼻咽頭ぬぐい液 ※上記が難しい 場合、喀痰・唾 液の検査は平日 のみ可能。 休日は鼻咽頭ぬ ぐい液のみ	鼻咽頭ぬぐい液:専用鼻 腔コロナUVTスタンダー ドキット (時間内:中央採血室、 時間外:緊急検査室) 喀痰・唾液:白スクリュウ (物品コード5001633)	平日 ①11時 9時と11 時に解析 ②21時 休日 ①12時 ②21時	検査開始より GeneXpert: 1.5時間 (LightCycler: 3時間)
LAMP法	手術・治療前 スクリーニング	●セット展開→共通 →001_新型コロナ手術・ 治療前対応の起動画面 でオーダ ●微生物検査→一般細菌 →コロナ→鼻腔ぬぐい液 SARS-oV-2(LAMP法)	鼻咽頭ぬぐい液	①と②を準備 ①【パンデミック】 LOOPAMPウイルス RNA抽出試薬 (物品コード5070245) ②FLOQスワブ鼻腔用 (物品コード5066032)	平日 10時 16時	平日 11時30分 17時30分
外注PCR	産科分娩 スクリーニング	ウイルス(外) →婦人科用PCR外注	唾液	鼻咽頭ぬぐい液又は唾液: 専用外注LSIコロナUVT スタンダードキッド (時間内:中央採血室、 時間外:緊急検査室)	平日 16時	2営業日後の 平日17時

(3) 自治体等からの協力要請

- 新型コロナウイルス感染症重点医療機関に指定(愛知県より令和2年7月27日指定)
- 医療従事者等への新型コロナウイルス感染症に係る予防接種における基本型接種施設に指定(愛知県より令和3年1月25日指定)
- 愛知県新型コロナワクチン接種後の副反応等への対応への協力医療機関に指定(愛知県より令和3年3月15日指定)

(4) 施設・医療機器整備

① 清潔エリアの確保

令和2年4月に、新型コロナウイルス感染症患者受け入れの窓口となる救命救急センターにおける汚染区域と清潔区域とを区画する工事を行った。ナースステーションの窓口を透明なポリカーボネート板で塞ぎ、災害時用に備蓄していた簡易陰圧装置を設置することで清潔区域を確保した。新型コロナウイルス感染症流行初期は工事請負業者が見つからなかったため、部材を調達して取付工事は職員で行った。

その後、新型コロナウイルス感染症流行拡大に伴い、中等症患者の受け入れ病棟の各病室に簡易陰圧装置の取り付け工事を行った。また、重症患者の診療を行う救命救急センター及びICUにおいては、エアロゾルの発生を考慮して病室に前室を確保できるよう扉と陰圧装置の設置工事を行い、更にオープンスペースや廊下をビニールカーテン等で区画できるようにし、救命救急センター内には感染患者や感染疑いの搬送患者にも対応できるよう、個室の診察室と前室付初療室を設置し、院内の感染拡大の防止や診療に当たる職員の安全確保に努めた。

1 名古屋市立大学病院



救命救急センター カメラモニター



救命救急センター 陰圧装置

② 関連設備工事

清潔エリアを確保するための区画工事によって、これまで得られていた聴覚情報が得られなくなったため、病室の様子をスタッフステーションから遠隔確認できるようカメラシステムを併せて導入した。さらに、救命救急センターでは、医療機器のアラート音を収集するマイクシステムや病室とスタッフステーションとで相互通話可能なナースコールを導入した。

③ 療養環境の整備

新型コロナウイルス感染症患者受入病床において、入院患者と来訪者とがコミュニケーションを取れるように、令和3年10月に面会用のWi-Fiネットワークを導入した。また、一般病棟では面会が禁止されていたこと等から、入院患者の療養環境の一助として、食堂、デイルーム等の病棟共用箇所における一般向けWi-Fiネットワークの整備を行った。

④ 医療機器の整備

新型コロナウイルス感染症患者の増加に伴い、中等症患者の受け入れ病棟の整備や、重症患者を受け入れる救命救急センターやICUの機能強化のため、補助金等を活用し、ECMOや人工呼吸器をはじめとする医療機器の整備を行った。



血液浄化装置ACHΣプラス



人工呼吸器HamiltonC6



体外式膜型人工肺ECMO

1 名古屋市立大学病院

(5) 助成金・補助金

【令和2年度】

名 称	交付元	交付金額(千円)
新型コロナウイルス対策高度先端医療人材養成事業（大学改革推進等補助金）	文部科学省	20,000
新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業補助金	厚生労働省	285,000
愛知県医療従事者応援金	愛知県	159,400
新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（3）（入院医療機関整備）	愛知県	262,053
新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（15） （重点医療機関体制整備事業）	愛知県	2,545,738
新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（16） （重点医療機関設備整備事業）	愛知県	94,493
新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（18） （救急・周産期・小児医療体制確保事業）	愛知県	111,205
新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（5）（検査機関整備）	名古屋市	25,180
新型コロナウイルス感染症救急医療体制運営補助金	名古屋市	3,895
名古屋市地域医療体制緊急応援金	名古屋市	2,450
施設整備費補助金	名古屋市	60,670
新型コロナウイルス感染症と複合災害に備えた救急医療施設への緊急支援プログラム	公益財団法人 日本財団	39,220
合 計		3,609,304

【令和3年度】

名 称	交付元	交付金額(千円)
新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業補助金	厚生労働省	58,500
新型コロナウイルス感染症感染拡大防止・医療提供体制確保支援補助金	厚生労働省	22,250
インフルエンザ流行期の新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業 （救急・周産期・小児医療体制確保事業）【令和2年度分】	厚生労働省	28,000
愛知県医療従事者応援金	愛知県	126,973
新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（3）（入院医療機関整備）	愛知県	24,562
新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（15） （重点医療機関体制整備事業）	愛知県	4,075,551
愛知県新型コロナウイルスワクチン接種支援事業交付金	愛知県	11,224
新型コロナウイルス感染症救急患者等受入医療機関支援金	名古屋市	4,795
高次ウイルス感染症センターの運営負担金	名古屋市	304,411
沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部への看護師派遣に係る負担金	沖縄県	2,529
合 計		4,658,795

1 名古屋市立大学病院

【令和4年度】

名 称	交付元	交付金額(千円)
新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業補助金	厚生労働省	36,000
インフルエンザ流行期の新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業 (救急・周産期・小児医療体制確保事業)	厚生労働省	2,231
愛知県医療従事者応援金	愛知県	8,690
新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業(3)(入院医療機関整備)	愛知県	27,270
新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業(15) (重点医療機関体制整備事業)	愛知県	3,360,028
愛知県新型コロナウイルスワクチン接種支援事業交付金	愛知県	5,761
新型コロナウイルス感染症救急患者等受入医療機関支援金	名古屋市	14,630
高次ウイルス感染症センターの運営負担金	名古屋市	273,911
合 計		3,728,521

(6) 病院職員への手当支給

① 感染症予防作業手当の特例措置

新型コロナウイルス感染症に係る患者対応業務に従事した職員に対し、特例措置として、1日あたり4,000円又は3,000円の日額手当を支給した。なお、令和5年5月8日以降は新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」に移行したことに伴い、運用を廃止した。

区 分	金 額
患者に接触する業務	日額 4,000円
上記以外の感染の恐れが認められる業務	日額 3,000円

※ただし、従事した時間が3時間50分未満の場合はそれぞれ2分の1の金額

② 慰労金

国の新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業の一環として、医療機関等に勤務し患者と接する医療従事者や職員に対し、新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金交付事業が実施された。所属医療機関を通じて申請手続きを行うため、委託職員を含め市大病院における申請希望者(約2,600名)について令和2年10月に県に申請を行い、令和3年1月に申請者へ給付を行った。

(7) 患者対応に係る福利厚生

① PCR検査の実施

新型コロナウイルス感染症陽性患者の診療に携わった医療従事者の希望者に対し、遺伝子検査(LAMP法)を病院負担で実施することとした。

1 名古屋市立大学病院

② 宿泊施設の提供

新型コロナウイルス感染症患者の対応を行う医療従事者等においては、職員自身の感染と同居家族への感染の不安を抱えながら勤務している状況であり、在宅時の家族への感染防止及び感染させる恐れ不安解消のため、勤務終了後に自宅以外で過ごすことを希望する職員に対し、ビジネスホテルの客室の提供を行った。

実施期間	令和2年8月11日～現在（令和5年5月8日以降も継続）
宿泊施設	ホテルルートイン名古屋今池駅前 <ul style="list-style-type: none"> ・シングルルーム（禁煙室、朝食付） ・チェックイン15時、チェックアウト翌10時
利用日	週休日を含めた連続利用可
自己負担額	1泊 1,000円（駐車料金は利用者負担）

3 医療従事者の派遣

(1) 集団接種会場

第4章 「6 ワクチン接種について」に記載

(2) 愛知県立病院

新型コロナウイルス感染症に対する医療体制の更なる強化を図るため、愛知県により新型コロナウイルス感染症の専門病院「愛知県立愛知病院」が令和2年10月15日に開設された。当院からは準備期間も含め令和2年10月12日より、愛知病院が休止となった令和5年3月31日まで継続して医師の派遣を行った。

(3) 宿泊療養施設

名古屋市からの依頼により、令和2年12月1日から令和3年2月28日まで、新型コロナウイルス感染症軽症者入所施設（東横INN名古屋名駅南）へ看護師1名を派遣し、派遣看護スタッフのとりまとめやオンライン医師への報告、緊急時の対応などを行った。

(4) 夜間休日救急当番制（名古屋市）

令和2年12月10日より、新型コロナウイルス感染症患者（ホテル・自宅待機者）の病態悪化による平日夜間・休日の救急搬送を二次及び三次救急の輪番病院が対応することとなり、当院は三次救急医療機関のため、原則二次救急医療機関では対応できない救急患者の受け入れを行った。また、令和3年2月8日からは重症バックアップ医療機関として、主に重症患者の対応を行った。

なお、令和3年8月以降は、名古屋市消防局からの依頼により、名古屋市内で救急搬送先医療機関が確保できない状況で、搬送中に容態悪化の可能性のある新型コロナウイルス感染症患者の緊急受け入れ及び応急対応を行った。

1 名古屋市立大学病院

(5) 高次ウイルス感染症センター

新型コロナウイルス感染症患者の増加に対応するため、名古屋市健康福祉局から名古屋市立大学に運営を委託され、東部医療センター旧東病棟5階に新型コロナウイルス感染症対策専用として22床を整備した。当該病床については、「名古屋市立大学医学部附属東部医療センター高次ウイルス感染症センター」として位置づけ、令和3年4月1日から運用開始となった。当院からは準備期間も含め令和3年3月29日より医師を派遣し、令和5年5月8日以降も継続して派遣を行っている。

(6) 県外医療機関等への派遣

● 神奈川県（クルーズ客船「ダイヤモンド・プリンセス号」への医師派遣

横浜港停泊中のクルーズ客船「ダイヤモンド・プリンセス号」船内での乗客・乗員の健康管理のため、令和2年2月10日から2月12日まで、DMATロジスティックスチーム隊員として医師1名を派遣した。

● 大阪府への医師派遣

厚生労働省からの依頼により、救急科医師1名が厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部事務局参与に就任し、感染者が急増していた大阪府へ派遣され、令和3年4月28日から5月3日まで、大阪市内でクラスター（感染者集団）が発生した高齢者福祉施設を回り、感染対策の指示等を行った。

● 沖縄県への看護師派遣

愛知県看護協会および文部科学省からの派遣要請に基づき、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により医療のひっ迫が深刻となっていた沖縄県へ看護師4名の派遣を行った。

① 愛知県看護協会からの要請に基づく派遣

【派遣期間】 令和4年1月30日～令和4年2月12日（14日間）

【派遣職員】 看護師2名

【業務内容】 宿泊療養施設での看護業務

② 文部科学省からの要請に基づく派遣

【派遣期間】 令和4年1月30日～令和4年2月12日（14日間）

【派遣職員】 看護師2名

【業務内容】 入院待機施設での中等症患者への対応

1 名古屋市立大学病院

4 その他病院運営

(1) 医療従事者の健康観察等

国を挙げて感染症対策を進めている中で、この地域の医療を担う医療従事者として感染リスクを低減させ、継続して医療を提供する責務があるという観点から、従事者の健康観察を令和2年2月より開始した。

その後、国等の指針に基づき適宜変更を行いながら令和5年4月末まで継続した。

【職員の健康管理】（令和2年8月時点の運用）

下記の①～③について「個人用の健康観察表」を用いて各自の健康観察の実施・管理者への報告を行う。

※職員とは医療従事者だけでなく、事務職や委託業者等を含む病院従事者とする

① 平時の健康観察

職員は出勤前（就労前に体温測定を実施、健康観察表にある症状が認められた場合は管理者へ報告・相談する。自宅療養の判断の目安として、37.5℃以上又は平熱より高く、症状がある場合は、自宅で経過観察し症状改善後（目安として24時間経過）に出勤とする。各部門の業務内容や職員の体調により管理者が判断する。

② 適切な防護を行い新型コロナウイルス感染症患者の診療に従事した場合

14日間1日2回の体温測定を含めた健康観察を行いながら就労する。37.5℃以上の発熱、咳など症状が出現した際は、管理者へ報告し速やかに受診をする（業務を継続しない）。また、同期間は、サージカルマスクの着用、手指衛生を徹底する。

※適切な感染防護とは、診療時のサージカルマスク、手袋の着用（手指衛生の遵守）。エアロゾル発生手技ではN95マスク、ゴーグル、長袖ガウン、手袋の着用のことをいう

③ 濃厚接触者

診療・就労の停止をし、自宅で14日間、1日2回の体温測定を含めた健康観察を行う。

※濃厚接触者の定義（判断に迷う場合は、感染制御部へ連絡する）

- 感染者と1メートル以内でサージカルマスクの装着がなく15分程度の接触をしている
- エアロゾルを生じる処置時にN95マスク、手袋、ガウン、ゴーグル（フェイスシールド）の装着をしていない
- 患者の気道分泌物もしくは体液等の汚物物質に直接接触した可能性が高い
- 行政より濃厚接触者として特定された場合

④ 濃厚接触者の接触者に該当する場合

就労停止は必須ではないが、業務外においても関係者と濃厚接触を避けるよう留意する。濃厚接触者が有症状である場合は、そのリスクを勘案して就労制限を行うかを該当部署と感染制御部で検討する。

1 名古屋市立大学病院

⑤ 陽性者（医療従事者、事務職、委託業者）の復職基準

厚生労働省の退院基準（自宅待機基準）を満たした後、PCR検査で陰性を確認する。

※国の運用に見直しに伴い、令和4年9月14日以降は療養期間経過後の復職時の検査は原則不要とした。

(2) リ患者・濃厚接触者の行動歴調査・検査

院内での感染拡大を防ぎ、医療機能を維持するため、新型コロナウイルス感染症り患又は濃厚接触者となった職員がいた場合は、行動履歴の調査など迅速に対応を行ってきたため、院内での大規模なクラスター等による医療機能停止は起こっていない。

【り患又は濃厚接触者となった場合の連絡体制】

- ① 部門長等は、管理課、感染制御部へ報告する。
- ② 管理課、感染制御部を中心に関連する情報や検査結果等の情報を確認し、さらなる濃厚接触者の接触者確認や連絡・通知等を行い、感染拡大防止に努める。
- ③ 管理課は適宜総務課と情報共有を行い、場合により報道や関係省庁への報告を行う。

(3) 取材対応

医師等がマスコミの取材に対応し、病床や救急医療のひっ迫状況、感染防止対策、ワクチンの効果、緊急事態宣言の影響などについて、市民に分かりやすく情報提供を行った。

(4) マスク等の物資の確保

令和2年2月中旬から、医療物資が発注したとおりの数で納入されない、遅延するなど、納入業者からの供給が不安定になった。一方で、国・県・市からの医療物資の優先供給や、法人・個人からの寄附、更には海外からも寄附を頂けるようになった。このほか、マスクなど一部の物資は、災害用備蓄なども活用し、病院内全部署において十分にとはいかなかったものの、それらの物資を感染対策が必要な部署に優先的に供給することにより、何とか凌いできた。

令和2年6月以降は、納入業者からの供給が徐々に改善してきていたが、新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響に伴い、在庫の積み増しは完了していないが、2月に比べれば手厚い状況が続いた。

また、令和3年1月以降の新型コロナウイルス感染症の再拡大により、一部の商品でメーカーの出荷制限がかかり、希望の数量で供給を受けることは困難な状況になったが、令和3年2月中旬以降にはほぼ回復した。

令和4年以降は、新型コロナウイルス感染症の影響や半導体不足による供給の不透明さが依然としてある他、ウクライナ情勢や上海ロックダウン、円安・原油高による原材料費高騰の影響により一部物品に供給の不安定さが増す状況となった。

ひきつづき、医療の提供に支障が出ることがないように、医療物資の確保に努めるとともに、使用量を必要最小限とするほか、代用品の準備など欠品対策にも努めている。

1 名古屋市立大学病院

	日付	サージカルマスク(枚)	N95マスク(枚)	アイソレーションガウン(枚)	ニトリルグローブ[S,M](双)
令和2年3月から 7月まで	3月31日	96,800	60	0	75,500
	4月30日	26,600	120	550	51,875
	5月31日	0	1,525	1,280	225,750
	6月30日	0	2,920	2,170	283,250
	7月31日	0	2,080	2,980	335,625
令和2年8月から 12月まで	8月31日	0	300	7,607	225,125
	9月30日	0	460	8,462	184,250
	10月31日	0	40	8,826	71,500
	11月30日	34,900	1,680	7,836	93,125
	12月31日	39,500	1,220	6,295	135,625
令和3年1月から 3月まで	1月31日	22,700	120	3,950	158,000
	2月28日	140,700	200	2,790	184,000
	3月31日	147,500	500	880	238,000
令和3年4月から 8月まで	4月30日	578,550	13,790	23,800	56,250
	5月31日	544,800	13,660	24,820	272,375
	6月30日	544,800	40,400	25,840	954,500
	7月29日	709,300	57,990	25,840	1,916,250
	8月31日	709,300	56,650	25,840	1,346,000
令和3年9月から 令和4年1月まで	9月30日	709,300	56,050	25,840	804,500
	10月29日	709,300	57,240	25,840	716,250
	11月30日	709,300	56,880	28,230	722,000
	12月28日	709,300	56,360	26,015	368,750
	1月31日	709,300	58,580	1,330	353,250
令和4年2月から 6月まで	2月28日	709,300	55,600	3,229	336,875
	3月31日	544,800	58,830	3,729	332,750
	4月28日	544,800	39,800	3,709	353,500
	5月31日	544,800	37,040	3,229	346,500
	6月29日	544,800	39,290	2,897	277,625
令和4年7月から 11月まで	7月25日	709,300	55,680	1,120	119,375
	8月29日	709,300	52,990	1,423	121,875
	9月26日	709,300	50,490	1,777	132,000
	10月31日	730,850	49,720	875	53,875
	11月28日	727,500	50,020	719	8,500
令和4年12月から 令和5年4月まで	12月28日	728,450	49,750	1,212	57,250
	1月30日	615,900	46,100	1,732	55,750
	2月27日	623,750	46,440	1,375	54,625
	3月27日	613,950	46,830	1,317	51,875
	4月24日	632,050	51,600	2,754	43,250

1 名古屋市立大学病院

(5) 来院者の体温測定

令和2年4月より、院内での感染伝播のリスクを低減させるため外来発熱者トリアージを開始した。

外来発熱者トリアージの開始に伴い出入口を玄関一つに集約し、職員により来院者の検温、マスクの着用及び手指消毒の依頼を行った。寄附金（さくら基金）を利用してサーモグラフィを調達し、効率的な検温に努めた。

令和4年6月からは、救急災害医療センター建築工事に伴う玄関の移動のため、職員による対応から来院者自身による検温に移行した。



(6) 面会制限・入室制限

令和2年4月より、厚生労働省の指針に沿って面会を目的とした入館を禁止した。

患者の付き添いが必要な場合や物品の受け渡しのために入館する際は、入館者に来院目的、体調等の帳簿を依頼し、必要な際に入館者の情報を確認できる運用とした。

(7) 会議の開催制限等

令和2年2月より、会議室の新規利用申し込み受付を一時見合わせ、新型コロナウイルス感染症の情勢を踏まえて判断されたキャンセルには返金対応を行った。受付再開後も国や県の通知に従って会議室の定員に対する収容人数の制限を行い、参加者の氏名及び緊急連絡先の把握のための名簿作成、換気、利用後のアルコール消毒等を利用者に依頼した。令和5年5月からの5類移行を受け、申請者の新型コロナウイルス対策資料提出を廃止予定。

(8) 実習生受け入れ制限

院内の感染伝播のリスクを低減させるため、下記期間において実習生・研修生（有資格者）の受け入れ制限を行った。また、受け入れ再開にあたっては、職員と同様に健康観察等の感染対策を実施した。

受け入れ中止期間	対象	備考
R2.3.1～R2.4.7	実習生・研修生	
R2.4.13～R2.6.30	実習生・研修生	学内からの実習生はR2.6.7まで
R2.7.31～R2.9.30	実習生	学内からの実習生はR2.8.24まで
R3.1.18～R3.3.7	実習生	新規の学外学生実習受け入れ中止

1 名古屋市立大学病院

(9) 寄附物品

当院における新型コロナウイルス感染症対策に対し、多くの企業、団体及び個人の皆さまより心温まる寄附をいただいた。



【N95マスク】

R2.8.18 名古屋商工会議所 様



【フェイスシールド】

R2.8.18 株式会社豊田自動織機 様



【鰻丼】

R3.2.1 株式会社比呂野 様



【カエルまんじゅう】

R3.9.16 株式会社青柳総本家 様

寄附物品受け入れ一覧

物品受納日	寄附者	物品名
R2/4/21	株式会社亀屋芳広 様	やわらかサブレ
R2/4/22	株式会社武ホールディングス 様	マスク
R2/4/27	ウシオ電機株式会社 様	N95マスク
R2/4/30	RATION JAPAN株式会社 様	フルーツ&ベジタブルバー
R2/5/1	加藤 皓平 様	マスク
R2/5/1	関西台商協会 様	マスク
R2/5/1	高雄市醫師公会 様	防護服、フェイスシールド
R2/5/1	社会福祉法人紫水会 様	サージカルマスク、ガウン他 (医療物資)
R2/5/1	名古屋市上下水道局 様	N95マスク

1 名古屋市立大学病院

物品受納日	寄附者	物品名
R2/5/7	大阪台湾同郷会 様	防護服
R2/5/8	シーシーエスコーヒー株式会社 様	コーヒー
R2/5/8	株式会社アイディック3D 様	フェイスガード
R2/5/8	林 紀子 様	マスク
R2/5/11	株式会社タナカ 様	コーヒー・紅茶・お菓子
R2/5/12	マウンテンコーヒー株式会社 様	ドリップバッグコーヒー
R2/5/13	株式会社武ホールディングス 様	マスク
R2/5/13	陳 潤釗 (チェンランザオ) 様	マスク
R2/5/13	株式会社豊田自動織機 様	フェイスシールド
R2/5/13	水谷クリニック 様	N95マスク
R2/5/14	田中 茂 様 (好陽軒 様)	現金 (さくら基金)
R2/5/14	服部 豊 様	現金 (さくら基金)
R2/5/15	名古屋市上下水道局 様	N95マスク
R2/5/18	スターバックスコーヒージャパン株式会社 様	コーヒー・お菓子
R2/5/19	株式会社丸菱製作所 様 (あいち海援隊 様)	雨合羽
R2/5/19	東洋羽毛東海販売株式会社 代表取締役社長 柳場 弘 様	マスク
R2/5/20	パーク動物病院 奥村 順子 様	N95マスク、メディカルキャップ
R2/5/20	株式会社金蝶堂 様	お菓子
R2/5/27	一般社団法人 愛知県病院協会 会長 伊藤 伸一 様	牛乳
R2/5/27	名古屋ショーケース株式会社 様 ※現 エヌショーケース株式会社 様	マスク・非接触検温器 アクリル板他 (医療物資)
R2/5/28	Bar Rowdy's (ローディーズ) 様	マスク
R2/5/29	株式会社オートブティックマル井 代表取締役 白井 英明 様	マスク
R2/6/1	愛知中パナソニックショップ会 会長 矢形 修己 様	ハンディファン
R2/6/1	KANNON WEDDING 様	お菓子
R2/6/1	たまえ保育園 様	ガウン
R2/6/1	株式会社アルタ 様	トイレットペーパー
R2/6/2	壬辰化学株式会社 様 リケンテクノス株式会社 様	マスク・フェイスシールド 抗ウイルスフィルム
R2/6/2	学校法人医学アカデミー 様	ポリエステルコート、フェイスシールド

1 名古屋市立大学病院

物品受納日	寄附者	物品名
R2/6/4	中華人民共和国駐名古屋総領事館 様	マスク、ウェットティッシュ
R2/6/5	ベストリンクインターナショナル株式会社 様	マスク・KN95マスク
R2/6/11	飯田 貢 様	現金 (さくら基金)
R2/6/15	児玉 雅範 様	マスク
R2/6/15	名古屋商工会議所 様	N95マスク
R2/6/19	名古屋華僑総会 様	マスク
R2/6/19	VTホールディングス株式会社 様	防護服
R2/6/23	株式会社アメーバホールディングス 様	お菓子
R2/7/3	前田 志保 様	アイソレーションガウン
R2/7/3	岡本 雅司 様	フェイスシールド
R2/7/7	株式会社UACJ 様 尾池工業株式会社 様	フェイスシールド フェイスシールド用銅フィルム他
R2/7/7	鈴木 裕子 様	マスク・マスクケース
R2/7/8	株式会社デイリーテクノ 様	次亜塩素酸水生成装置
R2/7/21	株式会社NTTドコモCS東海 様	タブレット端末
R2/7/22	Lico HAIR&RELAXATION 様	シャンプー
R2/8/6	キョーイクホールディングス株式会社 様	サージカルマスク
R2/8/26	株式会社佐野塗工店 様	ガウン、フェイスシールド他 (医療物資)
R2/10/1	幸和産業株式会社 様	空間除菌消臭装置
R2/8/18	株式会社豊田自動織機 様	フェイスシールド
R2/8/21	亀井 加津子 様	マスク・マスクケース
R2/8/31	東朋テクノロジー株式会社 様	現金 (さくら基金)
R2/10/2	いわま歯科クリニック 様	ガウン・フェイスシールド、サージカルマスク
R2/11/6	エム・エフコンサルタント株式会社 様	パルスオキシメータ
R2/12/2	東洋羽毛東海販売株式会社 様	マイカミンケット
R2/12/25	名古屋ショーケース株式会社 様 ※現 エヌショーケース株式会社 様	パーテーション 床用サイン他 (医療物資)
R2/12/28	ワダコーヒー株式会社 様	コーヒーバッグ
R3/1/5	株式会社アメーバホールディングス 様	牛カツ弁当
R3/1/28	フマキラー株式会社 様	アルコール除菌スプレー、アルコール消毒液
R3/2/1	株式会社比呂野 様	鰻丼
R3/2/4	医療法人格医会 可世木婦人科ARTクリニック 様	防護服・ガウン N95マスク

1 名古屋市立大学病院

物品受納日	寄附者	物品名
R3/2/5	横井定株式会社 様	マスク
R3/2/9	株式会社日本ビジネスデーター プロセッシングセンター 様	ガウン
R3/2/8	なつめコーヒー 様	ドリップコーヒー
R3/2/19	個人の方	お菓子、ほっとアイマスク
R3/2/22	甘味処由太郎 様	あんこ
R3/3/1	本村 悦男 様	コーヒー、お菓子
R3/3/5	カフェヴェリーヌ 様	キッシュ弁当
R3/3/2	まぐろや石亭御器所店 様	お寿司
R3/3/10	株式会社愛知銀行 様	現金（さくら基金）
R3/3/22	名糖産業株式会社 様	アルファベットチョコ
R3/3/24	有限会社アルテックス 様	フェイスガード
R3/3/25	アタム技研株式会社 様	車椅子洗浄機
R3/3/29	東海典礼株式会社 様	お菓子
R3/4/6	株式会社バッファロー 様	遠隔診療向けカメラ
R3/6/10	株式会社青柳総本家 様	カエルまんじゅう
R3/6/16	日東工器株式会社 様	携帯型吸引器
R3/6/25	株式会社UACJ 様	フェイスシールド用抗菌フィルム
R3/7/5	東洋羽毛東海販売株式会社 様	ラスク
R3/7/16	有楽製菓株式会社 様	ブラックサンダー
R3/7/20	コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 様	飲料
R3/9/16	株式会社青柳総本家 様	カエルまんじゅう
R3/11/4	名古屋ショーケース株式会社 様 ※現 エヌショーケース株式会社 様	空気清浄機
R3/7/30	大島 奈津子 様	現金（さくら基金）
R3/9/16	中部連合読売会 会長 廣本 哲也 様	現金（さくら基金）
R4/4/18	三枝樹 博道 様	キーボード、フェイスシールド
R4/8/30	フマキラー株式会社 様	アルコール除菌スプレー、アルコール消毒液
R4/10/12	株式会社池田模範堂 様	ハンドクリーム
R5/2/22	マウンテンコーヒー株式会社 様 桜花学園高等学校 様	コーヒー
R5/3/15	株式会社ヤクルト東海 様	栄養ドリンク

コラム⑦

院内の感染対策について

小川 綾花 名古屋市立大学病院 感染制御室 主査：平成28～令和4年度

新型コロナウイルス感染症流行当時、病院内は世間と同様に混乱し感染制御室には問い合わせが殺到しました。感染制御室は対応の許容範囲を超えた状況でしばらくの間日付をまたいで帰宅していたのを思い出します。流行前より新型インフルエンザ等に備えた訓練をし、重症者の受け入れシミュレーションや隔離ユニット、個人防護具の準備をしていたものの、流行の規模は想定を大きく上回りました。この危機的事態は対応記録の通り、対策本部（医療部門）の指揮により、診療・受け入れ体制や設備・医療機器等が整備され徐々に落ち着いていきました。そして、各部門が部署の専門に応じた役割を担い、必要な対策を主体的に策定し実行するよう組織が変容していきました。

この3年間対応をする中で、感染対策の原則として貫いたことが2つあります。1つ目は、行政の通知や最新の知見に沿って速やかに院内ガイドラインを改訂し、特別な院内ルールは避け、根拠なく対策を緩めなかったことです。これにより運用の混乱を避け、また、病院機能を大きく停止するような院内感染を防ぐことにつながったと考えます。2つ目は、様々な部署と感染対策について話し合う中で、与えられた条件内で最善、かつ、実行可能な方法を決定することです。時には意見がぶつかることもありましたが納得できるよう検討を重ねました。また、対策本部（医療部門）へも多くの提案をし、審議を重ね多大な協力を得ることが出来ました。これらの対応の積み重ねが、組織が変容する一助になったのではないかと考えます。

2 東部医療センター

1 新型コロナウイルス感染症対応のあゆみ

日付	主な出来事（★は当院の対応）
令和2年1月6日	「中華人民共和国湖北省武漢市における非定型性肺炎の集団発生に関わる注意喚起について」厚生労働省健康局結核感染症課より事務連絡
令和2年1月7日	★新型コロナウイルス感染症患者受け入れ対応準備開始 感染症病棟10床 8西感染症病棟含めICTで協議 「感染症病棟への入院説明」作成 「自宅待機時の注意事項」作成
令和2年1月10日	★「武漢で発生している肺炎について（第1報）」電子カルテニュース
令和2年1月10日	★「武漢で発生している肺炎について（第2報）」電子カルテニュース
令和2年1月10日	★「医師向け院内COVIDマニュアル第1版」作成 情報収集内容から空気感染対策実施 時間内・時間外対応 PHS連絡先一覧 外来チェックリスト 作成内容を電子カルテニュースに掲示
令和2年1月10日	★「中国 武漢で新種のコロナウイルスが発生しています」注意喚起ポスター作成し、病院入口等に掲示
令和2年1月15日	★千種保健センターより病院長へ「中華人民共和国湖北省武漢市における非定型性肺炎の集団発生に関わる注意喚起について」院内感染対策の徹底と疑似症サーベイランスのため疑似症等発生時は保健センターへ連絡するよう依頼あり
令和2年1月17日	★「新型コロナウイルス感染症に対する積極的疫学調査実施要項」国立感染症研究所より調査協力依頼
令和2年1月20日	★千種保健センター担当者より依頼 1例目疑似症受け入れ 診察した後帰宅
令和2年1月22日	★「新型コロナウイルスに関連した肺炎患者の発生に係る対応について」通知 第二種感染症指定医療機関としての使命要請 愛知県保健医療局長より
令和2年1月22日～24日	★全職員向け勉強会「新型コロナウイルスの当院対応と感染対策について。信頼できる情報を」全開催7回ICT主催
令和2年1月24日	★西部医療センター合同Web勉強会 ICT主催
令和2年1月24日	★「新型コロナウイルス患者の対応フロー」ICT作成
令和2年1月24日	★中保健センターより疑似症診察依頼あり対応
令和2年1月24日	★「入院対象患者・救急外来受け入れマニュアル」ICT作成
令和2年1月28日	新型コロナウイルスによる感染症法「指定感染症」、検疫法「検疫感染症」に指定。政令施行は2月1日。
令和2年1月29日	★「新型コロナウイルス関連肺炎の疑い患者の対応フロー」ICT作成
令和2年1月29日	★「武漢で発生している新型コロナウイルス感染症について（第3報）」
令和2年1月30日	★「新型コロナウイルス感染症と当院の対応について」感染症科による特別講演会
令和2年1月31日	★「新型コロナウイルス患者対応」自宅待機の注意：日本語、中国語、英語 ICT作成

2 東部医療センター

日付	主な出来事（★は当院の対応）
令和2年1月31日	★「新型コロナウイルス患者対応」入院のお願い：日本語、中国語、英語
令和2年1月31日	★「新型コロナウイルス患者対応」外来会計について：日本語、中国語、英語
令和2年2月6日	★「新型コロナウイルス感染症疑似症の診療について」
令和2年2月初旬	★当院の体制等について国立感染症センター大曲先生へ相談 ICT/感染症科
令和2年2月12日	「新型コロナウイルス感染症患者等の入院病床の確保について（依頼）」 (厚生労働省 健感発0212第4号医政地発0212第1号)
令和2年2月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・内閣官房新型コロナウイルス感染症対策本部より「新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策」発出 ・「感染症指定医療機関における新型コロナウイルス感染症患者等の入院病床の確保について（依頼）」(厚生労働省 健感発0213第1号、医政地発0213第1号)
令和2年2月13日	★愛知県より新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ要請あり 日本人3人又は外国人2人のいずれかの受け入れ可能であると回答
令和2年2月14日	名古屋市で陽性患者第1号が発生
令和2年2月14日	★新型コロナウイルス感染症1症例目受け入れ (ダイヤモンドプリンセス号乗船の外国人1名)
令和2年2月15日	★2症例目患者受け入れ（名古屋市内第1号陽性者の家族症例）
令和2年2月18日	「新型コロナウイルス感染症患者等の入院病床の更なる確保について（依頼）」 (厚生労働省 健感発0218第1号医政地発0218第1号)
令和2年2月18日	★3症例目患者受け入れ
令和2年2月19日	★4症例目患者受け入れ 8W病棟へ入院
令和2年2月21日	「新型コロナウイルス感染症患者（無症状病原体保有者を含む）受け入れ協力依頼について（依頼）」(各救命救急センター長あて愛知県保健医療局長31医務第2650号、31健対第2624号)
令和2年2月22日	★感染症病床10床満床
令和2年2月25日	★1症例目患者（PCR検査2回陰性を確認した後）軽快退院され、自国より家族のお迎えがあり帰国の途へ
令和2年2月23日	★4症例目患者が急変し、ICU管理となる
令和2年2月24日	★4症例目患者気管内挿管管理となる。 今後の治療についてECMO-NETへ相談する
令和2年2月25日	内閣官房新型コロナウイルス感染症対策本部より「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」発出
令和2年2月28日	「新型コロナウイルス感染症患者（無症状病原体保有者を含む）受け入れ協力依頼について（依頼）」 (各関係病院長あて愛知県保健医療局長31医務第2673号、31健対第2659号)
令和2年2月28日	★ECMO-NETチーム来院され、4症例目患者へVV-ECMO導入 (プライミング実施しECMOスタンバイ)

2 東部医療センター

日付	主な出来事（★は当院の対応）
令和2年2月29日	★4症例目患者転院のため搬送（多摩総合医療センターへ）
令和2年3月2日	小・中・高等学校が臨時休校
令和2年3月10日	日本環境感染学会「医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応ガイド 第2版改訂版（Ver.2.1）」
令和2年3月	★重症度区分を作成するよう当院医師等より健康福祉局へ要請へ
令和2年3月	★COVID診療チーム発足
令和2年3月9日	「新型コロナウイルス感染症の患者（無症状病原体保有者を含む）受け入れの協力について（依頼）」（各関係病院長あて名古屋市健康福祉局長、名古屋市消防長31健保医第329号）
令和2年3月10日	名古屋市「新型コロナウイルス感染症の感染拡大を全市一丸となって防止するための条例」公布
令和2年3月26日	★「新型コロナウイルス感染症流行期における時間外救急診療について」 内科直の業務負担増加に伴う運用
令和2年3月29日	★全職員の出勤前検温の実施
令和2年3月29日	★8階西病棟看護師1名 PCR陽性 （新型コロナウイルス感染症患者の診療に携わる職員）
令和2年3月30日	★8階西病棟接触職員の一定期間自宅待機措置 院内診療体制の変更 <ul style="list-style-type: none"> • 8階西病棟へ応援 • 帰国者・接触者外来の停止 • 新型コロナウイルス感染症患者の新規入院受け入れの停止
令和2年3月31日	★8階西病棟非濃厚接触職員 PCR陰性確認したため業務復帰
令和2年4月1日	★SARS-Cov-2 抗体検査導入
令和2年4月4日	★8階西病棟陽性職員との濃厚接触職員 全員PCR陰性確認
令和2年4月5日	★8階西病棟職員業務復帰に伴い新型コロナウイルス感染症患者の新規受け入れ 疑似症患者の外来診療再開
令和2年4月7日	「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」閣議決定 国・緊急事態宣言 （区域：埼玉、千葉、東京、神奈川、大阪、兵庫及び福岡、～5/25）
令和2年4月8日	★各職種の学生実習受け入れ見合わせ
令和2年4月10日	愛知県・緊急事態宣言（～5/26）
令和2年4月10日	★「新型コロナウイルス感染対策に関する手術前確認文書」 手術2週間前からの検温表と入院前日の問診票の記載開始
令和2年4月10日	★COVID通信Vol.1～「COVID-19にについて」COVID対策班
令和2年4月13日	★「COCVID-19流行期におけるER CPA対応について 第1版」 救命救急センター・ICT

2 東部医療センター

日付	主な出来事（★は当院の対応）
令和2年4月13日	★「ERにおける新型コロナウイルス院内感染防止策」として患者様へ診察時や酸素投与時のマスク着用義務要請
令和2年4月13日	★COVID通信Vol.2～「8西病棟の様子について」COVID対策班
令和2年4月14日	★COVID通信Vol.3～「COVID-19の症状について」COVID対策班
令和2年4月15日	★新型コロナウイルス感染症患者受け入れ体制について 8西病棟看護体制の強化及び重症化リスクへの準備体制の整備（～6/14）
令和2年4月15日	★帰国者・接触者外来 救急外来外へ陰圧テント設置
令和2年4月15日	★COVID-19（疑い例含む）へのCT・MRI検査対応について
令和2年4月16日	国・緊急事態宣言の全国拡大（5/14で愛知は除外）
令和2年4月16日	★受診患者の増加に伴い（15～20人/日）診察医師体制強化 午前：内科系医師 午後：外科系医師
令和2年4月16日	★エアータオルの使用中止
令和2年4月16日	★「新型コロナウイルス感染症が疑われる方が来院されたときの対応」作成 病院の掲示板 外来再来機受付付近へ掲示 新患受付へ掲示 診察室周囲に掲示 外来用（地域連携用）作成 症状の申し出のあった患者は問診票を記載し、記載内容を各診察室の医師が確認 〈外来診療体制強化〉 疑似症例は救急外来陰圧個室へ案内 呼吸器内科97診で受け付け（変更） 事務担当者（6999）へ連絡 救急外来97診で診療担当者が診察
令和2年4月17日	★入院患者の外泊禁止へ
令和2年4月20日	★「1例目受け入れ患者から本日までの当院におけるCOVID-19の診療の現状について」病院ニュース掲載 47名入院受け入れ 平均年齢53.4歳（9～88歳） 男女比：男性：女性＝24：23 死亡者 4名 入院中 16名 退院 27名 人工呼吸器 4名 ・うちECMO 2名
令和2年4月20日	★COVID通信 Vol.4～ 「他疾患が疑われる場合の発熱対応について」COVID対策班
令和2年4月21日	★呼吸器検査の実施と対応について 「マウスピースのディスポーザブルフィルターの使用」
令和2年4月22日	★禁煙外来新規予約一時停止
令和2年4月22日	★COVID通信Vol.5～「COVID-19診療環境について」COVID対策班
令和2年4月24日	★「新型コロナウイルスの感染拡大防止」病院ニュース発行
令和2年4月24日	★新型コロナウイルス感染症対策本部立ち上げ
令和2年4月24日	★COVID通信～「COVID-19の診療の現状について」COVID対策班

2 東部医療センター

日付	主な出来事（★は当院の対応）
令和2年4月27日	★8階西病棟軽症・中等症・重症すべて受け入れへ変更
令和2年4月28日	★重症患者の入院受け入れ体制強化のためHCUの運用
令和2年4月28日	★「COVID-19に伴う麻酔科管理症例、術前検査簡素化のご報告」 麻酔・集中治療科
令和2年4月30日	★COVID-19感染症手術対応マニュアル ICT/手術室作成
令和2年5月1日	★「COVID-19流行期におけるER CPA対応について 第2版」 救命救急センター・ICT
令和2年5月1日	★「COVID-19流行期における時間外ER（発熱）対応医師用マニュアル第1版」 感染症科・救命救急センター
令和2年5月1日	★「COVID-19（疑い含む）関連患者の対応フロー」改訂
令和2年5月8日	★「COVID-19疑似症」の対応・管理等の混乱をきたす状況から全疑似症例を COVID対策班へコンサルト指示
令和2年5月13日	★摂食嚥下チーム「嚥下評価」外来患者の受け入れ見合わせ
令和2年5月14日	国・緊急事態宣言の愛知への適用終了
令和2年5月25日	国・緊急事態宣言が終了
令和2年5月26日	愛知県・緊急事態宣言が終了
令和2年5月28日	★COVID-19 抗原定量キットの導入 救急・緊急処置時の限定使用
令和2年5月28日	★発熱患者受け入れ再開
令和2年6月5日	★帰国者・接触者外来を担当される先生方へ～診療のポイント～
令和2年6月9日	★COVID通信Vol.6～「COVID-19の学び直し～」 COVID対策班
令和2年6月12日	★COVID通信Vol.7～「COVID-19の退院基準が変わったこと」 COVID対策班
令和2年6月17日	★COVID通信Vol.8～「COVID-19患者のCT画像」 COVID対策班
令和2年6月22日	★COVID通信Vol.9～「COVID-19の抗原検査について」 COVID対策班
令和2年6月22日	★救急病棟の病床制限解除
令和2年7月1日	★COVID-19抗原検査キットのオーダー制限解除
令和2年7月9日	★「一般病棟でのCOVID-19検体採取、検査室への移送について」 ICT・感染症科
令和2年7月13日	★入院患者さんの面会一部制限
令和2年7月29日	★「COVID-19流行期におけるER CPA対応について 第3版」 救命救急センター・ICT
令和2年7月29日	★「COVID-19流行期における時間外ER（発熱）対応医師用マニュアル第2版」 感染症科・救命救急センター

2 東部医療センター

日付	主な出来事 (★は当院の対応)
令和2年7月30日	★BCP フェーズ3へ
令和2年7月31日	市保健所長・フェーズ4「準備病床」を「即応病床」へ最大限切り替え要請
令和2年8月4日	★マスク自動販売機3台設置
令和2年8月5日	★COVID通信Vol.10～「COVID-19患者に関する病棟の工夫」(その1) COVID対策班
令和2年8月6日	愛知県・緊急事態宣言(～8/24)
令和2年8月12日	★COVID流行期におけるER CPA対応について(第4版)救命救急センター
令和2年8月12日	★COVID通信Vol.11～「COVID-19患者に関する病棟の工夫」(その2) COVID対策班
令和2年8月13日	★東部医療センター感染症発症時のBCP改訂
令和2年8月17日	★LAMP法導入
令和2年8月17日	★COVID対策班交代
令和2年8月20日	★COVID通信Vol.12～「COVID-19患者に関する病棟の工夫」(その3) COVID対策班
令和2年8月23日	★BCP フェーズ4へ
令和2年8月23日	★COVID通信～医療従事者のウイルス曝露時のリスク評価 (マスクあり・マスクなし) ICT作成
令和2年8月24日	愛知県・緊急事態宣言が終了
令和2年8月24日	★病院出入りする業者が新型コロナウイルス感染症と判明し「全職員へコロナに関する注意喚起」ニュース発行
令和2年8月24日	★COVID対策班交代
令和2年8月28日	★COVID通信Vol.13～「COVID-19患者に関する病棟の工夫」(最終回) COVID対策班
令和2年9月1日	★院内PCR法導入
令和2年9月3日	★職員新型コロナウイルス感染症陽性判明 11人の職員は濃厚接触者(9/3～9/16まで就業制限)内視鏡・心カテ中止 医師不足のため消化器内科診療制限 「全職員へ再びコロナに関する注意喚起」病院ニュース発行
令和2年9月7日	★外来患者へ新型コロナウイルス感染症に関するチェックシートの配布と記載 開始
令和2年9月8日	★COVID通信Vol.14～「COVID-19診療の手引き変更点について」 COVID対策班
令和2年9月17日	★当院における学生実習の受け入れの再開について
令和2年9月28日	★COVID対策班交代

2 東部医療センター

日付	主な出来事 (★は当院の対応)
令和2年10月1日	★BCP フェーズ3へ
令和2年10月5日	★COVID対策班交代
令和2年10月6日	★新型コロナウイルス感染症対策本部会議にて旧東5階病棟 「臨時病棟整備について」
令和2年10月8日	★「これまでの新型コロナウイルス感染症診療のまとめ」研修会 ICT
令和2年10月9日	★COVID通信 Vol.15～「今シーズンのインフルエンザの流行について」 COVID対策班
令和2年10月12日	★COVID対策班交代
令和2年10月19日	★COVID対策班交代「新型コロナウイルス感染症にかかる内科医師診療体制」 作成
令和2年10月26日	★COVID-19検体採取・搬送について改訂
令和2年10月30日	★陰圧テントたたむ
令和2年10月30日	★「これまでのCOVID-19診療のまとめについて」COVID対策班
令和2年11月2日	★コロナウイルス迅速検査（抗原定量）検査導入
令和2年11月11日	★愛知県感染症対策局長 患者の受け入れ要請2感対第1094号
令和2年11月20日	★「名古屋市内の新型コロナウイルス感染症重点医療機関における患者受け入れについて」32床受け入れ体制 愛知県感染症対策局長通知
令和2年11月20日	★BCP フェーズ4へ移行
令和2年12月1日	★8階西病棟26床へ増床
令和2年12月4日	★「外科系診療科にコロナ対応への協力依頼」麻酔・集中治療科より
令和2年12月8日	★無症状者は検査しない体制へ変更
令和2年12月15日	★陽性入院患者18名（挿管患者2名） ★集中治療センターへ救急センターより7人看護師応援配置
令和2年12月15日	★名古屋市立大学病院から救急科への医師応援体制開始
令和2年12月21日	「愛知県立愛知病院への医師の派遣について（依頼）」 (愛知県保健医療局長 2医計第695号)
令和2年12月28日	★「すべての職員の方々へ～年末年始の過ごし方～」 「年末年始に発熱した職員の対応について」ICT作成
令和3年1月1日	★職員10人の陽性判明を市政記者クラブに公表
令和3年1月2日	★職員5人の陽性判明を市政記者クラブに公表
令和3年1月3日	★職員4人の陽性判明を市政記者クラブに公表
令和3年1月3日	★3階西病棟職員クラスターによる病棟新規入院受け入れ制限
令和3年1月4日	★「循環器内科コロナ感染に係る対応」 14日まで電話診療へ変更 新規患者の入院停止

2 東部医療センター

日付	主な出来事（★は当院の対応）
令和3年1月5日	★病棟クラスターの経験から全職員向け「No More 院内感染！」
令和3年1月7日	国・緊急事態宣言（区域：埼玉、千葉、東京及び神奈川）
令和3年1月7日	★75診での手術前スクリーニング検査はしない ★陰圧テントで実施通達
令和3年1月12日	★陽性者18名（うち挿管患者4名） ★NEAR法PCR検査機器（SARSコロナウイルス核酸キット）2台購入ERに設置
令和3年1月13日	国・緊急事態宣言の区域変更 （栃木、岐阜、愛知、京都、大阪、兵庫及び福岡の7府県を追加）
令和3年1月13日	★職員1名の陽性判明を市政記者クラブに公表
令和3年1月14日	愛知県・緊急事態措置（～2/28）
令和3年1月15日	★「COVID-19患者蘇生ガイドライン」ICT・救命救急センター
令和3年1月19日	★面会制限の徹底強化「すべての患者さんの面会不可」へ
令和3年1月23日	★入院前スクリーニング唾液検査開始 ★患者は病棟内でレントゲンや心電図を実施 ★面会の見直し ★食事時の対応
令和3年1月25日	「医療従事者等への新型コロナウイルス感染症に係る予防接種における接種施設について（通知）」（愛知県保健医療局長 2感対第1398号）
令和3年1月末	★院内クラスター終息
令和3年2月8日	★「新型コロナウイルス感染症回復後の後遺症診察の実施について」開始
令和3年3月1日	国・緊急事態宣言の愛知への適用終了 愛知県・嚴重警戒措置（～3/21）
令和3年3月1日	★集中治療センターに救急センターより7人応援配置解除
令和3年3月8日	「非稼働病棟を有する医療機関への対応について（通知）」 （愛知県保健医療局長 2医計第931号）
令和3年3月8日	★発熱患者対応場所75診の移設（旧東病棟1階99診）
令和3年3月8日	★職員新型コロナワクチン開始（医師40名 看護師10名）
令和3年3月9日	「新型コロナウイルス感染症患者の受入体制の維持について（依頼）」 （愛知県知事 2感対第1687号）
令和3年3月11日	★発熱トリアージ外来99診マニュアル作成
令和3年3月21日	国・緊急事態宣言が終了
令和3年3月23日	★院内フェーズの段階変更（4段階→3段階）
令和3年3月24日	★「院内ぽっぽ保育所を利用児童コロナ感染」による保育所閉園4月6日まで
令和3年4月1日	国・まん延防止等重点措置（宮城、大阪及び兵庫） 旧東病棟5階に高次ウイルス感染症センターを設置

2 東部医療センター

日付	主な出来事（★は当院の対応）
令和3年4月2日	5北病棟（新型コロナウイルス感染症専用病床）運用のマニュアル作成 発熱者トリアージ外来（97診）及び5北病棟への入院調整対応の窓口設置 新型コロナウイルス感染症にかかわる内科医師診療体制の各時間帯における担当者整備（外来診療・入院指示・入院診療・バックアップ）
令和3年4月12日	「令和3年度「新型コロナウイルス感染症重点医療機関」及び「新型コロナウイルス感染症疑い患者受入協力医療機関」の指定に係る意向調査について（依頼）」 （愛知県感染症対策局長 3感対第1048号）
令和3年4月13日	★感染症BCP改訂 フェーズ4へ
令和3年4月16日	国・まん延防止等重点措置の区域変更 （埼玉、千葉、神奈川及び愛知を追加。10都府県に）
令和3年4月20日	愛知県・まん延防止等重点措置（～5/11）
令和3年4月23日	国・緊急事態宣言（区域：東京、京都、大阪及び兵庫）
令和3年4月30日	★「ゴールデンウィーク期間中に発熱した職員の対応」について ICT作成
令和3年5月12日	国・緊急事態宣言の区域変更（愛知及び福岡を追加） 愛知県・緊急事態措置（～6/20）
令和3年5月18日	★「COVID-19陽性患者の再検査のための受診について」ICT作成
令和3年6月13日	★「付き添いの方のCOVID-19検査について」ICT作成
令和3年6月21日	国・緊急事態宣言の区域変更 （北海道、東京、愛知、京都、大阪、兵庫及び福岡はまん延防止等重点措置に移行）
令和3年6月30日	★感染症BCP フェーズ3へ
令和3年7月7日	★摂食嚥下チーム「嚥下外来」再開へ
令和3年7月12日	国・まん延防止等重点措置の愛知県への適用解除 愛知県・厳重警戒措置（～8/11）
令和3年8月5日	国・まん延防止等重点措置の区域変更（愛知県への適用）
令和3年8月8日	愛知県・まん延防止等重点措置（～9/12）
令和3年8月18日	★感染症BCP フェーズ4へ
令和3年8月25日	国・緊急事態宣言の区域変更（愛知などを追加） 「新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ促進及び、医師が延期可能と判断した入院・手術の一時延期について（依頼）」（愛知県知事 3感対第1622号）
令和3年8月26日	★「COVID-19の検査について（再確認）発熱のない場合は、NEAR法は控えるように」ICT作成
令和3年9月2日	「新型コロナウイルス感染症患者受入病床の緊急確保について（要請）」 （愛知県知事 3感対1665号）
令和3年9月2日	★第1回 共に学ぶ会「新型コロナウイルス感染症ってどんな病気」 COVID対策班

2 東部医療センター

日付	主な出来事（★は当院の対応）
令和3年9月3日	「愛知県入院待機ステーションへの医療従事者の派遣について（依頼）」 （愛知県感染症対策局長 3感対第1669号）
令和3年9月3日	★「付き添いの方のCOVID-19検査について」改訂 ICT作成
令和3年9月6日	愛知県入院待機ステーション開設（～10/31）
令和3年9月13日	★ICU/CCU入室制限 9月24日8時45分まで
令和3年9月27日	★「新型コロナウイルス感染症の検査についてNEAR法VS抗原定量」ICT作成
令和3年9月28日	★感染症BCP フェーズ3へ
令和3年9月30日	国・緊急事態宣言が終了
令和3年10月1日	愛知県・厳重警戒措置（～10/17）
令和3年10月11日	★感染症BCP フェーズ2へ
令和3年10月15日	「新型コロナウイルス感染症患者受入病床に係る緊急確保の終了について（通知）」 （愛知県知事 3感対第1889号）
令和3年10月18日	愛知県・警戒領域（～1/20）
令和3年11月11日	「今夏の感染拡大を踏まえた新型コロナウイルス感染症患者等の病床確保について（依頼）」 （愛知県感染症対策局長 3感対第1993号）
令和3年11月26日	「病床確保料（空床確保）の取扱いの改正について（依頼）」 （愛知県感染対策局長 3感対号外）
令和3年12月1日	愛知県・フェーズ1（～1/27）
令和3年12月2日	★「新型コロナウイルス感染症 2年間のまとめ」ICT主催
令和3年12月21日	「新型コロナウイルス感染症患者に係る確保病床の更なる緊急確保と医療人材の派遣について（依頼）」 （3感対第2162号 愛知県感染対策局長）
令和3年12月28日	★「年末年始に発熱した職員対応について」ICT作成
令和4年1月4日	★「特例承認のCOVID-19治療薬の使用について」ICT作成
令和4年1月7日	「沖縄県への看護師の派遣について（依頼）」 （文部科学省高等教育局医学教育課長 事務連絡）
令和4年1月21日	愛知県・まん延防止等重点措置（～3/6）
令和4年1月24日	★ER処置室へ搬入される全患者への新型コロナウイルス感染症のスクリーニング検査開始
令和4年1月27日	★「市中のCOVID-19患者急増に伴う重要なお願い」ICT作成
令和4年1月28日	愛知県・フェーズ2（～2/13）
令和4年2月3日	★濃厚接触者の隔離解除基準の変更
令和4年2月7日	★感染症BCP フェーズ4へ
令和4年2月9日	★「コロナ診療逼迫時における各当直医の協力体制」作成

2 東部医療センター

日付	主な出来事 (★は当院の対応)
令和4年2月14日	愛知県・緊急フェーズI (～3/31)
令和4年4月1日	愛知県・フェーズ2 (～6/13) 愛知県HP・新型コロナウイルス感染症患者受け入れ医療機関名及び確保病床数公表
令和4年4月5日	★感染症BCP フェーズ3へ
令和4年5月12日	★「唾液でCOVID-19陽性となった患者の再検査・受診について」ICT作成
令和4年6月8日	★3西病棟 CCU・HCU患者クラスターに伴い入院制限
令和4年6月14日	愛知県・フェーズ1 (～7/14)
令和4年6月14日	★感染症BCP フェーズ2へ
令和4年6月16日	★3西病棟 CCU・HCU入院制限解除
令和4年6月17日	★「NEAR法偽陽性例多発について」注意喚起ICT作成
令和4年7月15日	愛知県・フェーズ2 (～10/11)
令和4年7月19日	愛知県・入院基準「原則、中等症Ⅱ以上」
令和4年7月19日	★「NEAR法試薬供給困難に伴い、鼻腔抗原定量への対応変更について」ICT作成
令和4年7月25日	★「濃厚接触者の隔離解除基準の変更について」ICT作成
令和4年7月25日	★感染症BCP フェーズ3へ
令和4年7月27日	★「NEAR法試薬の供給再開」ICT作成
令和4年7月29日	★感染症BCP フェーズ4へ
令和4年9月26日	新型コロナウイルス感染者の全数届出見直し (全国一律)
令和4年9月30日	★感染症BCP フェーズ3へ
令和4年10月7日	★感染症BCP フェーズ2へ
令和4年10月12日	愛知県・フェーズ1 (～11/20)
令和4年11月17日	★「COVID-19、今どうなっているの」～第8波の襲来?に備えて～ICT作成
令和4年11月18日	★COVID-19とインフルエンザ両方の検査 (定性) キット導入
令和4年11月21日	愛知県・フェーズ2 (～2/26)
令和4年11月21日	★感染症BCP フェーズ3へ
令和4年11月21日	★「2023年1月4日に入院・手術・内視鏡等検査が予定されている患者さんの検査について」ICT作成
令和4年12月6日	★「ER 新型コロナ診療について」ER・ICT作成
令和4年12月12日	★「COVID-19治療薬：ゾコーバ使用開始準備完了」ICT作成
令和4年12月12日	★感染症BCP フェーズ4へ
令和4年12月28日	★「COVID-19入院患者の隔離解除について」ICT作成

2 東部医療センター

日付	主な出来事（★は当院の対応）
令和4年12月28日	★「年末年始：COVID-19を疑う症状のある職員などの対応について」ICT作成
令和5年2月27日	愛知県・フェーズ1（～R5/5/8以降継続）
令和5年2月27日	★感染症BCP フェーズ2へ
令和5年4月4日	★「ER コロナ対応変更」ER・ICT作成
令和5年4月12日	★3西病棟クラスター
令和5年4月19日	★3西制限解除
令和5年5月8日	5類感染症へ感染法上の位置づけ変更
令和5年5月8日	★5類感染症へ変更に伴い、面会制限緩和等感染対策の変更

2 患者受け入れ

(1) 受け入れ実績

令和2年2月に新型コロナウイルス感染症陽性患者を受け入れて以降、発熱や肺炎の症状のある感染疑い患者についても受け入れを開始し、令和5年5月7日時点で陽性患者（入院）は1,623人を受け入れた。各年度の受け入れ患者数（入院患者数、重症患者数）は下記のとおり。

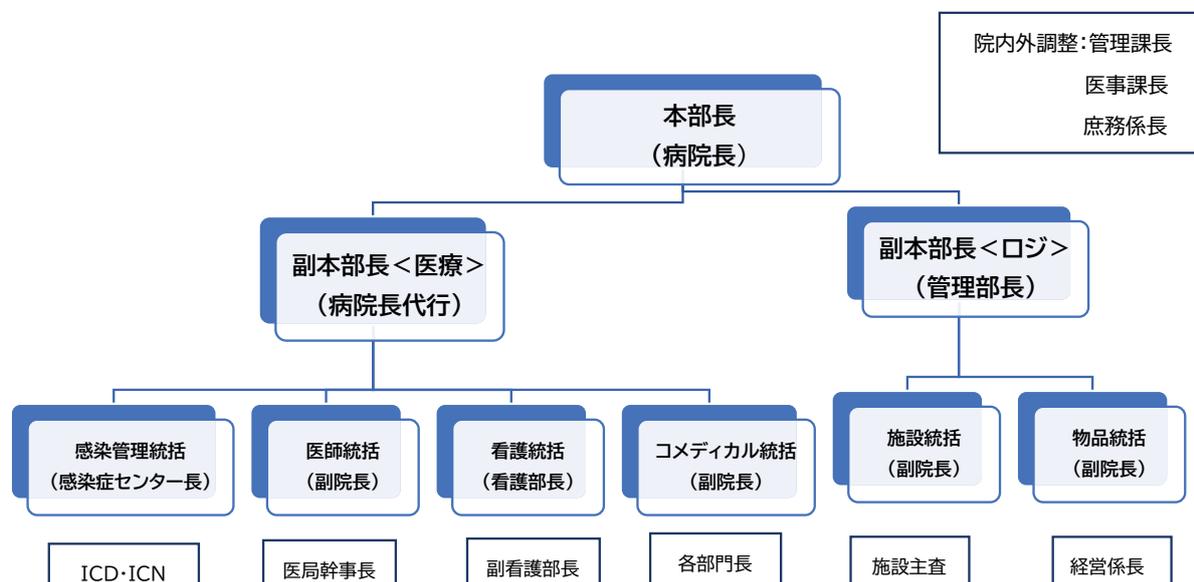
年度	月	入院患者数（実人数）	うち、重症者
令和元年度	2月	11	3
	3月	16	1
	合計	27	4
令和2年度	4月	26	1
	5月	2	0
	6月	9	0
	7月	29	1
	8月	45	1
	9月	29	0
	10月	23	1
	11月	37	6
	12月	53	5
	1月	48	6
	2月	24	5
	3月	14	1
	合計	339	27
令和3年度	4月	61	2
	5月	91	13
	6月	41	4
	7月	45	1
	8月	103	6

2 東部医療センター

年度	月	入院患者数 (実人数)	うち、重症者
令和3年度	9月	59	8
	10月	5	0
	11月	3	0
	12月	0	0
	1月	50	0
	2月	89	7
	3月	48	4
	合計	595	45
令和4年度	4月	31	0
	5月	35	0
	6月	19	1
	7月	80	6
	8月	138	10
	9月	57	3
	10月	17	1
	11月	70	3
	12月	100	8
	1月	72	8
	2月	19	1
	3月	7	1
	合計	645	42
	令和5年度 (5月は1日から7日まで)	4月	16
5月		1	0
合計		17	1

(2) 診療体制の構築

① 新型コロナウイルス感染症対策本部



2 東部医療センター

② 新型コロナウイルス感染症疑い患者の対応フロー

2020. 5. 1改定



2 東部医療センター

③ 検査体制

○PCR検査等の運用

疑似症例（ER搬入・外来受診時の有症状 緊急手術・緊急治療・緊急入院）	令和2年5月28日抗原定性検査 →陽性の場合PCR検査 令和2年11月2日鼻腔抗原定量検査へ移行 令和NEAR法へ移行→偽陽性の場合は抗原定量検査 令和4年11月18日以降 インフル/COVID抗原定性検査へ移行
予定入院・予定手術 予定内視鏡検査前スクリーニング	鼻腔抗原定量検査 令和3年1月23日より唾液抗原定量検査へ移行 →偽陽性の場合は鼻腔抗原定量検査

(3) 自治体等からの協力要請

- 新型コロナウイルス感染症重点医療機関に指定（愛知県より令和2年7月27日指定）
- 医療従事者等への新型コロナウイルス感染症に係る予防接種における基本型接種施設に指定（愛知県より令和3年1月25日指定）

(4) 施設・医療機器の整備

① 施設整備

発熱外来のための施設整備、入院のための施設整備、救急患者の受け入れのための施設整備、重症患者処置のための施設整備等、多くの新型コロナウイルス感染症患者（疑い含む。以下同じ）の受け入れのために、以下のように対応をした。

●令和2年度

〈簡易陰圧機の設置〉

新型コロナウイルス感染症患者の入室が想定される部屋に高性能フィルター付き簡易陰圧機を設置した。（参考）簡易陰圧機保有台数：21台

〈発熱トリアージ外来〉

発熱者が来院した場合において、新型コロナウイルス感染症の有無を確認するため、患者待合いと診察室からなるトリアージ専用の検査場所を設置した。場所は、他の患者と動線が分けられるよう、使用していなかった旧東病棟1階を使用した。

〈IVR-CT室、心血管撮影室、手術室の空調設備改修〉

新型コロナウイルス感染症患者に対して所定の処置が必要となった場合に備えて、IVR-CT室、心血管撮影室1室、手術室1室について、陰圧空調にて使用できるよう改修を行った。

〈その他〉

HCUスライディングウォール設置、各所ネットワークカメラ設置、救急処置室扉改修を行った。

2 東部医療センター

●令和3年度

〈救急外来処置室個室化〉

新型コロナウイルス感染症患者使用後の換気時間等による重症患者の受け入れ影響を少なくするため、従来の個室1室に加え、新たに処置室2室についてパーテーションと簡易陰圧装置を設置し個室化した。

〈感染症病棟の情報回線の増設〉

感染症病棟の情報回線を増設し、電カルテやモニター、カメラの連携強化を実施した。

〈発熱外来の空調工事〉

発熱外来の空調整備をした。

〈病棟での無線Wi-Fiスポットの設置〉

入院患者がオンラインで家族等と面会できるよう、病棟内に無線Wi-Fiスポットを設置した。

〈簡易陰圧機増設〉 21→23台

② 医療機器整備

国や自治体の補助金を活用して、新型コロナウイルス感染症患者に対して、より迅速に適した医療を提供できるように、遺伝子検査機器や人工呼吸器、経皮的心肺補助装置（ECMO）、全身麻酔器、超音波画像診断装置などの医療機器を調達した。

また、空気清浄機や加湿器などを病棟に増設したり、出入口にサーモカメラを設置するなど感染拡大を防ぐ為の環境整備も実施した。

更には、N95マスクのフィッティングテスト装置の設置や電動ファンのついた防護具の増設など、医療従事者を感染から守る為の整備や、感染症病棟に掃除用のロボットを設置し、看護師の負担を軽減する整備も実施した。

2 東部医療センター

主な医療機器等の整備

令和元年度	人工呼吸器 (10台)
	超音波画像診断装置 (3台)
	防護マスク (10台)
	経皮的心肺補助装置 (ECMO)
	透析装置 (2式)
	生体情報モニタ (ベッドサイドモニタ9台、セントラルモニタ1台)
	簡易陰圧装置フィルター (8台)
令和2年度	リアルタイムPCR装置
	等温遺伝子増幅装置
	全自動化学発光酵素免疫測定装置
	画像モニタ付回診用エックス線撮影装置
	回診用エックス線撮影装置
	生体情報モニタ (11台)
	血液ガス分析装置
	サーモカメラ (3台)
	車いす型アイソレーター (2台)
令和3年度	小型遺伝子検査機器IDNOW (2台)
	全自動核酸抽出装置
	送信機 (4台)
	輸液ポンプ (17台)
	ネーザルハイフロー用機器 (5台)
	プロンビュー保護ヘルメットシステム
	吸入麻酔薬気化器 (アナコンダ)
	内視鏡モニター
	全身麻酔、人工呼吸器 (2台)
	超音波画像診断装置 (2台)
	輸液ポンプ (14台)
	防護マスク (5台)
	排煙装置
	加温加湿器 (4台)
	陰圧室空気清浄機ACE-5000 (2台)
	マスクフィティングテスター
	ロボット掃除機
令和4年度	小型遺伝子検査機器IDNOW

2 東部医療センター

(5) 補助金

新型コロナウイルス感染症への対応にあたっては、病床の確保や施設整備、医療従事者への支援といった補助金などの措置を受けた。これらの補助金の使途については、(4)の改修等施設整備費や医療機器等備品費の他、感染症予防作業手当等の人件費、マスクやガウンなどの個人防護具、問診検温業務等の委託費として活用した。

【令和元年度】

区分	名 称	金額(千円)
県	新型インフルエンザ等患者入院医療機関等設備整備費補助金	34,640
市	新型コロナウイルス感染症患者等の入院病床確保等事業費補助金	1,716
市	一般会計補助金 建設改良に関する経費(コロナ対策備品)	46,698
市	一般会計補助金 感染症医療に要する経費(コロナ対策備品)	46,698
合 計		129,752

【令和2年度】

区分	名 称	金額(千円)
国	新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業補助金	76,887
国	新型コロナウイルス感染症疑い患者を受け入れる救急・周産期・小児医療機関体制確保事業補助金	24,000
国	インフルエンザ流行期における発熱外来診療体制確保支援補助金	12,571
国	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止・医療提供体制確保支援補助金	11,150
県	新型コロナウイルス感染症対策事業補助金	1,329,364
県	医療従事者応援金	261,634
県	新型インフルエンザ等患者入院医療機関等整備費補助金 新型コロナウイルス感染症患者等入院医療機関設備整備事業	5,806
県	(同上) 新型コロナウイルス感染症重点医療機関等設備整備事業	27,126
県	(同上) 帰国者・接触者外来等設備整備事業	4,489
県	救急・周産期・小児医療機関院内感染防止対策事業補助金	70,000
市	新型コロナウイルス感染症救急患者等受入医療機関支援金	1,015
市	新型コロナウイルス感染症救急医療体制運営費補助金	3,997
市	新型コロナウイルス感染症対策用リアルタイムPCR装置等設備整備費補助金	13,970
市	名古屋市地域医療体制緊急応援金	51,310
合 計		1,893,319

2 東部医療センター

【令和3年度】

区分	名 称	金額 (千円)
国	新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業補助金	128,453
国	新型コロナウイルス感染症拡大防止継続支援補助金	100
県	新型コロナウイルス感染症対策事業補助金	2,581,259
県	医療従事者応援金	233,842
県	新型インフルエンザ等患者入院医療機関等設備整備費補助金	19,326
県	新型コロナウイルス感染症診療・検査医療機関設備整備補助金	3,310
県	新型コロナウイルス感染症自宅療養者等への医療提供事業交付金	120
県	新型コロナウイルスワクチン接種支援事業交付金	5,008
市	新型コロナウイルス感染症救急患者等受入医療機関支援金	5,775
市	新型コロナウイルス感染症救急医療体制運営費補助金	13,182
市	新型コロナウイルス感染症自宅療養者への医療提供事業交付金	1,980
市	新型コロナウイルス感染症患者専用病床にかかる負担金	190,487
合 計		3,182,842

【令和4年度】

区分	名 称	金額 (千円)
県	新型コロナウイルス感染症対策事業補助金	2,163,168
県	医療従事者応援金	9,790
県	新型インフルエンザ等患者入院医療機関等設備整備費補助金	9,765
県	新型コロナウイルス感染症診療・検査医療機関設備整備補助金	3,870
県	新型コロナウイルスワクチン接種支援事業交付金	600
市	新型コロナウイルス感染症救急患者等受入医療機関支援金	15,995
市	新型コロナウイルス感染症救急医療体制運営費補助金	10,997
市	新型コロナウイルス感染症自宅療養者への医療提供事業交付金	1,140
市	新型コロナウイルス感染症患者専用病床にかかる負担金	240,792
合 計		2,456,117

2 東部医療センター

(6) 病院職員への手当支給

① 感染症予防作業手当の特例措置

新型コロナウイルス感染症に係る患者対応業務に従事した職員に対し、1日あたり4,000円又は3,000円の日額手当を支給した。なお、令和5年5月8日以降は新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」に移行したことに伴い、運用を廃止した。

区 分	金 額
患者に接触する業務	日額 4,000円
上記以外の感染の恐れが認められる業務	日額 3,000円

※ただし、従事した時間が3時間50分未満の場合はそれぞれ2分の1の金額

② 慰労金

国の新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業の一環として、医療機関等に勤務し患者と接する医療従事者や職員に対し、新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金交付事業が実施された。所属医療機関を通じて申請手続きを行うため、委託職員を含め東部医療センターにおける申請希望者（約1,300名）について令和2年12月に県に申請を行い、令和3年2月に申請者へ給付された。

(7) 新型コロナウイルス感染症対応に係る福利厚生

① PCR検査の実施

新型コロナウイルス感染症陽性患者の診療に携わった医療従事者の希望者に対し、遺伝子検査（LAMP法）を病院負担で実施することとした。

② 宿泊施設の提供

新型コロナウイルス感染症患者の対応を行う医療従事者等においては、職員自身の感染と同居家族への感染の不安を抱えながら勤務している状況であり、在宅時の家族への感染防止及び感染させる恐れ不安解消のため、勤務終了後に自宅以外で過ごすことを希望する職員に対し、ビジネスホテルの客室の提供を行った。

実施期間	令和3年2月1日～令和5年5月7日
宿泊施設	ホテルルートイン名古屋今池駅前 ホテルルートイン名古屋栄 ・シングルルーム（朝食提供なし） ・チェックイン15時、チェックアウト翌10時
利用日	週休日を含めた連続利用可
自己負担額	1泊 500円（飲食料、駐車料金、電話料は利用者負担）

2 東部医療センター

3 医療従事者の派遣

(1) 集団接種会場

第4章 「6 ワクチン接種について」に記載

(2) 宿泊療養施設

名古屋市からの依頼により、令和2年12月1日から令和3年2月28日まで、新型コロナウイルス感染症軽症者入所施設（東横INN名古屋名駅南）へ看護師1名を派遣し、派遣看護スタッフのとりまとめやオンライン医師への報告、緊急時の対応などを行った。

(3) 夜間休日救急当番制（名古屋市）

令和2年12月10日より、新型コロナウイルス感染症患者（ホテル・自宅待機者）の病態悪化による平日夜間・休日の救急搬送を二次及び三次救急の輪番病院が対応することとなり、当院は三次救急医療機関のため、原則二次救急医療機関では対応できない救急患者の受け入れを行った。また、令和3年2月8日からは重症バックアップ医療機関として、主に重症患者の対応を行った。

(4) 県外医療機関等への派遣

●沖縄県への看護師派遣

愛知県看護協会および文部科学省からの派遣要請に基づき、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により医療のひっ迫が深刻となっていた沖縄県へ看護師3名の派遣を行った。

① 愛知県看護協会からの要請に基づく派遣

【派遣期間】 令和4年1月16日～令和4年2月27日（14日間）

【派遣職員】 看護師2名

【業務内容】 宿泊療養施設での看護業務

② 文部科学省からの要請に基づく派遣

【派遣期間】 令和4年6月6日～令和4年6月18日（13日間）

【派遣職員】 看護師1名

【業務内容】 入院待機施設での中等症患者への対応

2 東部医療センター

4 その他病院運営

(1) 医療従事者の健康観察等

国を挙げて感染症対策を進めている中で、この地域の医療を担う医療従事者として感染リスクを低減させ、継続して医療を提供する責務があるという観点から、従事者の健康観察を令和2年2月より開始した。その後、国等の指針に基づき適宜変更を行いながら令和5年4月末まで継続した。

【職員の健康管理】（令和2年8月時点の運用）

下記の①～③について「個人用の健康観察表」を用いて各自の健康観察の実施・管理者への報告を行う。
※職員とは医療従事者だけでなく、事務職や委託業者等を含む病院従事者とする

① 平時の健康観察

職員は出勤前（就労前に体温測定を実施、健康観察表にある症状が認められた場合は管理者へ報告・相談する。自宅療養の判断の目安として、37.5℃以上又は平熱より高く、症状がある場合は、自宅で経過観察し症状改善後（目安として24時間経過）に出勤とする。各部門の業務内容や職員の体調により管理者が判断する。

② 適切な防護を行い新型コロナウイルス感染症患者の診療に従事した場合

14日間1日2回の体温測定を含めた健康観察を行いながら就労する。37.5℃以上の発熱、咳など症状が出現した際は、管理者へ報告し速やかに受診をする（業務を継続しない）。また、同期間は、サージカルマスクの着用、手指衛生を徹底する。

※適切な感染防護とは、診療時のサージカルマスク、手袋の着用（手指衛生の遵守）。エアロゾル発生手技ではN95マスク、ゴーグル、長袖ガウン、手袋の着用のことをいう

③ 濃厚接触者

診療・就労の停止をし、自宅で14日間、1日2回の体温測定を含めた健康観察を行う。

※濃厚接触者の定義（判断に迷う場合は、感染制御室へ連絡する）

- 感染者と1メートル以内でサージカルマスクの装着がなく15分程度の接触をしている
- エアロゾルを生じる処置時にN95マスク、手袋、ガウン、ゴーグル（フェイスシールド）の装着をしていない
- 患者の気道分泌物もしくは体液等の汚物物質に直接接触した可能性が高い
- 行政より濃厚接触者として特定された場合

④ 濃厚接触者の接触者に該当する場合

就労停止は必須ではないが、業務外においても関係者と濃厚接触を避けるよう留意する。濃厚接触者が有症状である場合は、そのリスクを勘案して就労制限を行うかを該当部署と感染制御室で検討する。

2 東部医療センター

⑤ 陽性者（医療従事者、事務職、委託業者）の復職基準

厚生労働省の退院基準（自宅待機基準）を満たした後、PCR検査で陰性を確認する。

※国の運用に見直しに伴い、令和4年9月14日以降は療養期間経過後の復職時の検査は原則不要とした。

(2) リ患者・濃厚接触者の行動歴調査・検査

院内での感染拡大を防ぎ、医療機能を維持するため、新型コロナウイルス感染症リ患者又は濃厚接触者となった職員がいた場合は、行動履歴の調査など迅速に対応を行ってきたため、院内での大規模なクラスター等による医療機能停止は起こっていない。

【リ患者又は濃厚接触者となった場合の連絡体制】

- ① 部門長等は、管理課、感染制御部へ報告する。
- ② 管理課、感染制御部を中心に関連する情報や検査結果等の情報を確認し、さらなる濃厚接触者の接触者確認や連絡・通知等を行い、感染拡大防止に努める。
- ③ 管理課は適宜総務課と情報共有を行い、場合により報道や関係省庁への報告を行う。

(3) 取材対応

令和元年度 新聞媒体1件、テレビ媒体1件

日付	メディア	項目
3/17	朝日新聞	コロナ入院のお礼 中国側、名古屋の病院にマスク3万枚
3/17	NHK	受け入れ可能な患者数など病院間で情報共有へ 名古屋

令和2年度 新聞媒体16件、テレビ媒体2件

日付	メディア	項目
4/15	日本経済新聞	期待の「アビガン」検証に貢献 治療薬探し、世界が奔走 新型コロナ・中部の衝撃
5/23	朝日新聞	PCR検査で陰性、でも症状などで感染の診断例 名古屋
6/1	朝日新聞	PCR陰性の感染者から広がった院内感染 精度に限界
6/12	中日新聞	〈コロナ感染症病棟〉(1) 889号室、最初の患者
6/13	中日新聞	〈コロナ感染症病棟〉(2) 急変わずか8時間
6/14	中日新聞	〈コロナ感染症病棟〉(3) 「自分が」使命と葛藤、6週間自宅に帰らず
6/16	中日新聞	〈コロナ感染症病棟〉(4) 生還 つながった命
6/17	中日新聞	〈コロナ感染症病棟〉(5) 患者も仲間も護る
6/18	中日新聞	〈コロナ感染症病棟〉(6) 覚悟 第2波へ備え
6/21	中日新聞	〈コロナ感染症病棟〉番外編 村上信五院長に聞く 「もしも」に無駄はない
7/20	朝日新聞	コロナ治療法「申し訳ないぐらい少ない」 急な重篤化も
7/21	朝日新聞	(時時刻刻) 一気に重篤、高齢者に集中 息苦しさ、乏しい自覚/効かぬ薬 コロナ、死者1千人超

2 東部医療センター

日付	メディア	項目
10/28	日本経済新聞	「コロナの冬」に備え 中部3県、診療所で検査迅速に
11/27	日本経済新聞	名古屋のコロナ病床逼迫、実質満床に 医師ら足りず
11/27	東海テレビ	老朽化で不使用の病棟を改修…名古屋・東部医療センターにコロナ感染者専用病床 今年度中に運用開始へ
12/8	中日新聞	コロナ解明、なお途上 武漢で初確認から1年
2/4	日本経済新聞	コロナ回復後に転院先なく、病床逼迫の一因に 愛知
3/31	東海テレビ	病院長「第4波が来た時の拠点病院に」新たな新型コロナ専用病床を公開 最大54床確保可能に 名古屋

令和3年度 新聞媒体19件、テレビ媒体9件

日付	メディア	項目
4/1	中日新聞	コロナ病床きょう開設 東部医療センター軽症から中等症の22床
4/1	朝日新聞	22の専用病床設置 名古屋東部医療センター
4/1	読売新聞	専用病床を開設 名古屋市
5/7	日本経済新聞	愛知県まん延防止延長要請 入院数制限目安に迫る
5/8	中日新聞	「病床限度近い」「重症化早い」名古屋の医療機関、第4波拡大で
5/26	日本経済新聞	愛知県コロナ入院1000人超「病床逼迫、医療現場厳しい」
7/28	朝日新聞	第5波 迫り来る医療逼迫 次々埋まる重傷者病床
8/4	朝日新聞	入院制限 大村知事「重大な転換」 東部医療センター感染症科 長谷川千尋部長
8/13	中日新聞	30代 肺炎で自宅療養なんて無理 名古屋コロナ中等症入院 東部医療センターで治療を受けた男性が取材に応じる
8/14	朝日新聞	感染8割 40代以下「第5波」の愛知 重症者も 東部医療センター感染症科 長谷川千尋部長
8/19	中日新聞	打たなくても大丈夫…後悔「副反応 不安だった」 65歳女性感染し東部医療センターに入院。 東部医療センター高次ウイルス感染症センター 村井俊介副センター長
8/25	NHK	新型コロナウイルスの感染状況 東部医療センター感染症科 長谷川千尋部長
8/25	NHK	新型コロナウイルスの感染状況 東部医療センター感染症科 長谷川千尋部長
9/5	中日新聞	数日で5人中4人陽性 名古屋の一家「こんな簡単になるとは」 女性は東部医療センターに入院
9/9	NHK	新型コロナウイルスの感染拡大による医療現場の逼迫度等
9/9	中京テレビ	コロナ妊婦の帝王切開の現場(手術室で防護服着用状況)と産後のインタビュー

2 東部医療センター

日付	メディア	項目
9/9	日本テレビ	コロナ妊婦の帝王切開の現場(手術室で防護服着用状況)と産後のインタビュー
9/12	日本テレビ	コロナ妊婦の帝王切開の現場(手術室で防護服着用状況)と産後のインタビュー
9/22	中部経済新聞	医療従事者へ応援伝える 名古屋城東LC 小中学生のメッセージ 東部医療センター 大手信之病院長に寄付金とともに贈呈
9/26	読売新聞	濃厚接触 妊婦の苦悩…あま市の主婦
10/8	中日新聞	補助金で収支が大幅改善 2020年度 東部医療センター
12/24	NHK	Xマス感じる音色響く 市立大附属東部医療センターで入院患者やスタッフ向けのコンサート開催
12/25	中日新聞	Xマス感じる音色響く 市立大附属東部医療センターで入院患者やスタッフ向けのコンサート開催 アンサンブルメンバーの医師 長谷川千尋先生がコメント
1/8	名古屋テレビ	「インフルエンザや風邪に近い印象」「肺炎の影がない」 オミクロン株患者を治療する医師に聞いた症状
1/23	中京テレビ	悪染苦闘「未知のウイルスと闘う者たち」
2/11	中日新聞	沖縄の医療危機 目の当たりに 東部医療センター看護師 松下美加さん
3/6	中日新聞	5～11歳向けのワクチン接種 愛知で開始 東部医療センター服部文子小児科部長
3/18	朝日新聞	まん延防止全面解除決定 2カ月半ぶり適用地域なし 次の波に備え対策を 東部医療センター高次ウイルス感染症センター 村上信五センター長、村井俊介副センター長

令和4年度 新聞媒体7件、テレビ媒体8件

日付	メディア	項目
4/5	中日新聞	大学こそは 膨らむ希望 東部医療センター感染症科 長谷川千尋部長
4/17	中日新聞	高齢者の体力低下 コロナ治っても入院長期化
7/19	テレビ愛知	生解説 第7波到来 基幹病院は今
7/21	名古屋テレビ	病床に空きも救急医療急増で“入口が渋滞”状態に 「救急搬送困難事案」は6月の2倍に
7/22	名古屋テレビ	病床に空きも救急医療急増で“入口が渋滞”状態に 「救急搬送困難事案」は6月の2倍に
7/28	中日新聞	第7波、医療は保てるか 療養最多129万人/重症化は第6波より減
7/31	毎日新聞	「医療崩壊は既に始まっている」愛知の病床使用率50%超え NEW
8/1	毎日新聞	「医療崩壊は既に始まっている」愛知の病床使用率50%超え
8/4	NHK	新型コロナの病床ひっ迫で新たな患者を断らざるを得ない状況に

2 東部医療センター

日付	メディア	項目
8/5	テレビ愛知	コロナ熱中症で救急救命現場は！？
8/8	NHK	救急現場ひっ迫 救急車受け入れ困難なケース増える
11/8	中日新聞	コロナ病床 55億円不当交付
12/7	日経新聞	公立病院、9割が黒字に
12/27	NHK 東海・まるっと	【特集】年末の医療ひっ迫 救急車受け入れ困難な事態に
12/27	NHK・ニュースウォッチ9	【特集】年末の医療ひっ迫 救急車受け入れ困難な事態に

(参考：5類移行後)

令和5年度 新聞媒体1件

日付	メディア	項目
5/8	読売新聞	新型コロナ「5類」診療 地域全体で 東部医療センター 大手信之病院長

(4) マスク等の物資の確保

マスクやガウン、グローブなど个人防护具について、令和2年度までは一部の商品でメーカーの出荷制限がかかり、希望の数量で供給を受けることが困難な状況もあった。事務においては日々使用数、備蓄数及び供給数を確認し、代替品を発注したり、国や県、市の供給品を受けながら不足のないように努めた。

その結果、令和3年3月31日時点では備蓄数が多くなったので、令和3年度に供給が安定してきたところで、国や県の備蓄を払出しながら、通常利用の物品で備蓄を整理した。備蓄品の使用期限を確認しながら、払出と備蓄を行い、状況に応じて適正な数量を確保している。令和3年度以降は特に医療物資等の不足はなかった。

〈在庫数の推移〉

日付	サージカルマスク	N95マスク	ガウン	ニトリルグローブ (S、M)
R2.3.31	96,800枚	60枚	0枚	75,500双
R3.3.31	243,200枚	14,000枚	21,000枚	519,000双
R4.3.31	56,200枚	18,400枚	15,200枚	578,500双
R5.3.31	70,000枚	21,000枚	20,000枚	470,000双
R5.6.30	60,000枚	11,000枚	18,000枚	400,000双

2 東部医療センター

(5) 来院者の体温測定

令和2年5月より、院内での感染伝播のリスクを低減させるため外来発熱者トリアージを開始した。

外来発熱者トリアージの開始に伴い、すべての出入口で職員・委託業者により来院者の検温、問診、マスクの着用及び手指消毒の依頼を行った。サーモグラフィを利用し、効率的な検温に努めた。

(6) 面会制限・入室制限

令和2年7月より、入院患者への面会を原則禁止とした。面会は、医師からの要請や許可があった場合のみとしたが、発熱や風邪症状のある方には面会をご遠慮いただくこととし、また、面会時には手洗い・手指衛生、マスク着用の徹底をお願いした。

(7) 実習生受け入れ制限

感染者の動向を踏まえ、令和2年4月8日から令和2年5月31日までの間、学生実習の受け入れ制限を行った。また、受け入れ再開にあたっては、職員と同様に毎日の検温を含めた健康観察等の感染対策を実施した。

(8) 寄附物品

令和2年2月の新型コロナウイルス感染症が拡がり始めた時期から、市中においてマスクなど個人防護具の不足が起こり始めた。その後、病院に協力をしたいと、企業や団体、個人よりマスクや防護衣、フェイスシールドなど多くの個人防護具の寄附をいただいた。寄附された個人防護具については診療現場において大切な物資として、活用した。

また、お菓子やお茶などの寄附もあり、医療従事者の力とさせていただいた。

その他、寄せ書き等メッセージでいただいたものは院内に掲示し、医療従事者の励ましとなった。

●令和2年3月～令和5年5月7日までの新型コロナウイルス感染症にかかる寄附物件数

区分	数量	単位	件数
マスク（一般）	111,024	枚	30
マスク（N95）	6,779	枚	17
防護衣	4,180	個	7
フェイスシールド	3,171	個	9
ゴーグル	170	個	1
その他	—	—	50
件数 計			104

※寄附件数については、複数の物品を一度に寄附いただいている場合も1件としているため、合計と一致しない。

2 東部医療センター

5 高次ウイルス感染症センター

第2波、第3波により全国的に新型コロナウイルス感染症患者が急増、病床がひっ迫し、病床確保が急務となっていた。名古屋市においてもさらなる病床確保策として令和元年12月まで病棟（感染症病床含む）として稼働していた東部医療センター旧東病棟の活用が急ぎ検討された。令和2年12月に補正予算が措置され、東部医療センター旧東病棟5階に新型コロナウイルス感染症専用病床（一般病床）22床が整備されることになった。



高次ウイルス感染症センターの病床

具体的な整備内容、運営体制の検討が進む中

で、令和3年度から東部・西部医療センターが市立大学医学部附属病院になることを見据え、人員体制は市立大学病院、西部医療センターをあわせた3病院の協力体制によることとされた。令和3年2月には感染症に係る病床設置についての愛知県と厚生労働省との協議が整った旨の通知がされ、整備工事も順調に進み、令和3年4月1日より高次ウイルス感染症センターとして運営を開始した。

令和3年4月1日から令和5年5月7日までの間、主に軽症患者を中心に566名の受け入れ、治療を行った。なお、5類移行後の令和5年5月8日以降も引き続き受け入れ・治療を行っている。

	R3年度	R4年度	R5年度	合計
実患者数	269	297	0	566
延患者数	2,888	3,499	0	6,387
稼働率 (%)	36.0%	43.6%	0.0%	
最多患者数/日	22	22	0	

※令和5年度は5月7日までの実績

東部医療センターの原稿の作成にあたっては、下記の論文を参考としています。

古林 千恵（2021）「新型コロナウイルス感染症患者の受け入れに伴う看護管理者としての実践と今後の課題—名古屋市立東部医療センターの取り組み」
『看護管理』31巻, 1号, pp. 58-64

コラム⑧

初期の患者受け入れについて

古林 千恵 東部医療センター看護部長：令和元～3年度

東部医療センター（以下「東部」という。）は、新病棟が令和元年8月に竣工、令和2年1月1日から新病棟での運用が始まりました。令和2年2月に横浜港停泊のダイヤモンドプリンセス号船内での感染拡大により、東部でも乗客の外国籍患者1人を名古屋市内で最初に受け入れました。その後は、全国で1日あたりの新規感染者の報告数が720人を記録した4月11日をピークとする第1波に突入し、東部においても職員の感染者や濃厚接触者が発生、モニタリングや応援体制を組むなど副看護部長を中心に調整業務を行いました。院内では、発熱外来を設置、救急患者を診察する為の動線の確認や感染症対応スタッフを分けるなどの工夫を行いました。令和2年5月頃は、亡くなる方が多く霊安室が不足し他に安置所を設置するなどの対応を行いました。看護職員のストレスや不安も高い状態が続いたため当直の師長を動員して感染症病棟の応援に入り負担軽減への対応を行いました。また、半年を目安に全看護職員に行ったアンケートをもとに配置異動を行いました。ワクチン接種については、東部のスタッフはもとより、地域の診療所等の医療スタッフへの接種も担いました。令和3年4月の大学病院化に合わせるように東部に高度ウイルス感染症センターの設置が予定され、その看護体制の構築に向け、今後大学病院群となる名古屋市立大学病院、西部医療センターの看護部長と調整を行い、オープンまでのロードマップを作成、監督官庁などの承認を頂き運用が始まりました。センターには各病院から優秀なスタッフが集まりスタッフ間の交流を通して新しい発見も多く、力になってくれました。

新型コロナウイルス感染症対応を通して、病棟間の協力体制の構築などで院内がより風通しが良くなり、より柔軟な組織となったことや、職員一人一人が冷静な判断のもと適切な感染症対応を行ったことで、この間、市内でも多くの患者を受け入れることができたと思います。

3 西部医療センター

1 新型コロナウイルス感染症対応のあゆみ

日付	主な出来事（●：当院の対応）
令和2年1月27日	●内科外来、その他ブロック受付にて発熱患者に問診を開始
令和2年1月28日	新型コロナウイルスによる感染症法「指定感染症」、検疫法「検疫感染症」に指定。政令施行は2月1日。
令和2年1月31日	●新型コロナウイルス感染症疑い患者の外来対応は、救急外来6診にて実施することとし、運用フロー作成
令和2年2月2日	●マスク、サージカルマスクのカード運用中止 ●総合受付、時間外受付にて新患への問診開始
令和2年2月3日	●全職員に対しマスク装着を指示
令和2年2月12日	「新型コロナウイルス感染症患者等の入院病床の確保について（依頼）」 (厚生労働省 健感発0212第4号医政地発0212第1号)
令和2年2月13日	内閣官房新型コロナウイルス感染症対策本部より「新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策」発出
令和2年2月13日	「感染症指定医療機関における新型コロナウイルス感染症患者等の入院病床の確保について（依頼）」(厚生労働省 健感発0213第1号、医政地発0213第1号)
令和2年2月14日	名古屋市で陽性患者第1号が発生
令和2年2月18日	「新型コロナウイルス感染症患者等の入院病床の更なる確保について（依頼）」 (厚生労働省 健感発0218第1号医政地発0218第1号) ●西部における最初の新型コロナウイルス感染疑似症患者の対応 ●集団指導等の中止（マタニティヨーガ、糖尿病教室等）
令和2年2月21日	「新型コロナウイルス感染症患者（無症状病原体保有者を含む）受け入れ協力依頼について（依頼）」(各救命救急センター長あて愛知県保健医療局長31医務第2650号、31健対第2624号)
令和2年2月25日	内閣官房新型コロナウイルス感染症対策本部より「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」発出
令和2年2月28日	「新型コロナウイルス感染症患者（無症状病原体保有者を含む）受け入れ協力依頼について（依頼）」 (各関係病院長あて愛知県保健医療局長31医務第2673号、31健対第2659号) ●全職員（委託、立ち入り業者含む）に出勤前に体温測定義務づけ
令和2年3月2日	小・中・高等学校が臨時休校
令和2年3月3日	●面会、外出泊、デイルーム使用禁止を決定 ●新型コロナウイルス感染を疑う入院患者は3階南病棟で受け入れることを決定 ●肺炎外来開設（救急外来5診）
令和2年3月9日	「新型コロナウイルス感染症の患者（無症状病原体保有者を含む）受け入れの協力について（依頼）」 (各関係病院長あて名古屋市健康福祉局長、名古屋市消防長31健保医第329号)

3 西部医療センター

日付	主な出来事（●：当院の対応）
令和2年3月10日	名古屋市「新型コロナウイルス感染症の感染拡大を全市一丸となって防止するための条例」公布
令和2年3月27日	●平日9時～17時まで時間外出入口を封鎖
令和2年4月2日	●救急車転回スペースに肺炎外来待合としてエアーテント設置（～8/20）
令和2年4月3日	●西部医療センターにおける最初の新型コロナウイルス感染症陽性者の対応（外来のみ）
令和2年4月7日	「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」閣議決定 国・緊急事態宣言 （区域：埼玉、千葉、東京、神奈川、大阪、兵庫及び福岡、～5/25）
令和2年4月10日	愛知県・緊急事態宣言（～5/26） ●手洗いにおけるエアドライヤーの使用を停止
令和2年4月13日	●一般出入口（北側、東側）における問診開始（～5/27）
令和2年4月16日	国・緊急事態宣言の全国拡大（5/14で愛知は除外）
令和2年4月22日	●立体駐車場、ティンクルなごやかから2階渡り廊下への出入口を閉鎖
令和2年4月23日	●売店、カフェを利用する目的のみでの入館を禁止
令和2年5月14日	国・緊急事態宣言の愛知への適用終了
令和2年5月25日	国・緊急事態宣言が終了
令和2年5月26日	愛知県・緊急事態宣言が終了
令和2年7月27日	●令和2年度新型コロナウイルス感染症疑い患者受け入れ医療機関に指定（指定期間：6/1～3/31、指定病床数：5床） 市保健所長・フェーズ4「準備病床」を「即応病床」へ最大限切り替え要請
令和2年8月6日	愛知県・緊急事態宣言（～8/24）
令和2年8月21日	●発熱外来プレハブ設置工事（～8/31）
令和2年8月24日	愛知県・緊急事態宣言が終了
令和2年9月1日	●発熱外来プレハブ運用開始
令和2年10月9日	●4階東病棟の新型コロナウイルス感染症専用病棟運用開始
令和2年11月13日	●外部委託業者での検査受託開始
令和2年12月1日	●院内PCR、抗原（定性）検査開始
令和2年12月10日	●（市）新型コロナウイルス感染症夜間休日輪番制対応運用開始（二次医療機関）
令和2年12月21日	「愛知県立愛知病院への医師の派遣について（依頼）」 （愛知県保健医療局長 2医計第695号）
令和2年12月23日	●サーモグラフィー設置
令和3年1月7日	国・緊急事態宣言（区域：埼玉、千葉、東京及び神奈川）

3 西部医療センター

日付	主な出来事（●：当院の対応）
令和3年1月13日	国・緊急事態宣言の区域変更 (栃木、岐阜、愛知、京都、大阪、兵庫及び福岡の7府県を追加)
令和3年1月14日	愛知県・緊急事態措置（～2/28）
令和3年1月25日	「医療従事者等への新型コロナウイルス感染症に係る予防接種における接種施設について（通知）」（愛知県保健医療局長 2感対第1398号）
令和3年2月9日	●令和2年度新型コロナウイルス感染症重点医療機関に指定 (指定期間：R2/11/18～R3/3/31、指定病床数：8床)
令和3年3月1日	国・緊急事態宣言の愛知への適用終了 愛知県・厳重警戒措置（～3/21）
令和3年3月8日	「非稼働病棟を有する医療機関への対応について（通知）」 (愛知県保健医療局長 2医計第931号)
令和3年3月9日	「新型コロナウイルス感染症患者の受入体制の維持について（依頼）」 (愛知県知事 2感対第1687号)
令和3年3月16日	●医療従事者（西部職員）向け新型コロナワクチン接種（1・2回目～6/20）
令和3年3月21日	国・緊急事態宣言が終了
令和3年4月1日	国・まん延防止等重点措置（宮城、大阪及び兵庫） 東部医療センター・高次ウイルス感染症センター設置 ●高次ウイルス感染症センターに看護師を派遣 ●名古屋市病院局の病院から名古屋市立大学医学部附属病院への移管
令和3年4月12日	「令和3年度「新型コロナウイルス感染症重点医療機関」及び「新型コロナウイルス感染症疑い患者受入協力医療機関」の指定に係る意向調査について（依頼）」 (愛知県感染症対策局長 3感対第1048号)
令和3年4月16日	国・まん延防止等重点措置の区域変更 (埼玉、千葉、神奈川及び愛知を追加。10都府県に)
令和3年4月20日	愛知県・まん延防止等重点措置（～5/11）
令和3年4月23日	国・緊急事態宣言（区域：東京、京都、大阪及び兵庫）
令和3年5月1日	●医療従事者（院外）向け新型コロナワクチン接種（1・2回目～6/20）
令和3年5月7日	●令和3年度新型コロナウイルス感染症重点医療機関に指定 (指定期間：4/1～4/22、指定病床数：8床) (指定期間：4/23～9/30、即応病床数：8床 最大確保病床数：9床)
令和3年5月12日	国・緊急事態宣言の区域変更（愛知及び福岡を追加） 愛知県・緊急事態措置（～6/20）
令和3年6月8日	●西部医療センター受診患者を対象とした新型コロナワクチン個別接種の開始 (～8/25)
令和3年6月21日	国・緊急事態宣言の区域変更 (北海道、東京、愛知、京都、大阪、兵庫及び福岡はまん延防止等重点措置に移行)

3 西部医療センター

日付	主な出来事（●：当院の対応）
令和3年7月12日	国・まん延防止等重点措置の愛知県への適用解除 愛知県・嚴重警戒措置（～8/11）
令和3年8月5日	国・まん延防止等重点措置の区域変更（愛知県への適用）
令和3年8月8日	愛知県・まん延防止等重点措置（～9/12）
令和3年8月25日	国・緊急事態宣言の区域変更（愛知などを追加） 「新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ促進及び、医師が延期可能と判断した入院・手術の一時延期について（依頼）」（愛知県知事 3感対第1622号）
令和3年9月1日	●輪番制による新型コロナウイルスに感染した妊産婦の受け入れ体制の運用開始
令和3年9月2日	「新型コロナウイルス感染症患者受入病床の緊急確保について（要請）」 （愛知県知事 3感対1665号）
令和3年9月3日	「愛知県入院待機ステーションへの医療従事者の派遣について（依頼）」 （愛知県感染症対策局長 3感対第1669号）
令和3年9月6日	愛知県入院待機ステーション開設（～10/31） ●西部医療センターを受診している妊婦及びその夫を対象とした新型コロナワクチン個別接種の開始（～11/17）
令和3年9月10日	●新型コロナウイルス感染症受入病床の緊急確保に係る重点医療機関等の指定 （緊急確保病床数 1床）（指定期間：9/1～9/16） （緊急確保病床数 3床）（指定期間：9/17～10/17）
令和3年9月30日	国・緊急事態宣言が終了
令和3年10月1日	愛知県・嚴重警戒措置（～10/17）
令和3年10月15日	「新型コロナウイルス感染症患者受入病床に係る緊急確保の終了について（通知）」（愛知県知事 3感対第1889号） ●新型コロナウイルス感染症受入病床の緊急確保に係る重点医療機関等の指定の変更 （通常の指定内容へ回帰し最大確保病床数9床 重点医療機関として指定） （解除年月日 令和3年10月17日）
令和3年10月18日	愛知県・警戒領域（～1/20）
令和3年11月11日	「今夏の感染拡大を踏まえた新型コロナウイルス感染症患者等の病床確保について（依頼）」（愛知県感染症対策局長 3感対第1993号）
令和3年11月26日	「病床確保料（空床確保）の取扱いの改正について（依頼）」 （愛知県感染対策局長 3感対号外）
令和3年11月30日	●新型コロナウイルス感染症に係るフェーズごとの重点医療機関等の指定 （フェーズ1 確保病床9床、フェーズ2 確保病床12床 緊急フェーズⅠ 確保病床12床）
令和3年12月1日	愛知県・フェーズ1（～1/27）

3 西部医療センター

日付	主な出来事（●：当院の対応）
令和3年12月21日	「新型コロナウイルス感染症患者に係る確保病床の更なる緊急確保と医療人材の派遣について（依頼）」（3感対第2162号 愛知県感染対策局長）
令和4年1月7日	「沖縄県への看護師の派遣について（依頼）」 （文部科学省高等教育局医学教育課長 事務連絡） ●職員向け新型コロナワクチン接種（3回目）開始（～3/11）
令和4年1月8日	●看護師1名を沖縄県に派遣（～1/31）
令和4年1月21日	愛知県・まん延防止等重点措置（～3/6）
令和4年1月28日	愛知県・フェーズ2（～2/13）
令和4年2月14日	愛知県・緊急フェーズⅠ（～3/31）
令和4年4月1日	愛知県・フェーズ2（～6/13） 愛知県HP・新型コロナウイルス感染症患者受け入れ医療機関名及び確保病床数公表 ●救急外来において陰圧対応が可能な処置室（2室）の運用開始
令和4年6月14日	愛知県・フェーズ1（～7/14）
令和4年7月15日	愛知県・フェーズ2（～10/11）
令和4年7月19日	愛知県・入院基準「原則、中等症Ⅱ以上」
令和4年8月17日	●職員向け新型コロナワクチン接種（4回目）開始（～9/29）
令和4年8月31日	●勤務時間中に具合が悪くなった職員に対し自己検査キットによる初期判定を開始
令和4年9月26日	新型コロナウイルス感染症患者の全数届出見直し（全国一律）
令和4年10月12日	愛知県・フェーズ1（～11/20）
令和4年11月21日	愛知県・フェーズ2（～R5/2/26）
令和4年12月27日	●年末年始（12/29～1/3）の勤務予定者を対象に自己検査キットを配付
令和5年2月27日	愛知県・フェーズ1（～5/8）
令和5年3月31日	●東部医療センター高次ウイルス感染症センターへの看護師派遣終了
令和5年4月3日	●4階東病棟の新型コロナウイルス感染症専用病棟運用を終了し、小児病棟に戻す。新型コロナウイルス感染症受入病床は4階東病棟に2床のみ残し、3階南重症病棟に5床、HCUに2床の計9床を確保病床とする
令和5年4月21日	●新型コロナウイルス感染症受入病床の緊急確保に係る重点医療機関等の指定（指定期間：4/3～） （フェーズ1 確保病床9床、フェーズ2 確保病床9床 緊急フェーズⅠ 確保病床9床）
令和5年5月8日	5類感染症へ感染法上の位置づけ変更

3 西部医療センター

2 患者受け入れ

(1) 受け入れ体制の変遷と実績

西部医療センターでは、がん、妊産婦、小児の医療を中心としていることから新型コロナウイルス感染症の流行初期段階の時点では新型コロナウイルス感染症に対する診療受け入れを積極的に行うのではなく、従来の診療体制を維持することで地域医療を守る、ということを経営方針として対応してきた。

しかし感染者数の拡大に伴い発熱等感染を疑う来院患者が増えてきたことから、発熱患者に対する受け入れ態勢を整え、新型コロナウイルス感染症患者に対応してきた。

① 院内の検討体制

流行初期より、病院長をはじめ、感染対策室長、看護部長、管理部長、管理課長、感染対策室職員等による打ち合わせを頻回に開催した。

会議体や組織体としては整えず、必要に応じ必要なメンバーを招集して検討した。院内全体での検討や周知等が必要な場合は、既存の幹部会や運営協議会で検討し対応を行った。

② 入院患者の対応

新型コロナウイルス感染症流行当初においては陽性患者の入院受け入れを積極的に行うことはせず、必要により入院が必要な場合は、従前より救急患者の受け入れを行っている3階南病棟で対応することとした。

令和2年8月4日に最初の入院患者の受け入れを行った。

流行の拡大に伴い当院としても専用の入院病床の設置が求められる中で、陰圧室があること、これまでの稼働状況が他病棟と比べて低いこと等から、4階病棟を新型コロナウイルス感染症患者専用病床とし、従来の4階病棟で受け入れていた小児患者は5階西病棟に移し成人患者との混合病棟とすることとし、必要な工事を行った上で令和2年10月より専用病床としての運用を開始した。

4階病棟においては、感染拡大状況や県が示すフェーズに合わせて受け入れ可能病床数を調整した。

令和5年1月～3月にかけて、新型コロナウイルス感染症の5類への移行に向けた対応として、4階病棟を元の小児病棟に戻し、専用病棟はなくして受入病床の配置のみとする検討を行った。検討の結果、受入病床の配置は3階南重症病棟に5床、HCUに2床（主に院内発生患者や重篤な患者の一時的な対応に利用）、4階東病棟に2床（主に小児の患者対応に利用）とし、3月末に転換を行った。

新型コロナウイルス感染症対応病床における入院患者数

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
新規入院患者数	57	222	267	12
延べ入院患者数	898	2,010	2,186	73

※令和2年度は8月以降。

※令和5年度は5月7日まで。

3 西部医療センター

③ 外来患者の対応

外来患者については、令和2年1月27日より内科外来及び各科ブロック受付にて発熱等の問診を開始したことを皮切りに、新型コロナウイルス感染を疑う患者に対する運用を行った。

新型コロナウイルス感染を疑う患者への対応として、当初は救急外来で対応していたがその後専用の外来（肺炎外来、その後発熱外来へ変更）を設けて対応した。

(2) 診療体制の構築

① 外来における対応

流行初期より、新型コロナウイルス感染症患者と他の患者との接触を避けるため、感染が疑われる患者については院内に入らないよう案内をした。

令和3年4月中旬～5月下旬にかけて、入口での検温・手指消毒の徹底を促すために職員が交替で立った。令和3年6月以降は同業務について業務委託し、委託職員により検温等を促した。

また、発熱等新型コロナウイルス感染症を疑う患者に対しては入口前に設置したインターホンを利用して医事課職員にその旨を伝え、対応した医事課職員が聞き取り等を行った上で医師と相談し、指定された診察場所へ誘導するという対応を行うこととした。

外来待合において、密を避けるという観点から待合椅子について隣り合わせで着席しないよう、座面にソーシャルディスタンスの案内を一つおきに貼付した。

外来診察案内表示に、発熱等の症状がある場合にはスタッフに声をかけるよう表示することで注意喚起を行うとともに、手洗いやマスク着用など感染拡大防止対策についての案内表示を行った。

② 救急外来

新型コロナウイルス感染症を疑う患者の診療については、救急外来のうち開院当初から感染症疑いの患者を対応するために配置された診察室（6診）において対応していた。

患者の増加に伴い、平日時間内においては救急対応として配置している医師、看護師だけでは対応が困難となったことから発熱外来担当医師、看護師を配置し発熱患者の対応を専門に行う体制とした。

発熱外来の体制については（5）に記載。

令和2年4月20日より、発熱の救急搬送患者を従前の救急入口から受け入れるため、発熱以外の救急搬送患者の受け入れについては時間外出入口から救急処置室へ搬送するルートに変更した。

③ 新型コロナウイルス感染症夜間休日救急当番制の運用（令和2年12月～令和5年5月8日）

新型コロナウイルス感染者の拡大により、陽性者もしくは感染疑いであることを理由に特に夜間・休日の救急患者の受け入れ先が見つからないという事例が増えてきたことから、救急車の受け入れを輪番で行うこととなった。当院は二次医療機関として軽症者も含めた受け入れと入院要非の判断、及び自院での入院受け入れ困難の場合に他院への転院搬送の調整を行った。

3 西部医療センター

○新型コロナウイルス感染症夜間休日当番制の実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和2年度	当番回数 (回)									4	3	3	4	14
	依頼件数 (件)									4	3	3	2	12
	うち受け入れ件数									4	3	3	2	12
	うち入院件数									4	1	1	2	8
令和3年度	当番回数 (回)	3	5	5	3	5	5	5	4	3	3	4	4	49
	依頼件数 (件)	3	6	5	1	8	13	3	8	4	6	6	4	67
	うち受け入れ件数	3	6	5	1	7	13	3	8	4	6	6	4	66
	うち入院件数	1	4	4	0	3	5	0	2	0	2	3	0	24
令和4年度	当番回数 (回)	4	4	3	4	4	3	4	3	4	4	3	4	44
	依頼件数 (件)	7	4	5	15	19	13	3	9	3	6	2	0	86
	うち受け入れ件数	7	4	5	15	19	13	3	9	3	6	2	0	86
	うち入院件数	1	1	2	5	5	3	0	1	0	2	0	0	20
令和5年度	当番回数 (回)	4	0											4
	依頼件数 (件)	0	0											0
	うち受け入れ件数	0	0											0
	うち入院件数	0	0											0

(注) 令和5年5月8日の当番制終了時点

④ 妊婦受け入れ当番制の運用 (令和3年9月～)

令和3年8月17日に千葉県で自宅療養中の新型コロナウイルス感染妊婦に係る新生児の死亡事例が発生した。これを踏まえ、令和3年8月30日に愛知県産婦人科医会主催で「第3回新型コロナ感染症に対応した妊産婦受け入れ施設の態勢を確認する会議」が開催され、周産期医療体制の検討・確認が行われた。

その結果、当院を含めた6病院の輪番制により、新型コロナウイルスに感染した妊産婦専用の病床を確保することとなった。

同会議を受けた愛知県からの要請に基づき、令和3年9月1日より輪番日の17時には妊婦受け入れ用として1床確保することとした (輪番は当番日の17時から翌日の17時まで)。

【輪番参加病院】

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター
愛知県厚生農業協同組合連合会海南病院	大同病院
一宮市立市民病院	愛知県厚生農業協同組合連合会江南厚生病院

3 西部医療センター

⑤ 発熱外来（肺炎外来）

新型コロナウイルス感染症患者の拡大により、従前の救急外来体制では対応が困難となったため発熱外来の体制を整えた。

令和2年3月に、肺炎外来として救急外来5診で対応を開始した。その後、令和3年2月より発熱外来として対応を行った。肺炎外来においては呼吸器内科医師による対応であったが、発熱外来は内科医師全体の当番制により平日日勤帯において救急外来当番とは別に配置を行った。

また職員のうち、濃厚接触者や、感染を疑う者に対し就業前に検査を必要とする場合には、当該職員を発熱外来の入口に来るよう指示し、その場で検体を採取して陰性確認ができるまで院内に入れないよう対応を行った。

⑥ 検査の実施体制

新型コロナウイルス感染の検査については、流行初期においては名古屋市衛生研究所においてのみ検査が可能であったが、その後院内での検査実施体制を整えることで、迅速に結果を判明しその後の診療に反映できるようになった。

PCR・抗原検査実施数と陽性数（外注検査を含む）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
PCR・抗原検査数	34	1,591	4,159	5,335	450
うち陽性数	0	137	426	1,193	26
陽性判明率（%）	0	8.6	10.2	22.4	5.8

※令和5年度は5月7日まで。

(3) 自治体等からの協力要請

自治体より診療体制の確保のための協力要請があり、要請に応えることで以下の指定を受けた。

- 新型コロナウイルス感染症疑い患者受入医療機関に指定（愛知県より令和2年7月27日指定）
- 新型コロナウイルス感染症重点医療機関に指定（愛知県より令和3年2月9日指定）
- 医療従事者等への新型コロナウイルス感染症に係る予防接種における基本型接種施設に指定（愛知県より令和3年1月25日指定）

3 西部医療センター

(4) 施設・医療機器整備

患者受け入れ体制を整えるため、施設や医療機器について、必要な整備を行った。

① 医療機器の整備

主に新型コロナウイルス感染症関係の補助金により整備したものについて、以下に記載する。

○令和2年度

機器名称	台数
人工呼吸器	1
陰圧装置（4階病棟整備用）	1
救急カート	1
胎児超音波心音計	1
点滴処置車	1
汎用超音波診断装置	1
心電計	1
ベッドサイドモニタ	1
空気清浄装置	1
ポータブル用デジタルラジオグラフィシステム	1
移動型X線撮影装置	1
検温アラートシステム	1
喉頭鏡	1
車椅子型アイソレータ	1
全自動遺伝子解析装置	1
陰圧装置（陣痛分娩室用）	1
陰圧装置（4階病棟追加整備用）	1
陰圧装置（重症患者対応用）	1
全自動遺伝子解析装置	1
陰圧装置	2
陰圧装置（増床用）	2
除細動器	1
陰圧装置（小児患者病床用）	3
心電計	1
救急カート	1
全自動遺伝子解析装置	1
自動免疫測定装置	1

3 西部医療センター

○令和3年度

機器名称	台数
陰圧装置	4
人工呼吸器	1
ベッドサイドモニター	1
多用途透析用監視装置	1
医用テレメーター	2
超音波画像診断装置 ViVid E95	1
超音波画像診断装置 LOGIQ E10s	1
空気/酸素ブレンダーセット	2
加温加湿器搭載型フロージェネレーター	1
医用テレメーター	2
超音波画像診断装置 ViVid E95	1
超音波画像診断装置 LOGIQ E10s	1
超音波画像診断装置 Sonosite P	1
心臓マッサージシステム LUCAS3	1
ベッドサイドモニター	2

② 病棟の整備

新型コロナウイルス感染症陽性者の受け入れを行う病棟について、陰圧装置の設置のために必要な工事（穴あけ等）を行った。

また、4階東病棟を受け入れ病棟とするにあたり、ゾーニングのために病棟廊下にアクリルカーテンを設置する対応を行った。

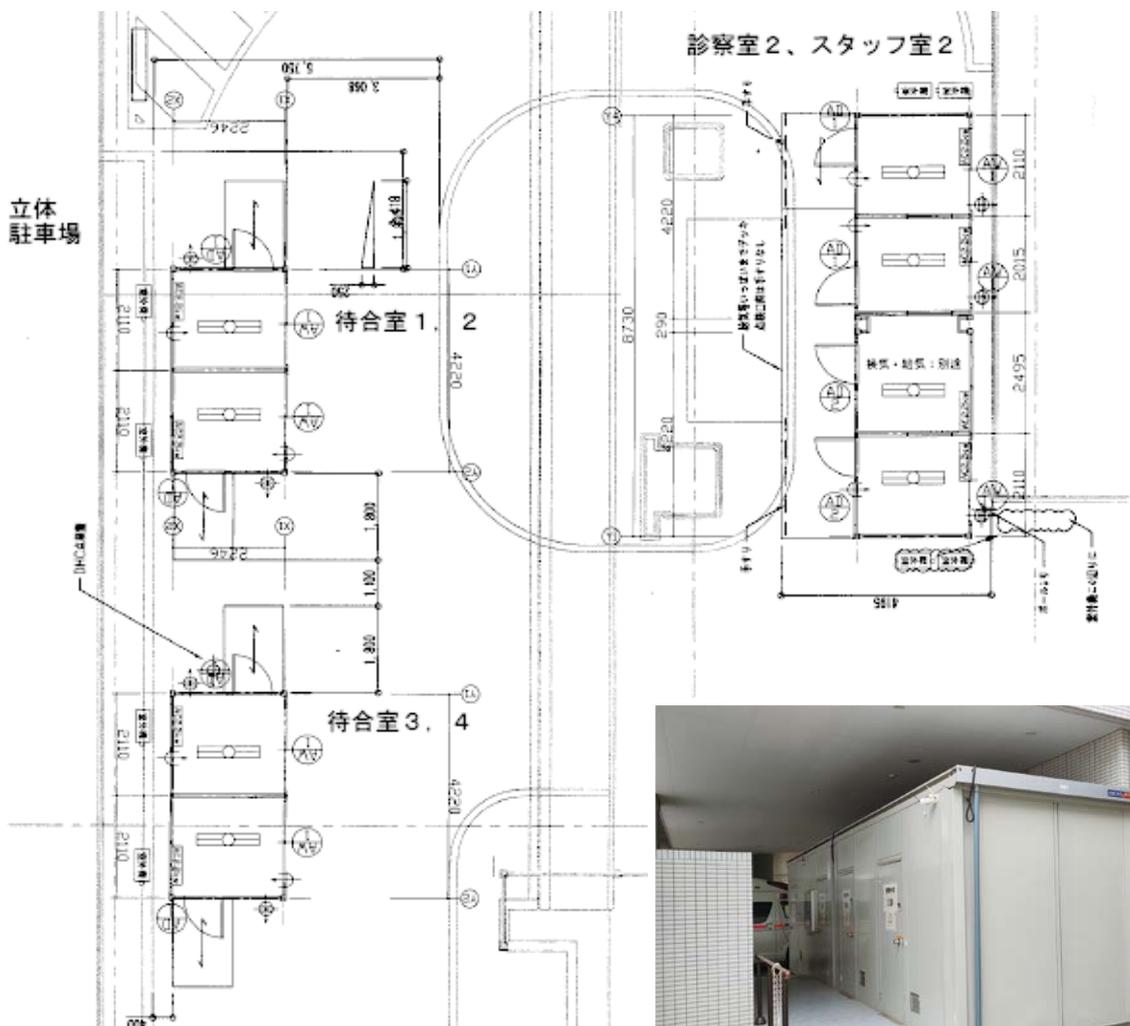
③ 発熱外来の整備

当初は発熱等により新型コロナウイルス感染を疑う患者の待機場所として、救急車転回スペースに災害時の対応用として備えていたエアテントを設置し、中に椅子等を配置した。



3 西部医療センター

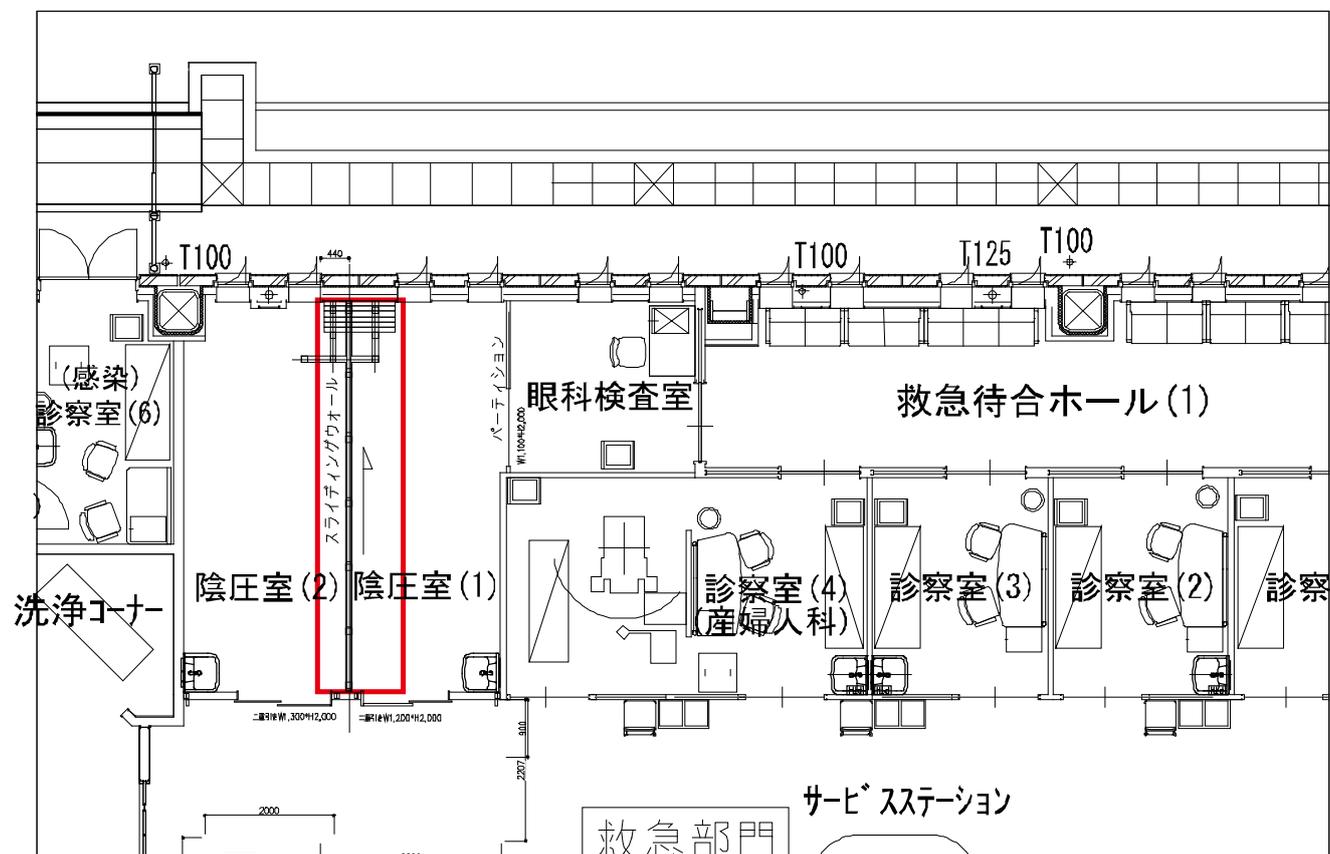
感染の拡大に伴い疑い患者が増えてきたこと、エアートントでは夏の暑さや冬の寒さなどに対応しきれないことなどから、エアートントの場所に診察スペースを、救急車進入通路の北側（立体駐車場側）に患者待合場所をそれぞれプレハブにより設置した。短期間（年度内程度）を想定したレンタルであったが、感染拡大が継続したことから利用期間を延長し、5類移行後においても引き続き運用している。



3 西部医療センター

④ 救急外来

救急外来においては、前述の発熱外来の設置に加え、救急搬送患者に対応するために陰圧対応が可能な処置室を2室設置する工事を令和4年3月に実施し4月より稼働した。



⑤ 外来受付

外来受付では飛沫の飛散防止対策として、流行当初は対応する物品の調達が難しかったこともあり、透明なビニールを展開して各受付に貼り対応した。

当初は一時的な対応の予定であったが、流行が長引いたことから、アクリルによるカーテンに付け替えた。

しかしアクリルカーテンも窓口に貼り付けたものであったことから、時間が経つにつれて剥がれるなど見栄えの問題等もあり、令和4年11月に固定のアクリルパーティションに切り替える工事を行った。

3 西部医療センター

3 医療従事者の派遣

ワクチン接種への従事、東部医療センターに設置された高次ウイルス感染症センター等、新型コロナウイルス感染症への対応として要請に応じ医療従事者を派遣した。

また、感染者の拡大により医療従事者が不足した沖縄県に対して、派遣要請に基づき看護職員を派遣した。

(1) 集団接種会場

第4章 「6 ワクチン接種について」に記載

(2) 高次ウイルス感染症センター

新型コロナウイルス感染症患者の増加に対応するため、名古屋市健康福祉局から名古屋市立大学に運営を委託され、東部医療センター旧東病棟5階に新型コロナウイルス感染症対策専用として22床を整備した。当該病床については、「名古屋市立大学医学部附属東部医療センター高次ウイルス感染症センター」として位置づけ、令和3年4月1日から運用開始となった。当院からは令和3年4月1日より看護師を派遣し、令和5年3月31日をもって派遣を終了した。

(3) 県内医療機関等への派遣

愛知県看護協会からの要請に基づき、クラスター発生施設へ感染管理認定看護師の派遣を行った。

(1) 令和3年9月7日 1名 (9月10日に電話によるフォロー対応あり)

(2) 令和5年1月17日 1名

(4) 県外医療機関等への派遣

●沖縄県への看護師派遣

愛知県看護協会および文部科学省からの派遣要請に基づき、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により医療のひっ迫が深刻となっていた沖縄県へ看護師1名の派遣を行った。

【派遣期間】 令和4年1月8日～令和4年1月31日 (24日間)

【派遣職員】 看護師1名

【業務内容】 入院待機施設での中等症患者への対応

3 西部医療センター

4 その他病院運営

(1) 院長名による院内周知

院内で業務に従事する職員（委託職員を含む）に対し、新型コロナウイルス感染症対応に関する院内運用について病院長名による通知にて院内周知した。感染拡大の状況等に応じ、適宜改定を行い対応した。

（令和4年7月21日発の通知）

令和 4 年 7 月 21 日
西部医療センター職員の皆様へ
病院長 大原弘隆
新型コロナウイルス感染拡大防止策について（一部変更）
<p>1 入院患者の面会・外出泊について</p> <p>①面会、外出泊は<u>原則禁止</u>とする。 （ただし、療養上必要と病院が判断した場合はこの限りでない。）</p> <p>②患者、家族のデイルームの使用は<u>原則禁止</u>とする。</p> <p>2 外部からの受入れ・院内集会について</p> <p>① 実習生、見学者の受入れ 原則として継続するが、患者、職員との接触を最小限にするよう工夫する。</p> <p>② 業者・MR 訪問 アポイントメントがある場合は訪問可能とする。ただし、その際は感染対策を徹底し、院内での待機時間を極力短くするよう配慮するものとする。</p> <p>③ ハローワーク・ピアサポート 感染対策を行い継続する。</p> <p>④ マザークラス、小児1か月健診、市民公開講座 関係部署で開催の必要性、安全性等を協議し、人数制限など十分な配慮した上で実施する。</p> <p>3 院内研修・委員会について 可能な限りネットワークを利用したりリモート開催等の代替手段を講じ、<u>対面式での開催は必要性や内容等を十分勘案し、感染防止対策を講じた上で行う。</u></p> <p>4 院外研修・講演会・学会、出張について 可能な限りネットワークを利用したりリモート参加等の代替手段を講じ、対面式での参加は感染防止対策を徹底する。 <u>懇親会（食事会）等への参加は自粛する。</u> <u>海外出張については、出張先の状況により出張の可否や手続が異なるため、事前に経営課に相談する。</u></p>

3 西部医療センター

5 私的旅行について

海外渡航は、不要不急なものは自粛する。必要不可欠な場合は、事前に管理課に相談し、大学の関係会議に報告した上で、感染防止対策を徹底して行動する。

国内旅行は、感染防止対策を徹底し、家族や普段行動をともにしている人と少人数で、混雑している場所や時間を避け、病院職員としての自覚を持って行動する。特に、感染リスクの高い行動は、自粛する。

6 食事会等について

職場主催・他施設主催ともに食事会、歓送迎会、打ち上げ会等の開催・参加は自粛する。

私的な会食・飲食は、同居家族以外は「いつも近くにいる4人までを目安に」、飲食するときだけマスクを外し会話時にはマスクを着ける「マスク会食」その他の感染防止対策を徹底する。

院内での昼食等の飲食の際は、熟食を徹底する。

7 外出の注意点について

外出する場合は、家族や普段行動をともにしている人と少人数で、混雑している場所や時間を避けて行動する。

接客を伴う飲食店、カラオケなど、感染リスクが高まる空間への出入りは自粛する。

8 職員の健康管理等について

① 職員は、出勤前に必ず検温し、発熱が見られた場合は出勤せず、速やかに上司に報告する。(解熱後24時間以上が経過し、呼吸器症状が改善傾向となるまで就業停止とする。)

② 職員は、次のいずれかに該当する場合には、電話等で速やかに上司に報告し、就業を停止する(可能な限り、診断等を受ける前に上司に報告し、診断等の後に改めて報告する)。この場合、報告を受けた上司は、就業停止となった職員について速やかに感染対策室に報告する。

ア 新型コロナウイルス感染症又はその疑いと診断された場合

イ 「濃厚接触者」に該当すると判断された場合

③ 職員は、同居者が上記8②ア、イのいずれかに該当する場合には、上司を通じて感染対策室に相談し、就業について決定する。

★ 新型コロナウイルス感染症の確定例又は疑い例の対応を行った場合や同居者が「濃厚接触者」に該当した場合でもすべての医療従事者が自宅待機や就業制限の対象になるわけではなく、個々の状況に応じて曝露のリスク評価を行い、健康状態のモニタリングや就業制限の必要性を判断する。

3 西部医療センター

また、職員の感染者が増加している時期においては、予約調整等も含めた通知を別に発出した。
(令和4年8月17日発の通知)

令和4年8月17日
病院長 大原弘隆

新型コロナウイルス感染症感染拡大状況への対応について

現在の状況に鑑み、下記のように対応することとしますので、よろしくお願いたします。なお、今後も状況に応じて随時見直しを検討し、変更することがありますので、ご留意ください。

記

1 診療上の対応

(1) 外来における薬の処方日数の調整

可能な患者については、次回受診が 10月3日(月)以降 となるよう処方日数を調整する。

(2) 入院・検査・手術等の予約調整

10月2日(日)までの予定の入院・検査・手術等のうち、延期が可能なものについては、10月3日(月)以降の予定となるよう可能な限り調整する。

※ 単純に患者数や件数を減らすわけではないこと、10月3日(月)以降は速やかに通常通りに回復する必要があることに注意すること。

(3) 発熱外来における検査・受診を希望する職員への対応

新型コロナウイルス感染症が疑われる症状がある場合は、**出勤せず、かかりつけ医を受診するのが原則**であることを改めて周知徹底する。
勤務中に症状が出現した場合は、直ちに所属長に相談し、これを受けた所属長は、必要に応じて、病院で準備する自己検査キットによる検査(実費本人負担)又は受診を勧めることとする。

※ 自己検査キットに係る具体的な運用は、準備でき次第、別途案内する。

3 西部医療センター

2 実習生・見学者の受入れ

10月2日（日）までは、原則として中止する。ただし、具体的対応については、感染対策上十分な広さの指導スペースの確保や指導する職員の状況を踏まえて養成校と個別に調整する。

※ 10月3日（月）以降の取扱いについては、今後の状況を見て改めて検討する。

3 会議・研修等

10月2日（日）までは、原則として延期又は書面開催とし、必要不可欠な場合はポイントを絞って短時間で終了する。

- ・幹部会・運営協議会は予定通り開催するが、重要事項に絞る。
- ・委員会等は、法令や施設基準上必要不可欠な場合を除き、延期又は書面開催とする。
- ・患者の診療上必要なカンファレンスは、十分に感染対策を講じた上で実施する。

※ 10月3日（月）以降の取扱いについては、今後の状況を見て改めて検討する。

4 出勤できない職員の報告

陽性判明者、濃厚接触者、その他家族の世話等で出勤できない職員について、毎日、各部門から管理課庶務係に報告する。

3 西部医療センター

(2) 医療従事者の健康観察等

① 職員の健康観察にかかる院内周知

院内で業務に従事する職員（委託職員を含む）に対し、病院長名による通知にて院内周知した。感染拡大の状況等に応じ、適宜改定を行い対応した。

② 発熱外来ひっ迫時の対応

令和4年8月、発熱患者の受診者増と併せ職員の発熱者も増えたことで発熱外来の業務がひっ迫してきたことから、職員が出勤後に発熱等の症状が出た場合には自身で判定ができるよう、自己検査キットを購入して必要時に払い出すこととした。

出勤後に検査が必要と判断された場合は、電子カルテ端末に登録されている様式を入力・印刷して管理課に持参し、検査キットを受け取る方式とした。検査キットは自己負担とし、代金は翌月の給与からの引き去りとした。

③ 令和4年年末年始出勤予定者への検査キットの配付

令和4年末から5年年始にかけて出勤予定の職員に対し、自己検査キットを配付して出勤日に状態が悪い場合は自己検査の上所属長に連絡し勤務交代等の判断を仰ぐ体制をとった。

検査キットは8月に購入した残りとし、医師会から譲り受けたものを利用し、自己負担はなしとした。

(3) リ患者・濃厚接触者の行動歴調査・検査

流行初期においては、感染経路及び濃厚接触者の把握のため、行動歴の調査を行い、その結果濃厚接触者に該当する場合には健康観察や検査を依頼・実施した。

(4) マスク等の物資の確保

流行初期においてマスク等の物資が不足した。不足している時期にはマスクの着用回数の延長等を職員に対し依頼するなどにより、必要なマスクが確保できるよう対応した。

(5) 来院者の体温測定

手指消毒のための用具を設置するにあたり患者や付き添い等の出入りの場所を限定するため、令和2年4月22日よりこれまで利用可能であった渡り廊下からの駐車場側及びティンクルなごや側への出入口を施錠するとともに、時間外出入口の平日時間内および陽子線治療センター入口の施錠を行った。

時間外出入口の平日時間内については新型コロナウイルス感染症を疑わない救急患者のみ通行できることとし、その際は手動で扉の開閉を行うこととした。

新型コロナウイルス感染症患者と他の患者との接触を避けるため、感染が疑われる患者については院内に入れないようにした。

また、令和3年4月中旬～5月下旬にかけて、入口での検温・手指消毒の徹底を促すために職員が交替で立った。令和3年6月以降は同業務について業務委託し、委託職員により検温等を促した。

また、発熱等があり新型コロナウイルス感染症を疑う患者に対しては、入口前に設置したインターホ

3 西部医療センター

ンを利用して医事課職員にその旨を伝え、対応した医事課職員が聞き取り等を行った上で医師と相談し、指定された診察場所へ誘導するという対応を行うこととした。

外来待合において、密を避けるという観点から待合椅子について隣り合わせで着席しないよう、一つおきに案内を貼付した。

外来診察案内表示に、発熱等の症状がある場合にスタッフに声をかけるよう注意喚起を行うとともに、手洗いやマスク着用など感染拡大防止対策についての案内表示を行った。

(6) 面会制限・入室制限

令和2年3月3日より、入院患者への面会を原則禁止とし、病棟入口を施錠した。また、デイルームの利用も禁止とした。

患者への荷物の受け渡しについては、14時から15時の間に病棟入口にてインターホンでスタッフに声をかけ、病棟入口にてスタッフが荷物の受け渡しを行うという運用を行った。



(7) 会議の開催制限等

流行状況に応じ、会議の書面開催や延期、参加者を絞る等の対応を行うよう、院長名での通知により院内に指示を行った。

(8) 実習生受け入れ制限

流行状況に応じ、実習生の受け入れの制限や実習内容の見直し等の対応を行うよう、院長名での通知により院内に指示を行った。

(9) 国、県、市からの補助金

新型コロナウイルス感染症に対する、専用の外来、病床の設置にかかる整備、そこに従事する職員や防護具等の確保に対して、また新型コロナウイルス感染症及びその疑い患者の診療受け入れに対し、国や県、市から補助金が交付された。

3 西部医療センター

【令和2年度】

名称	交付元	交付金額 (千円)
新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業補助金	厚生労働省	36,000
インフルエンザ流行期における発熱外来診療体制確保支援補助金	厚生労働省	17,121
新型インフルエンザ等患者入院医療機関設備整備費補助金	愛知県	13,853
医療機関・薬局等における感染拡大防止対策等支援事業補助金	愛知県	27,000
医療従事者応援金	愛知県	47,734
新型コロナウイルス感染症診療・検査医療機関設備整備費補助金	愛知県	47,556
新型コロナウイルス感染症対策事業補助金	愛知県	484,846
新型コロナウイルス感染症救急医療体制運営費補助金	名古屋市	1,629
新型コロナウイルス感染症救急患者等受入医療機関支援金	名古屋市	350
地域医療体制緊急応援金	名古屋市	2,870
新型コロナウイルス感染症対策用リアルタイムPCR装置等設備整備費補助金	名古屋市	7,810
合 計		686,769

【令和3年度】

名称	交付元	交付金額 (千円)
新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業補助金	厚生労働省	36,000
新型コロナウイルス感染症拡大防止・医療提供体制確保支援補助金	厚生労働省	25,250
新型コロナウイルス感染症拡大防止継続支援補助金	厚生労働省	100
新型インフルエンザ等患者入院医療機関設備整備費補助金	愛知県	48,528
医療従事者応援金	愛知県	131,100
新型コロナウイルス感染症自宅療養者等への医療提供事業交付金	愛知県	30
新型コロナウイルス感染症診療・検査医療機関設備整備費補助金	愛知県	9,969
新型コロナウイルスワクチン接種支援事業交付金	愛知県	3,773
新型コロナウイルス感染症対策事業補助金	愛知県	1,004,401
新型コロナウイルス感染症救急医療体制運営費補助金	名古屋市	5,289
新型コロナウイルス感染症救急患者等受入医療機関支援金	名古屋市	1,645
新型コロナウイルス感染症自宅療養者への医療提供事業交付金	名古屋市	900
新型コロナウイルス感染症患者専用病床にかかる負担金	名古屋市	97,000
合 計		1,363,985

3 西部医療センター

【令和4年度】

名称	交付元	交付金額 (千円)
新型インフルエンザ等患者入院医療機関設備整備費補助金	愛知県	9,420
新型コロナウイルス感染症診療・検査医療機関設備整備費補助金	愛知県	7,512
新型コロナウイルス感染症対策事業補助金	愛知県	978,098
新型コロナウイルス感染症救急医療体制運営費補助金	名古屋市	4,857
新型コロナウイルス感染症救急患者等受入医療機関支援金	名古屋市	3,500
新型コロナウイルス感染症患者専用病床にかかる負担金	名古屋市	80,400
合 計		1,083,787

(10) 寄附

新型コロナウイルス感染症対策を支援する個人、団体より下表のとおり寄附の申出があり、受け入れを行った。

区分	寄附金		医療物資		その他物資	
	件数	金額	件数	主な寄附品	件数	主な寄附品
令和2年度	8	1,095千円	16	N95マスク	2	歩行用訓練機
令和3年度	10	2,315千円	4	医療用帽子	2	クッキー缶
令和4年度	5	245千円	3	N95マスク	3	靴下
令和5年度	1	10千円	0		0	

※令和5年度は5月8日までの実績

(11) 病院職員への手当支給

① 新型コロナウイルス感染症対応業務に対する特殊勤務手当

新型コロナウイルス感染症に係る患者対応業務に従事した職員に対し、1日あたり4,000円又は3,000円の日額手当を支給した。なお、令和5年5月8日以降は新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」に移行したことに伴い、運用を廃止した。

区 分	金 額
患者に接触する業務	日額 4,000円
上記以外の感染の恐れが認められる業務	日額 3,000円

※ただし、従事した時間が3時間50分未満の場合はそれぞれ2分の1の金額

② 慰労金

国の新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業の一環として、医療機関等に勤務し患者と接する医療従事者や職員に対し、新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金交付事業が実施された。所属医療機関を通じて申請手続きを行うため、委託職員を含め西部医療センターにおける申請希望者について県に申請を行い、支給決定に基づき申請者へ給付を行った。

3 西部医療センター

(12) コロナ対応に係る福利厚生

① 宿泊施設の提供

新型コロナウイルス感染症患者の対応を行う医療従事者等においては、職員自身の感染と同居家族への感染の不安を抱えながら勤務している状況であり、在宅時の家族への感染防止及び感染させる恐れ不安解消のため、勤務終了後に自宅以外で過ごすことを希望する職員に対し、ビジネスホテルの客室の提供を行った。

実施期間	令和3年2月1日～令和5年5月7日 (病院局が行った対応であるが、令和3年4月以降は市立大学が継続して対応)
宿泊施設	ホテルルートイン名古屋今池駅前 ホテルルートイン名古屋栄 ・シングルルーム（食事提供なし） ・チェックイン15時、チェックアウト翌10時
利用日	週休日を含めた連続利用可
自己負担額	1泊 500円（飲食料、駐車料金、電話料は利用者負担）

コラム⑨

コロナに感染した産婦の出産に寄り添って

余吾 彩乃 西部医療センター助産師

私は助産師として就職して間もなく新型コロナウイルス感染症の流行に直面しました。面会制限、集団保健指導を対面からZOOM配信への変更、入院時の新型コロナウイルス抗原検査の実施など、コロナ禍により変更を余儀なくされる看護に日々必死に対応していました。その中でも特に大変だったのが、コロナウイルスに感染した産婦の出産対応でした。

コロナウイルスに感染した産婦の出産は、産婦さんも私自身も思い描いていたような出産とはほど遠く、もどかしい場面が多くありました。

分娩介助の時は、防護服を着てフェイスシールドをつけます。防護服は熱がこもってとても暑く、30分程でもかなり汗をかき体力を消耗します。陣痛で苦しむ産婦さんに付き添いたくても体力に限界があり、必要最低限の関わりしかできないことにもどかしさを感じました。汗で曇ったフェイスシールドで表情が見えず声はこもり、大きな陰圧装置の音が邪魔して、コミュニケーションが十分とれないことも多くありました。産まれたあかちゃんは、感染予防のため、すぐ保育器に入ります。産婦さんにとっては、産まれた我が子を抱くことができない予想外の体験だったと思います。その中でも私たち助産師は、今後の育児に前向きになれるよう、出産を共に振り返ったり、あかちゃんの様子を写真に撮って伝えたりして母親になっていく過程を支援しました。

現在は制限緩和が進み流行前の生活を取り戻しつつありますが、病院ではコロナ感染患者の対応は続いていきます。限られた環境下でも妊産婦さんに寄り添い、助産師としての支援を続けていきたいと思っています。

4 みどり市民病院

みどり市民病院における対応

令和5年4月1日から名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院として大学病院化した。

○ 診療体制について

新興感染症への対応をするため感染症・総合内科を新設し、外来診療については、令和5年4月25日付にて、愛知県より「外来対応医療機関」の指定を受け、発熱外来において、外来患者の対応を行った。

○ 感染症専用病床の設置

新型コロナウイルス感染者専用の病床を10床確保し、陰圧装置を設置した。

○ 面会制限・入室制限

感染リスクを管理し、院内感染の予防を図るため、病棟内入室は許可制とし、荷物の受け渡しなどはエレベーターホールで行った。また、面会についても原則禁止とした。

○ 入院前抗原定量検査の実施

入院患者の感染状況を確認し、院内感染リスクを低減するため、入院予定の患者に対し、新型コロナウイルス感染症の抗原定量検査を実施した。

○ 出入り口制限

入退院患者や訪問者の経路を絞り、感染の侵入経路を管理するため、出入り口を正面玄関のみに制限し、他の出入り口を閉鎖した。

○ 非接触体温計と手指消毒液の設置

入口付近に非接触体温計と手指消毒液を設置し、入館時の体温チェックと手指の衛生を促した。

○ 救急車受け入れ場所に陰圧装置の設置

夜間救急車の受け入れ場所に陰圧装置を設置し、感染対策を図った。

○ クリーンパーテーションの設置

救急処置室、発熱外来、透視室にクリーンパーテーションを設置し、感染対策を図った。
必要時には病室、廊下等のレッドゾーンに設置した。

5 みらい光生病院

みらい光生病院における対応

令和5年4月1日から名古屋市立大学医学部附属みらい光生病院として大学病院化した。

○ 診療体制について

陰圧装置を備えた発熱外来専用の診察室を設け、令和5年5月9日付で愛知県より「外来対応医療機関」の指定を受ける等、診療体制を整備した。

○ 即応病床の設置

即応病床として6床確保するとともに、陰圧装置を設置した。

○ 面会禁止措置

原則面会を禁止した。

○ エアードライヤーの停止

エアードライヤーを停止し、代わりに使い捨てペーパータオルを設置した。

○ 非接触体温計と手指消毒液の設置

出入口に非接触体温計と手指消毒液を設置し、入館時の体温チェックと手指の衛生を促すこととした。

○ アイソレーターの導入

アイソレーターを設置し、陽性者が発生した場合の搬送に備えた。

コラム⑩-1

「ALL名市大病院」で立ち向かったCOVID-19パンデミック

服部 友紀 名古屋市立大学病院 救急科部長
先進急性期医療学 教授

コロナパンデミック当初、名市大病院は重症2床（ICU）、非重症10床（救急病棟）でCOVID患者に対応したが、感染拡大に伴いICU 2床はすぐ埋まり「重症化するかもしれない中等症者」も受け入れできず、救急医として歯がゆい日々が続いた。「名市大、やはり厳しいですか？」と私の個人電話に県・市の本部から何度か連絡が入る異常事態もあった。そのような状況で「重症者は大学病院に集約させたい」と愛知県から依頼を受け、救急病棟で10名の重症者（10F病棟で22名の中等症、COVID以外の診療も同時並行するためICUは温存）を管理する体制となった。「内科で背負ってきたコロナ対応を、災害としてALL名市大で負担する」との院長号令に従い、非重症者を（呼吸器内科バックアップのもと）内科が輪番性で担当し、重症者は「重症COVID呼吸管理チーム」として、外科系診療科が主科、実質的管理を救急科・呼吸器内科・麻酔科・救急看護師・臨床工学士が担当した。救急科は24時間体制でCOVID重症者管理を担当し、手が回らなくなった夜間の救急外来診療を全科が日替わりでカバーした。「うちも入れてくれ」と薬剤部、栄養管理部、リハビリ部などチームの輪が徐々に広がっていき、不安と躓きの連続で始まった急造体制が、気がつけば第4-5波（アルファ株・デルタ株）で名古屋市内で最も多くの重症者を受け入れ90%を救命できる病院になっていた。緊張と疲労が続く不慣れな環境変化の中で前向きに対応した全スタッフに感謝・尊敬である。

個人的にコロナに振り回された中でも印象深い事がある。令和2年の年末だったと思うが、私自身の不徳の致す所で、押し寄せた「波」への対応が遅く年末休暇にさしかかってしまった。お叱り覚悟で休暇中に各部署に通知した所、返答は感謝と協力の申し出であった。動かないはずの部署が動き年末年始を乗り切ることができた。完全に想定外の反応で、改めて「皆で戦っているんだ」と密かに感動した事を思い出す。

紆余曲折あったが「ALL名市大病院」でパンデミックに立ち向かった。救急科としても重症者の入院管理まで守備範囲を広げ他職種との信頼構築にも繋がり成長できたと感じている。

コラム⑩-2 コロナ禍における救急対応について

松嶋 麻子 東部医療センター 救命救急センター長
救命救急医療学 教授

東部医療センターでは感染症指定病院として、コロナ禍の始まりより多くの患者さんを受け入れてきました。病院全体で感染症のスクリーニング体制や陽性患者の隔離、治療の担当などが比較的速やかに決められ、整えられていたため、救急外来としては確立された院内の方針に則り、救急車やwalk inで来院する患者さんの感染症スクリーニングを行うことが主な課題となりました。幸い、コロナ禍においてもできるだけ「断らない救急」を実践できるように、救急外来において迅速検査に必



要な検査キットや機器を揃え、感染者隔離用の陰圧室も2室、造設していただくことができました。その結果、パンデミックの真っ最中でも救急外来は止めず、大きな混乱もなく救急患者を受け続けることができました。これは、感染症と救急の患者をできるだけ断らない、という病院の使命に沿ってスタッフが一丸となって取り組んだ結果ですので大変誇りに思います。そして、ICTのリーダーとして、私たち

が困ったときにはいつでも相談を受け入れ、的確なアドバイスとともに時には一緒に悩んでくださった長谷川千尋先生に深く感謝いたします。

コロナ禍に救急外来に造設した陰圧室は可動式のパーティションで区切られており、必要がなくなれば広いオープンスペースに戻すことはいつでも可能です。救命救急センターとして災害拠点病院として、どのような患者さんにも柔軟に対応できる救急外来とスタッフの心意気が私たちのコロナ禍のレガシーです。



6 ワクチン接種について

1 基本型接種医療機関として

(1) ワクチン配分（地域の医療機関へ）

医療従事者等への新型コロナウイルス感染症に係る予防接種を行う体制の構築にあたり、名古屋市立大学病院、東部医療センター、西部医療センターの3病院は、県から令和3年1月25付で基本型接種医療機関の指定を受けた。基本型接種医療機関にはファイザー社製ワクチン保管用の-75℃冷凍庫が配分された。

1・2回目接種時、基本型接種医療機関には国から配分されたファイザー社製ワクチンを使用して自院で接種するだけでなく、県においてマッチングされた近隣の連携型医療機関へワクチンおよび使用物品を移送する役割が求められた。県からの指示に基づき、令和3年3月6日のワクチン初回入荷以降、在庫が終了するまで各施設からの依頼に応じて配送を行った。

(2) 院内医療従事者への実施

院内職員（委託職員含む）に対して意向調査を行い、希望者に対して院内に接種会場を設置してワクチン接種を行った。

●名古屋市立大学病院

〈1・2回目初回接種実績〉

実施期間	実施日数	1回目	2回目	計
R3.3.17～R3.8.31	48日	3,331名	3,314名	6,645名

〈3～5回目追加接種実績〉

実施期間	実施日数	2回目	3回目	4回目	5回目	計
R3.12.15～R4.3.22	22日	—	2,854名	—	—	2,854名
R4.7.8～R4.9.30	15日	2名	23名	1,980名	—	2,005名
R4.11.10～R5.1.20	13日	—	8名	185名	1,422名	1,615名
		2名	2,885名	2,165名	1,422名	6,474名

〈令和5年春開始接種〉

実施期間	実施日数	3回目	4回目	5回目	6回目	計
R5.5.2～R5.6.23	6日	2名	21名	119名	664名	806名
		2名	21名	119名	664名	806名

（注）本学学生のうち病院実習に従事する者を含む



①受付



②接種



③経過観察



④接種記録書受け渡し

6 ワクチン接種について

●東部医療センター

〈1・2回目初回接種実績〉

実施期間	実施日数	1回目	2回目	計
R3.3.8～R3.7.9	32日	1,266名	1,258名	2,524名

〈3～5回目追加接種実績〉

実施期間	実施日数	3回目	4回目	計
R3.12.8～R4.1.20	11日	982名	—	982名
R4.8.19～R4.8.26	6日		430名	430名
		982名	430名	1,412名

●西部医療センター

▶院内医療従事者

〈1・2回目初回接種〉

2階大ホールもしくは4階集団指導室を会場として実施した。

接種期間	実施日数	ワクチン	接種者数 (人)
R3.3.16～25 (1回目) R3.4.6～27 (2回目)	12日	ファイザー社製	366
R3.4.16～26 (1回目) R3.5.7～21 (2回目)	12日	ファイザー社製	594
R3.4.26～5.30 (1回目) R3.5.17～6.20 (2回目)	6日	ファイザー社製	148

▶院内で実習を行う学生

〈1・2回目初回接種〉

接種期間	実施日数	ワクチン	接種者数 (人)
R3.6.3～9 (1回目) R3.6.24～30 (2回目)	4日	ファイザー社製	234

※接種者数には職員に対して行ったものを含む。

〈3回目接種〉

院内職員に加え、消防局職員 (97名) に対して接種を行った。

4階レストラン跡地 (現：生殖医療センター) を会場として実施した。

接種期間	実施日数	ワクチン	接種者数 (人)
R4.1.7～2.8	10日	ファイザー社製	1,096

6 ワクチン接種について

〈4回目接種〉

ワクチン供給の都合から、これまでのファイザー社製に加えモデルナ社製のワクチンによる接種を行った。

会場の都合及び利用可能時間の都合から、日程により4階集団指導室、4階職員休憩室（現：医師事務作業補助者事務室）、4階レストラン跡地（現：生殖医療センター）を会場として実施した。

接種期間	実施日数	ワクチン	接種者数（人）
R4.8.17～9.12	19日	モデルナ社製	686
R4.9.13～29	4日	ファイザー社製	214

(3) 地域医療従事者・高齢者・妊婦

●名古屋市立大学病院

〈1・2回目初回接種〉

県から割り振られた瑞穂区・昭和区内に所在する団体型医療機関等（接種を行う施設以外で、優先接種の対象となる医療従事者等がいる施設をいう）に所属する医療従事者等について、市大病院大ホールに接種会場を設置して令和3年5月～6月に12日間ワクチン接種を行った。

接種人数（実施期間：1回目：5/19～5/25、2回目：6/9～6/18）

施設区分	受入施設数	1回目接種人数	2回目接種人数
病院・診療所	101	1,050名	1,025名
自治（救急・保健所等）	2	83名	83名
訪看	12	116名	115名
歯科診療所	77	384名	381名
薬局	63	348名	339名
合計	255	1,981名	1,943名

〈3回目追加接種〉

市大病院で1・2回目接種をされた医療機関等の医療従事者を対象に3回目追加接種の意向調査を行い、希望者に対して令和4年2月～3月に4日間ワクチン接種を行った。

接種人数（実施期間：2/14、2/17、3/10、3/16）

施設区分	受入施設数	3回目接種人数
自治（救急・自衛隊等）	2	39名
自治（保健所・宿泊等）	4	17名
訪看	24	52名
歯科診療所	82	147名
薬局	44	83名
合計	156	338名

6 ワクチン接種について

●東部医療センター

〈1・2回目初回接種〉

県から割り振られた千種区・名東区内に所在する団体型医療機関等（接種を行う施設以外で、優先接種の対象となる医療従事者等がいる施設をいう）に所属する医療従事者等について、救急外来棟2階外来エリアに接種会場を設置して令和3年5月～6月に8日間ワクチン接種を行った。

接種人数（実施期間：1回目：5/8～5/16、2回目：5/29～6/6）

施設区分	受入施設数	1回目接種人数	2回目接種人数
病院・診療所	53	433名	430名
自治（救急・保健所等）	3	127名	127名
訪看	15	200名	198名
歯科診療所	41	309名	308名
薬局	27	153名	153名
合計	139	1,222名	1,216名

※また、高齢者向け接種従事者に対するワクチン接種として、中区の医療従事者40名に対し、院内保育所内に接種会場を設置してワクチン接種を行った。（1回目：4/10、2回目：5/1）

●西部医療センター

▶地域の医療従事者

地域の医療従事者を対象としたワクチン接種を、令和3年5月1日から6月20日にかけて、大ホールにて行った。

〈1・2回目初回接種〉

接種日	ワクチン	接種者数（人）
R3.5.1（1回目）	ファイザー社製	176
R3.5.2（1回目）	ファイザー社製	276
R3.5.22（2回目）	ファイザー社製	188
R3.5.23（2回目）	ファイザー社製	291
R3.5.29（1回目）	ファイザー社製	400
R3.5.30（1回目）	ファイザー社製	353
R3.6.19（2回目）	ファイザー社製	415
R3.6.20（2回目）	ファイザー社製	337

6 ワクチン接種について

▶患者（高齢者等・妊婦）への実施

〈1・2回目初回接種〉

高齢者等への接種開始に伴い、当院通院中の患者のうち希望者を対象としたワクチン接種を令和3年6月～8月にかけて4階フロアにある公衆電話室（問診）、面談室（接種）、デイルーム（経過観察）を会場として行った。

予約については通常の診療と同様に専用の予約枠を電子カルテシステム内に設け、外来診察の際に医師が患者の希望を確認して予約を登録した。

予約後には医事課窓口に立ち寄ってもらい接種会場の案内を行った。

当日の接種受付は医事課職員と医事業務受託事業者（ニチイ学館）の職員が担当し、接種後の経過観察対応や接種券の取り扱いについては管理課が協力して担当した。

接種期間	実施日数	ワクチン	接種者数（人）
R3.6.8～8.4（1回目）	22日	ファイザー社製	533
R3.6.29～8.25（2回目）			

※接種者数には職員に対して行ったものを含む。

また、当院受診中の妊婦及びその夫を対象とした接種を産婦人科外来にて行った。

接種期間	実施日数	ワクチン	接種者数（人）
R3.9.6～10.27（1回目）	20日	ファイザー社製	52
R3.9.27～11.17（2回目）			

〈3回目以降接種〉

接種会場が市中に充足してきたこと、大規模接種会場へ職員を派遣することとなったことから、院内において患者を対象とした3回目以降の接種は実施していない。

6 ワクチン接種について

2 集団接種・大規模集団接種（名古屋市）への医療従事者派遣

(1) 集団接種会場への派遣

新型コロナウイルスワクチンの接種体制強化を目的として名古屋市が設置した集団接種会場（港区）へ延べ206人の医療従事者の派遣協力を行った。

〈派遣期間〉

市立大学病院	R3.5.12～6.30
東部医療センター	R3.5.23～6.20
西部医療センター	R3.5.16～6.27

〈実績（延べ人数）〉

(単位：人)

区 分	派遣職員数				
	医師	歯科医師	看護職員	薬剤師	計
市立大学病院	68	—	52	—	120
東部医療センター	13		30		43
西部医療センター	14		29		43
計	95		111		206

(2) 大規模集団接種への派遣

新型コロナウイルスワクチンの接種機会提供のため、名古屋市が実施した大規模集団接種へ本学より医師・歯科医師・看護師・薬剤師を延べ5,281人派遣し、予診・接種・薬剤管理等の業務に従事した。

〈実績（延べ人数）〉

(単位：人)

区 分	医師	看護師・歯科医師	薬剤師	計
市立大学病院 ^{※1}	1,380	869	251	2,500
東部医療センター	693	606	77	1,376
西部医療センター	687	645	73	1,405
計	2,760	2,120	401	5,281

※1 市立大学病院には、薬学部からの派遣（薬剤師：52人）及び看護学部からの派遣（医師：11人、看護師：25人）も含む。

※2 派遣した接種会場：名古屋市瑞穂公園陸上競技場（パロマ瑞穂スタジアム）、名古屋国際会議場、日本ガイシフォーラム、イオンタウン有松、名古屋市立大学（看護学部棟1階）

●名古屋市瑞穂公園陸上競技場（パロマ瑞穂スタジアム）

令和3年7月1日に、新型コロナウイルスワクチンの接種（1・2回目接種）に対応するため、名古屋市瑞穂公園陸上競技場（パロマ瑞穂スタジアム）に大規模集団接種会場が開設され、同日から10月20日までの延べ112日間実施された。

令和3年6月10日に名古屋市健康福祉局より医療従事者の派遣依頼があり、実施期間と同期間、延べ2,939人を派遣した。

6 ワクチン接種について

本ワクチン接種事業への貢献に対し、令和3年10月21日に実施された閉場式において、名古屋市より感謝状が贈呈された。

〈実績（延べ人数）〉

（単位：人）

区分	医師	看護師・歯科医師	薬剤師	計
市立大学病院 ^{※1}	720	520	91	1,331
東部医療センター	360	412	32	804
西部医療センター	360	412	32	804
計	1,440	1,344	155	2,939

※1 市立大学病院には、薬学部からの派遣（薬剤師：21人）及び看護学部からの派遣（医師：7人、看護師：20人）も含む。

※2 派遣期間：令和3年7月1日～令和3年10月20日



【シミュレーションの様子】



【感謝状贈呈式の様子】

●名古屋国際会議場

令和4年2月9日に、新型コロナウイルスワクチンの追加接種（3回目接種）に対応するため、名古屋国際会議場（国際会議室）に大規模集団接種会場が開設され、同日から3月13日までの延べ31日間実施された。

令和4年1月11日に名古屋市健康福祉局より医療従事者の派遣依頼があり、実施期間と同期間、延べ362人を派遣した。

〈実績（延べ人数）〉

（単位：人）

区分	医師	看護師・歯科医師	薬剤師	計
市立大学病院 ^{※1}	93	62	35	190
東部医療センター	47	31	10	88
西部医療センター	46	31	7	84
計	186	124	52	362

※1 市立大学病院には、薬学部からの派遣（薬剤師：7人）及び看護学部からの派遣（医師：1人）も含む。

※2 派遣期間：令和4年2月9日～令和4年3月13日（期間中に休場日あり）

6 ワクチン接種について

●日本ガイシフォーラム

令和4年4月15日に、新型コロナウイルスワクチンの追加接種（3・4回目接種）に対応するため、日本ガイシフォーラムに大規模集団接種会場が開設され、同日から7月17日までの延べ49日間（6月1日から7月7日まで休場し、7月8日に再開。）実施された。

令和4年2月18日及び5月10日に名古屋市健康福祉局より医療従事者の派遣依頼があり、実施期間と同期間、延べ698人を派遣した。

〈実績（延べ人数）〉

（単位：人）

区分	医師	看護師・歯科医師	薬剤師	計
市立大学病院 ^{※1}	225	59	35	319
東部医療センター	114	49	9	172
西部医療センター	111	88	8	207
計	450	196	52	698

※1 市立大学病院には、薬学部からの派遣（薬剤師：5人）及び看護学部からの派遣（医師：1人、看護師：1人）も含む。

※2 派遣期間：令和4年4月15日～令和4年7月17日（期間中に休場日あり）

●イオンタウン有松

令和4年7月20日に、新型コロナウイルスワクチンの追加接種（4回目接種）に対応するため、イオンタウン有松に大規模集団接種会場が開設され、同日から8月31日までの延べ43日間実施された。

令和4年5月10日に名古屋市健康福祉局より医療従事者の派遣依頼があり、実施期間と同期間、延べ478人を派遣した。

〈実績（延べ人数）〉

（単位：人）

区分	医師	看護師・歯科医師	薬剤師	計
市立大学病院 ^{※1}	129	86	30	245
東部医療センター	65	43	9	117
西部医療センター	64	43	9	116
計	258	172	48	478

※1 市立大学病院には、薬学部からの派遣（薬剤師：6人）及び看護学部からの派遣（医師：1人、看護師：2人）も含む。

※2 派遣期間：令和4年7月20日～令和4年8月31日

6 ワクチン接種について

また、令和4年11月11日には、新型コロナウイルスワクチンの追加接種（オミクロン株対応2価ワクチン）に対応するため、同会場に大規模集団接種会場が開設され、同日から令和5年1月31日までの延べ71日間実施された。

令和4年9月9日及び10月31日に名古屋市健康福祉局より医療従事者の派遣依頼があり、実施期間と同期間、延べ708人を派遣した。

〈実績（延べ人数）〉

（単位：人）

区 分	医師	看護師・歯科医師	薬剤師	計
市立大学病院 ^{※1}	189	126	51	366
東部医療センター	96	63	13	172
西部医療センター	93	63	14	170
計	378	252	78	708

※1 市立大学病院には、薬学部からの派遣（薬剤師：11人）及び看護学部からの派遣（医師：1人、看護師：2人）も含む。

※2 派遣期間：令和4年11月11日～令和5年1月31日（期間中に休場日あり）

●名古屋市立大学（看護学部棟1階）

令和4年12月3日に、新型コロナウイルスワクチンの追加接種（オミクロン株対応2価ワクチン）に対応するため、本学看護学部棟1階に接種会場が開設され、12月3日、4日、10日、11日、17日、18日、24日、25日の延べ8日間実施された。

令和4年10月24日に名古屋市健康福祉局より医療従事者の派遣依頼があり、実施期間と同期間、延べ96人を派遣した。

〈実績（延べ人数）〉

（単位：人）

区 分	医師	看護師・歯科医師	薬剤師	計
市立大学病院 ^{※1}	24	16	9	49
東部医療センター	11	8	4	23
西部医療センター	13	8	3	24
計	48	32	16	96

※1 市立大学病院には、薬学部からの派遣（薬剤師：2人）も含む。

※2 派遣期間：令和4年12月3日、4日、10日、11日、17日、18日、24日、25日

コラム⑪

大規模集団接種の調整について

森本 隆史 病院統括部統括企画室企画係長：令和3年度

令和3年7月から、今はアジア・パラ大会に向けて整備中の瑞穂公園陸上競技場で、コロナワクチンの大規模集団接種が行われました。名古屋市からの依頼により、接種に携わる医師、歯科医師、看護師、薬剤師について、市大附属病院群から派遣することになり、当時、病院統括部統括企画室の立場で、その調整をさせていただきました。

大規模集団接種の開始は、コロナのいわゆる第4波と第5波の間に当たっており、とにかくワクチンをできるだけ早く多くの方へ接種することが優先すべき事でした。

そのため短い準備期間で、実施体制などさまざまな調整することになりました。稼働レーンから逆算して必要な従事者数を出し、3病院に人数を割り振るということを行いました。病院長、看護部長、薬剤部長を始めとした病院幹部のみなさまが病院内をまわってくださり、派遣者をスムーズに決めていただけました。

また、印象に残っているのが会場の事前確認でした。陸上競技場という特殊な環境で大勢の方にワクチン接種を円滑に行うには、特に看護部のスタッフに確認していただくことが必須です。タイトなスケジュールの中で日程調整が厳しかったですが、看護部長や副看護部長から、救急カートの内容や救護室への導線など、現場確認の上で様々なアドバイスをいただき、開始までに市に対応していただけました。

東部医療センター、西部医療センターの両病院が市大医学部附属病院となってわずか3か月後のことでしたが、3病院が緊密に連携を取ることで、大規模集団接種への職員派遣が可能になったと思います。微力ながらもそのお手伝いをできたのは、良い経験だったと感じています。

